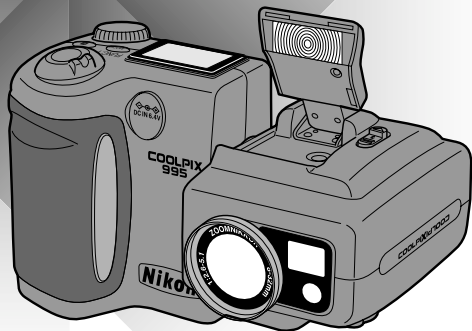
Nikon

ニコンデジタルカメラE995／クールピクス 995

# COOLPIX995

使用説明書

J

# 安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
この「安全上のご注意」は製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
表示と意味は次のようになっています。

**危険** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。

**警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

## 絵表示の例

△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制すること(必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容(左図の場合は電池を取り出す）が描かれています。

## ⚠警　告（カメラについて）

分解禁止

**分解したり修理・改造をしないこと**

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。

接触禁止

すぐに修理依頼を

**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと**

感電したり、破損部でケガをする原因となります。
電池を抜いて、販売店または当社サービス機関に修理を依頼してください。

電池を取る

すぐに修理依頼を

**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと**

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。
電池を取り出す際、やけどに十分注意してください。電池を抜いて、販売店または当社サービス機関に修理を依頼してください。

水かけ禁止

**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと**

発火したり感電の原因となります。

使用禁止

**引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと**

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。

見ないこと

**レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと**

失明や視力障害の原因となります。

発光禁止

**車の運転者等にむけてスピードライトを発光しないこと**

事故の原因となります。

発光禁止

**スピードライトを人の目に近づけて発光しないこと**

視力障害の原因となります。
特に乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。

## ⚠警　告（カメラについて）

保管注意

**幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと**

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

警告

**ストラップが首に巻き付かないようにすること**
**特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと**

首に巻き付いて窒息の原因となります。

警告

**指定の電池または専用ACアダプタを使用すること**

指定以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。

使用禁止

**ACアダプタご使用時に雷が鳴り出したら電源プラグに触れないこと**

感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

## ⚠注　意（カメラについて）

感電注意

**ぬれた手でさわらないこと**

感電の原因になることがあります。

保管注意

**製品は、幼児の手の届かない所に置くこと**

ケガの原因になることがあります。

保管注意

**使用しないときは、レンズにキャップをつけるか太陽光のあたらない所に保管すること**

太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。

移動注意

**三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと**

転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。

**飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従うこと**

本機器が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与える恐れがあります。
病院で使う際も、病院の指示に従ってください。

**長期間使用しない時は電源（電池やACアダプタ）を外すこと**

電池の液漏れにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。
ACアダプタでご使用されている場合には､ACアダプタを取り外し､その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

**本機器やACアダプタは布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと**

熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

**窓を締め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと**

ケースや内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

## ⚠警　告（リチウム電池について）

**電池を火に入れたり、加熱しないこと**

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

**電池をショート、分解しないこと**

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

**電池に表示された警告・注意を守ること**

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

**使用説明書に表示された電池を使用すること**

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

## ⚠警　告（リチウム電池について）

水かけ禁止

**水につけたり、ぬらさないこと**

液もれ、発熱の原因となります。

保管注意

**電池は幼児の手の届かない所に置くこと**

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

禁止

**充電式電池以外は充電しないこと**

液もれ、発熱の原因となります。

警告

**電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること**

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。
お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。

## ⚠危　険（専用リチウムイオン充電池について）

禁止

**電池を火に入れたり、加熱しないこと**

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

**電池をショート、分解しないこと**

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

**専用の充電器を使用すること**

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

**ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒に持ち運んだり保管したりしないこと**

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

使用禁止

**ニコンCOOLPIX995専用の充電式電池です。この機器以外には使用しないこと。**

液もれ、発熱の原因となります。

# 警　告（専用リチウムイオン充電池について）

**電池は幼児の手の届かない所に置くこと**

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

**水につけたり、ぬらさないこと**

液もれ、発熱の原因となります。

**変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは使用しないこと**

液もれ、発熱の原因となります。

**充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめること**

液もれ、発熱の原因となります。

**電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること**

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。
お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。

# カメラの取り扱い上のご注意

**●強いショックを与えないでください**

カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズに触れたり、レンズおよびカバーに無理な力を加えたりしないでください。

**●レンズ部は回転範囲内でゆっくり回してください。**

無理に回すと故障の原因になります。

**●水に濡らさないでください**

カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

**●急激な温度変化を与えないでください**

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴を生じ、故障の原因となります。カメラをバックやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

**●強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください**

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しない場合があります。

**●お手入れ方法について**

手入れの際は、ブロアーでゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

レンズ面や液晶画面が汚れたときは、ブロアーでゴミやホコリを吹き払い、汚れが取れない場合は乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。固い物で拭くと傷になりますのでご注意ください。

**●保管する際には**

カメラを長期間使用しないときは、バッテリーを必ず取り出しておいてください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってご使用いただけるように、月に一度を目安にバッテリーを入れカメラを操作することをおすすめします。

**●バッテリーやACアダプタを取り外すときは必ず電源オフの状態で行ってください**

電源オンの状態で、バッテリーの取り出し、ACアダプタの取り外しを行うと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中の前記操作には、十分注意してください。

**●液晶モニタについて**

- 液晶モニタの特性上、一部の画素に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが故障ではありません。予めご了承ください。また記録される画像には影響はありません。
- 屋外では日差しの加減で液晶モニタが見えにくい場合があります。
- 液晶モニタ表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。表示パネルの故障やトラブルの原因になります。もしホコリやゴミ等が付着した場合は、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニタが破損した場合、ガラスの破損などでケガをするおそれがありますので十分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、十分ご注意ください。

**●スミアについて**

明るい被写体を写すと、液晶モニタ画像に縦に尾を引いたような（上下が帯状に白く明るくなる）現象が発生することがあります。この現象をスミア現象といい、故障ではありません。また撮影された画像には影響はありません。

# バッテリーの取り扱いについて

**●バッテリー使用上のご注意**

**バッテリーの使用方法を誤ると液漏れにより製品を腐食したり、バッテリーが破裂したりする恐れがあります。次の使用上の注意をお守りください。**

・バッテリーを電源として長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがありますので注意してください。

・使用期限の過ぎたバッテリーは使用しないでください。

・バッテリー容量のなくなったリチャージャブルバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源のオン／オフを繰り返さないでください。バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。

**●撮影時には液晶モニタをオフにしてバッテリーの消耗を防ぐ**

撮影する場合に、液晶モニタをオフにしてファインダーのみで撮影することで、バッテリーの消耗を防ぎ、撮影コマ数を増すことができます。

**●撮影の前にリチャージャブルバッテリーをあらかじめ充電する**

撮影の際は、リチャージャブルバッテリーの充電を行ってください。付属のリチャージャブルバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておりませんのでご注意ください。

**●予備バッテリーを用意する**

撮影の際は、予備バッテリーをご用意ください。特に、海外の地域によってはリチャージャブルバッテリー、リチウム電池の入手が困難な場合がありますので、ご注意ください。

**●低温時のバッテリーについて**

バッテリーは一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温時に使用する場合は、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。

**●低温時には容量の十分なバッテリーを使い、予備のバッテリーを用意する**

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しない場合があります。低温時に撮影する場合は十分に充電されたリチャージャブルバッテリー、または新しいリチウム電池を使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使える場合があります。

**●バッテリーの接点について**

バッテリーの接点が汚れていると、接触不良でカメラが作動しなくなる場合がありますので、バッテリーを入れる前に接点を乾いた布などで拭いてください。

# はじめに

このたびは、ニコンデジタルカメラCOOLPIX995（E995）をお買い上げいただき、ありがとうございます。この使用説明書を最後までお読みいただき、十分ご理解のうえ、末永くご愛用いただくようお願いいたします。

## ■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## ■保証書とユーザー登録カードについて

この製品には保証書とユーザー登録カードが付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客さまへ直接お渡しすることになっております。「ご愛用者氏名」および「住所」「ご購入年月日」「ご購入店」がすべて記入された保証書を必ずお受け取りください。「保証書」をお受け取りになりませんと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。もし、お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

## ■大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行）を行う前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能するかを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得べかりし利益の喪失等）ついては、補償致しかねます。

## ■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

### ■商標説明

- CompactFlash™(コンパクトフラッシュ）は米国SanDisk社の商標です。
- Microsoft® およびWindows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- IBMはInternational Business Machines Corporationの米国における登録商標です。
- Macintoshは米国およびその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- PC-9801, PC-9821は日本電気株式会社の商標です。

その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

## デジタルカメラの特性について

きわめてまれなケースとして、表示パネルに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路内部に侵入したことなどが考えられます。万一このような状態になったときは、電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し、電源をONにしてカメラを作動させてみてください。その際、カメラを長時間使用していますとバッテリーが熱くなっていることがありますので、取り扱いには十分にご注意ください。ACアダプタをご使用時は、カメラの電源をオフにし、いったんカメラから取り外して再度カメラに取り付け、電源をONにしてカメラを作動させてみてください。また、この操作を行うことでカメラが作動しなくなった状態のときのデータは失われる恐れがありますが、すでにコンパクトフラッシュカードに記録されているデータは失われることはありません。この操作を行ってもカメラに不具合が続く場合は、当社サービス部門にお問い合わせください。

# 説明書の使い方

## 本使用説明書の構成

**この使用説明書は、操作しながら自然にCOOLPIX995をご理解いただくことを目的にして、基本操作から応用操作へと順を追って、下記のように構成されています。**

| | |
|---|---|
| **ご使用になる前に** | カメラを安全にお使いいただくためのご注意、各部の名称、クイックガイド、メニュー項目一覧などを説明しています。 |
| **撮影前の準備** | カメラを使うための準備として、電池やコンパクトフラッシュカードの入れ方、カメラの設定などについて説明しています。 |
| **簡単な撮影と再生** | デジタルカメラをはじめてお使いになる方にも簡単に行える撮影と再生の方法を説明してあります。 |
| **各機能の詳細** | 撮影、再生、削除の各機能の詳細について説明しています。 |
| **応用的な使い方** | 知っておいていただくと便利な機能について説明しています。 |
| **メニューについて** | 撮影、再生の各メニューについての詳細を説明しています。 |
| **接　続** | テレビ、パソコンなどの外部機器との接続方法の概要などを説明しています。 |
| **参　考** | 別売アクセサリー、警告表示がでたときの対応方法やカメラの仕様などを紹介しています。 |

■ 本書の内容については、予告なく変更することがあります。
■ 本書の内容につきましては、万全を期して制作いたしましたが、万一お気付きの点がございましたら、お買い上げの販売店または当社サービス部門までご連絡くださいますようお願いいたします。
■ 本書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。

**本文中のマークについて**

| | |
|---|---|
| **メモ** | ：補足的な情報や便利な情報が書かれています。 |
| **✓ ここをチェック！** | ：操作を行うときにチェックしていただきたい情報が書かれています。 |
| **! 注意** | ：注意していただきたいことや守っていただきたいことが書かれています。 |
| (☞ P.00) | ：参照ページが書かれています。 |

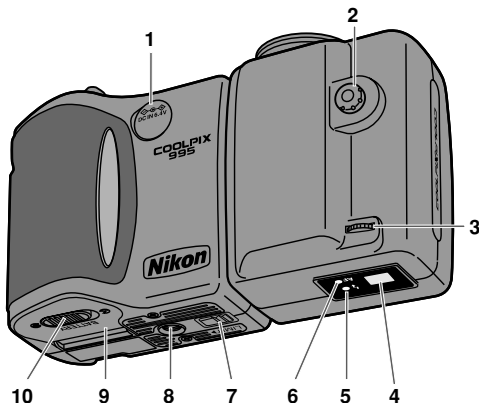
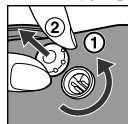
# 目次

# 各部の名称

コンパクトフラッシュカードカバー内

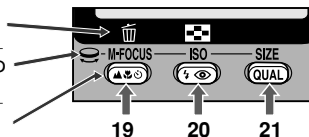
デジタル端子・ビデオ出力端子カバー内

スピードライトを上げた状態

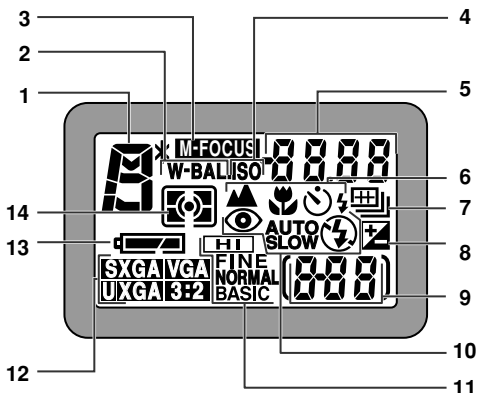
**1** ファインダー ☞ P.16
**2** 赤目軽減／セルフタイマー表示ランプ ☞ P.66/49
**3** レンズ
**4** モニタボタン ☞ P.42
**5** クイックレビューボタン ☞ P.47
**6** メニューボタン ☞ P.90
**7** 表示パネル ☞ P.16
**8** セレクトダイヤル ☞ P.28
**9** シャッターボタン ☞ P.40
**10** 露出モードボタン／FUNC1ボタン ☞ P.60/128
**11** 露出補正ボタン／FUNC2ボタン ☞ P.67/129
**12** コマンドダイヤル
**13** ビデオ出力端子・デジタル端子カバー ☞ P.153/154
**14** ズームボタン ☞P.43
**15** コンパクトフラッシュカードカバー ☞ P.34
**16** ストラップ取り付け部 ☞ P.38
**17** スピードライトロック解除レバー ☞ P.46
**18** スピードライト ☞ P.46
**19** フォーカスモード/マニュアルフォーカス/削除ボタン ☞ P.57/77/73
**20** スピードライトモード／感度変更／サムネイルボタン ☞ P.65/68/50
**21** 画質モード／画像サイズボタン ☞ P.54/55
**22** 液晶モニタ ☞ P.17
**23** マルチセレクター ☞ P.28

**1** DC入力端子カバー ☞ P.152
**2** 増灯ターミナル ☞ P.87
**3** 視度補正ダイヤル ☞ P.40
**4** ファインダー接眼窓 ☞ P.16
**5** 赤色LED ☞ P.16
**6** 緑色LED ☞ P.16
**7** スイバルリミットレバー ☞ P.104
**8** 三脚ネジ穴
**9** 電池室カバー ☞ P.30
**10** 電池室カバー開閉ノブ ☞ P.30

## ■ 操作ボタンの本文中での表記について

この説明書の本文中では、操作ボタンを以下のように表記します。
それぞれの操作ボタンの位置は、P.14のイラスト中の番号を参照してください。

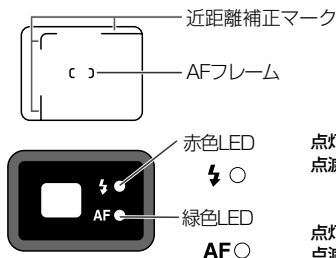
P.14(左ページ)の19、20、21の3つのボタンは、撮影モードと再生モードのボタンの機能が異なるため、この説明書の中では、図のように表記します。

| | 19 | 20 | 21 |
|---|---|---|---|
| 撮影モードでのボタン表示 | フォーカスモードボタン | スピードライトモードボタン | QUAL 画質モードボタン |
| 再生モードでのボタン表示 |  削除ボタン |  サムネイルボタン | QUAL |

## 表示パネル

（図は説明のため、全表示を点灯させた状態を示しています）

1 露出モード表示 ☞ P.60
2 ホワイトバランス表示 ☞ P.94
3 マニュアルフォーカス表示 ☞ P.77
4 感度変更マーク ☞ P.68
5 絞り値・シャッタースピード表示／各種数値情報表示 ※
6 セルフタイマー／フォーカスモード表示 ☞ P.49/57
7 連写モード表示 ☞ P.98
8 露出補正マーク☞ P.67
9 撮影可能枚数表示／露出状態表示／通信状態表示 ☞ P.56/63/154
10 スピードライト（モード）表示 ☞ P.65
11 画質モード表示 ☞ P.54
12 画像サイズ表示 ☞ P.55
13 バッテリーチェック表示 ☞ P.31
14 測光モード表示 ☞ P.96

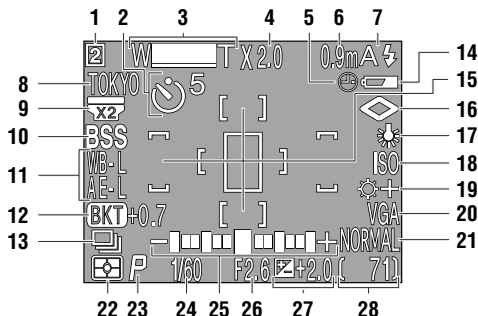
※使用する機能によって、シャッタースピード（シャッター優先オート／マニュアルモード時）、絞り値（絞り優先オート／マニュアルモード時）、露出補正値（露出補正時）、撮影距離（マニュアルフォーカス時）や、感度など各種数値情報が表示されます。

## ファインダー／LED

赤色LED ⚡○

**点灯：** スピードライト発光予告
**点滅：** スピードライト使用推奨表示（高速で点滅）
スピードライト充電中表示（低速で点滅）

緑色LED AF○

**点灯：** 合焦（撮影可能）表示
**点滅：** オートフォーカス非合焦表示（高速で点滅）
撮影画像記録中表示（中速で点滅）
電子ズーム中表示（低速で点滅）
画像サイズの3：2使用時表示（低速で点滅）

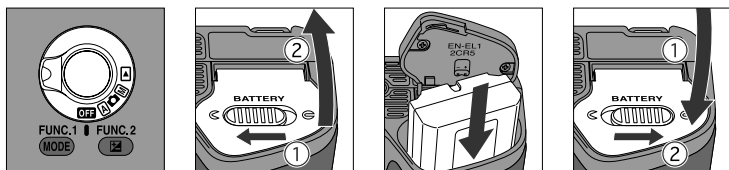
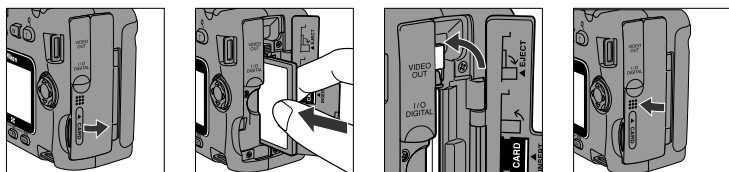
## 液晶モニタ（撮影モード時）

**1** カスタムNO．表示 *1 ☞ P.106
**2** セルフタイマー／カウントダウン表示 ☞ P.49
**3** ズーム表示／UH連写進行表示☞P.43/99
**4** 電子ズーム倍率表示 ☞ P.59
**5** 時計マーク *2 ☞ P.33
**6** マニュアルフォーカス距離表示 ☞ P.77
**7** スピードライトモード表示 ☞ P.65
**8** フォルダ名表示 *3 ☞ P.120
**9** コンバータ表示 ☞ P.104
**10** ＢＳＳ表示／ノイズ除去表示 ☞ P.101/115
**11** 露出固定（AEロック／WB［ホワイトバランス］ロック）マーク ☞ P.107
**12** ブラケティングマーク／ホワイトバランスブラケティングマーク ☞ P.113/114
**13** 連写モード表示 ☞ P.98
**14** バッテリーチェック表示 ☞ P.31
**15** 測光エリア／AFエリア表示 ☞ P.96/109
**16** 輪郭強調表示 ☞ P.112
**17** ホワイトバランス表示 ☞ P.94
**18** 感度変更モード表示 ☞ P.68
**19** 階調補正表示／モノクロ表示 ☞ P.102/103
**20** 画像サイズ表示 ☞ P.55
**21** 画質モード表示 ☞ P.54
**22** 測光モード表示 ☞ P.96
**23** 露出モード表示 ☞ P.60
**24** シャッタースピード表示☞ P.62
**25** 露出インジケーター表示 ☞ P.63
**26** 絞り値表示☞ P.62
**27** 露出補正マーク／露出補正値表示 ☞ P.67
**28** カウンタ（撮影可能枚数）／動画時間表示 ☞ P.56/98

*1 カスタムNO．を 1 にセットした場合は表示されません。
*2 日時設定されていない場合に点滅表示します。
*3 フォルダ名を「NIKON」と設定した場合は表示されません。

## 液晶モニタ（再生モード時）

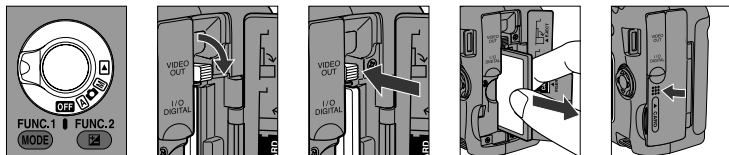
**1** 撮影日付表示 ☞ P.32
**2** 撮影時刻表示 ☞ P.32
**3** 画像サイズ表示 ☞ P.54
**4** 画質モード表示 ☞ P.55
**5** フォルダ名表示 ☞ P.138
**6** ファイル名表示 ☞ P.69
**7** バッテリーチェック表示 ☞ P.31
**8** 転送画像表示 ☞ P.144
**9** プリント表示 ☞ P.142
**10** プロテクト表示 ☞ P.140
**11** 表示画像番号☞ P.69

このクイックガイドでは、今すぐカンタンに撮影してみたいという方のために、撮影の準備から撮影終了までの操作手順を簡単に説明しています。各操作等の詳細は、それぞれの参照ページをご覧ください。

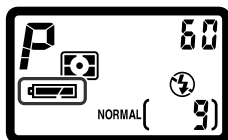
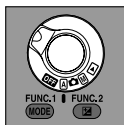
## 1 セレクトダイヤルをOFFにセットし、付属のリチャージャブルバッテリーを入れます（☞ P.30）。

## 2 コンパクトフラッシュカードを入れます（☞ P.34）。

- コンパクトフラッシュカードは、正しい向き（**コンパクトフラッシュカードの裏面を液晶モニタ側に向けます**）で、スロットの奥まで確実に差し込んでください。

### ! 注意　新しいコンパクトフラッシュカードを使用する時のご注意

コンパクトフラッシュカードをCOOLPIX995本体で初めて使用する場合には、カードのフォーマットが必要です。ただし、付属のコンパクトフラッシュカードはフォーマット済みです。

**［コンパクトフラッシュカードの取り出し方］**

### ! 注意　コンパクトフラッシュカードを着脱する時のご注意

セレクトダイヤルが OFF になっていることを必ず確認してください。

## 3 セレクトダイヤルを Ⓐ📷 にセットし、バッテリー容量を確認します（☞ P.31）。

| 表示 | 状態 | 容量 |
|---|---|---|
| ▬▬ | 点灯（表示パネルのみ） | 容量十分 |
| ▭▬ | 点灯 | 消　　耗 |
| ▭▬ | 点滅 | 容量不足 |

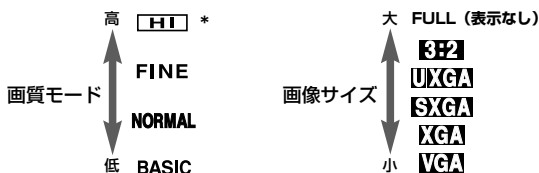
### ! 注意　バッテリー容量が少ない時のご注意

容量が少ない場合は、付属のチャージャーを使用してバッテリーを充電してください。

### メモ　日時設定について

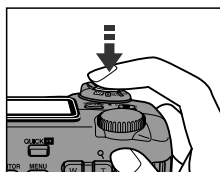
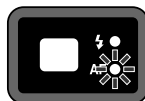
初めてお使いになる時は、日付・時刻は設定されていません。**「日時設定」**を行うと撮影日時が画像データとともに記録され、画像を再生したとき（☞ P.69）などに確認することができます。セット方法は**「日付と時刻の設定」**をご覧ください（☞ P.32）。

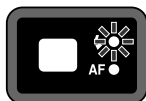
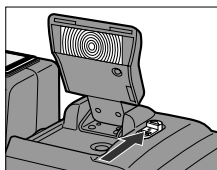
### メモ　画質モードと画像サイズについて

QUAL ボタンを押すと4種類の画質モード（圧縮の比率）が（☞ P.54）、 QUAL ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと6種類の画像サイズ（画像の大きさ）が（☞ P.55）、それぞれ選択できます。

* Ⓐ📷 では、画質モードを HI にセットすることはできません。

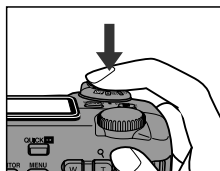
## 4 ピントを合わせたい被写体を、液晶モニタおよびファインダーの中央部に重ね、構図を決めます（☞ P.42）。

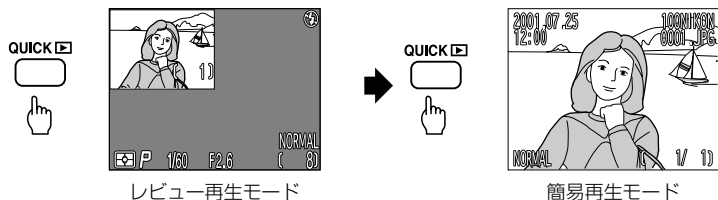
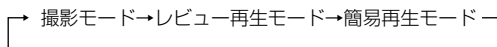
- ズームボタンの W を押すと広角（8mm）側に、 T を押すと望遠（32mm）側にズーミングします。
- 電子ズームを使用して、さらに4.0倍までの望遠撮影が行えます（☞ P.59）。

## 5 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます（☞ P.44）。

- ピントが合うと緑色LEDが点灯し、ピントが合わないときは素早く点滅します。

## 6 被写体が暗い時は、スピードライトを使用します（☞ P.46）。

赤色LED
（高速で点滅）

- 被写体が暗い場合は、シャッターボタンを半押しすると赤色LEDが点滅して内蔵スピードライトの使用をおすすめします。
- スピードライトロック解除レバーをスライドさせ、内蔵スピードライトを上げてください（☞ P.46）。

> **注意　内蔵スピードライト使用の際のご注意**
>
> 内蔵スピードライトが上がっている場合、発光部が熱くなっていることがありますので、ご注意ください。

## 7 ゆっくりとシャッターボタンを押し込みます（☞ P.45）。

- シャッターボタンを深く押し込むとシャッターがきれ、操作音（☞ P.45）がピッと1回鳴って、撮影が行われます。

## 8 撮影した画像をすぐに確認したいときは、クイックレビューボタン QUICK を押します（☞ P.47）。

レビュー再生モード

簡易再生モード

- クイックレビューボタンを押すごとに、液晶モニタの表示が次のように切り換わります。

  撮影モード→レビュー再生モード→簡易再生モード

- レビュー再生モードでは、最後に撮影した画像と表示画像番号が液晶モニタの左上の部分に縮小表示されます（☞ P.82）。
- 簡易再生モードでは、レビュー再生モードで縮小表示されていた画像が液晶モニタ全体に再生されます（☞ P.84）。

## 9 撮影を終了したい時は、セレクトダイヤルを OFF にセットします。

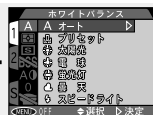
### メモ　撮影画像の削除について

撮影した画像は、**簡易再生モード**で削除することができます。
詳しくは、**「簡単な撮影」**の手順6.（☞ P.48）をご覧ください。

# 撮影メニュー項目一覧 (☞ P.90)

## 撮影メニュー1

MENU メニューボタンで呼び出します。

撮影メニュー1と2の画面はマルチセレクターで切り換えます。

### ホワイトバランス

撮影状況に応じて、適応するホワイトバランスがセットできます。 ☞ P.94

- A オート
- プリセット
- 太陽光
- 電球
- 蛍光灯
- 曇天
- スピードライト

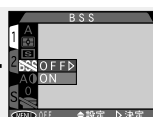
### 測光方式

撮影状況に応じて、測光方式を選択できます。 ☞ P.96

- マルチ
- スポット
- 中央重点
- AFスポット

### 連写

撮影方式を単写、連写、動画などから選択できます。 ☞ P.98

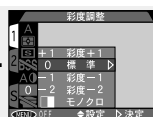
- 単写
- 連写
- マルチ連写
- 高速連写
- UH連写
- 動画

### BSS

最大10コマの連続撮影を行い、最もシャープだと判断される画像だけを記録します。 ☞ P.101

- BSS OFF
- BSS ON

### 階調補正

撮影する画像のコントラストと明るさを変化させます。 ☞ P.102

- AUTO
- 標準
- コントラスト+
- コントラスト−
- 明るめ
- 暗め

### 彩度調整

画像の鮮やかさを調整することができます。 ☞ P.103

- +1 彩度+1
- 0 標準
- −1 彩度−1
- −2 彩度−2
- モノクロ

### コンバータ

各種コンバータなどを使用する撮影に適したカメラのセットを行います。 ☞ P.104

- OFF
- ワイドコンバータ
- テレコンバータ1
- テレコンバータ2
- フィッシュアイ1
- フィッシュアイ2
- スライドアダプタ

## 撮影メニュー2

が付いている項目は、メニュー画面でコマンドダイヤル操作によって機能をセットすることもできます。

### カスタムNO.

メニュー設定の組み合わせを3通り記憶させ、一括して簡単に呼び出せます。

☞ P.106

➡
- 1 カスタムNO.1
- 2 カスタムNO.2
- 3 カスタムNO.3

### 露出制御

カメラが制御する適正露出値を意図的に変えることができます。

☞ P.107

| 項目 | 設定 |
|---|---|
| 露出固定 | OFF/ON/リセット |
| 露出補正 | +2.0〜−2.0 |
| 露出モード | P/S/A/M(A)/M(S) |

### フォーカス

AFエリア、AF-MODE、ピーキング、距離表示をセットできます。

☞ P.109

| 項目 | 設定 |
|---|---|
| AFエリア選択 | AUTO/MANUAL/OFF |
| AF-MODE | C-AF/S-AF |
| ピーキング | MF/ON/OFF |
| 距離表示 | m/ft |

### 輪郭強調

撮影した画像の輪郭を変化させます。

☞ P.112

- A◇ AUTO
- 強
- 標準
- 弱
- OFF

### ブラケティング

カメラが自動的に露出またはホワイトバランスをずらした撮影を行います。

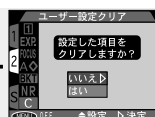
☞ P.113

- OFF
- ON ▶ 3,±0.3/3,±0.7/3,±1.0/5,±0.3/5,±0.7/5,±1.0
- WB-BKT

### ノイズ除去

長時間露出撮影時に、画面上に生じるノイズを軽減することができます。

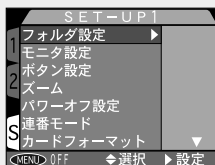
☞ P.115

- ON
- OFF

### ユーザー設定クリア

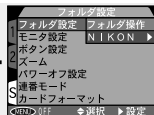
Ⓐ📷、📷Ⓜ、▶の各メニューでセットした設定をクリアします。

☞ P.116

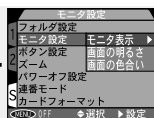
| 項目 | 設定 |
|---|---|
| 設定クリア | いいえ／はい |

# 撮影SET-UP項目一覧 (☞ P.118)

## SET-UP1

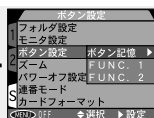
MENU メニューボタンとマルチセレクターで呼び出します。

SET-UP1と2の画面はマルチセレクターで切り換えます。

### フォルダ設定

撮影・再生に使用するフォルダの選択と、操作を行います。 ☞ P.120

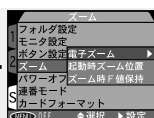
| | |
|---|---|
| フォルダ操作 | 新規作成/名称変更/フォルダ削除 |
| NIKON（フォルダ名） | |

### モニタ設定

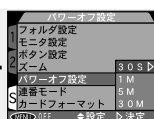
モニタ表示、画面の明るさ、画面の色合いをセットします。 ☞ P.123

| | |
|---|---|
|  | モニタON/レビューON/レビューOFF/モニタOFF |
| 画面の明るさ | （5段階にセット可能） |
| 画面の色合い | （11段階にセット可能） |

### ボタン設定

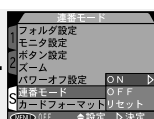
各機能のセット状態の記憶と、FUNC.1/2への機能割り当てがセットできます。 ☞ P.128

| | |
|---|---|
| ボタン記憶 | /MODE/ |
| FUNC.1 | MODE/ / /ホワイトバランス/ /測光方式 |
| FUNC.2 | |

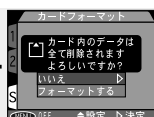
### ズーム

電子ズームのON/OFF、起動時のズーム位置、ズーム時のF値を保持がセットできます。 ☞ P.130

| | |
|---|---|
| 電子ズーム | ON/OFF |
| 起動時ズーム位置 | OFF時位置/WIDE/TELE |
| ズーム時F値保持 | OFF/ON |

### パワーオフ設定

オートパワーオフ機能が作動するまでの時間をセットできます。 ☞ P.125

30S
1M
5M
30M

### 連番モード

画像のファイル名を連続する通し番号で自動的にセットできます。 ☞ P.126

ON
OFF
リセット

### カードフォーマット

コンパクトフラッシュカードのフォーマットを行います。 ☞ P.127

| | |
|---|---|
| カードフォーマット | いいえ/フォーマットする |

## SET-UP2
（…）

## SET-UP
（…）

…マークのついたSET-UP項目は、…のSET-UPでもセットできます。

### スピードライト
発光量補正、内蔵スピードライト発光禁止、撮影確認用ランプ点灯がセットできます。 ☞ P.131

| | |
|---|---|
| 発光量補正 | +2.0～−2.0 |
| 内蔵発光禁止 | OFF/ON |
| 撮影確認ランプ | OFF/ON |

### 操作音
カメラの状態を知らせる操作音のON、OFFがセットできます。
☞ P.125

ON

OFF

### 日時設定
内蔵時計の日時と年月日をセットします。
☞ P.32・127

年・月・日・時・分

日付表示順

### info.txt
画像ファイル名と撮影時の各種データをテキストファイルとしてカードに記録します。 ☞ P.132

OFF

ON

### ビデオモード
ビデオ出力の方式をNTSCまたはPALにセットできます。
☞ P.133

NTSC

PAL

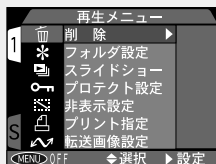
### 言語（LANG）
メニューに表示する言語を切り換えることができます。
☞ P.133

D
E
F
J
S

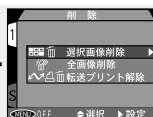
### 削除禁止
記録されている画像の削除を全て行えないようにできます。
☞ P.133

ON

OFF

# 再生メニュー/SET-UP項目一覧 (☞ P.134/146)

## 再生メニュー

MENU メニューボタンで呼び出します。

再生メニューとSET-UPの画面はマルチセレクターで切り換えます。

**削除**
複数の選択した画像や全画像の削除、および転送設定、プリント指定の解除が行えます。☞ P.136

- 選択画像削除
- 全画像削除
- 転送プリント解除

**フォルダ設定**
再生するフォルダの選択と、フォルダ操作（新規作成、名称変更、削除）を行います。☞ P.138

- フォルダ操作 ▶ 新規作成/名称変更/フォルダ削除
- 全てのフォルダ
- NIKON
- （フォルダ名）

**スライドショー**
画像を一定間隔で順番に再生するスライドショーを行います。
☞ P.138

- 開始
-  インターバル設定 ▶ 2秒/3秒/5秒/10秒

**プロテクト設定**
記録されている画像を不用意に削除しないようにプロテクトをかけることができます。☞ P.140

（画像を選択してプロテクト設定）

**非表示設定**
指定された画像を再生画面やメニュー項目の画像選択画面で表示されないようにします。☞ P.141

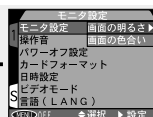
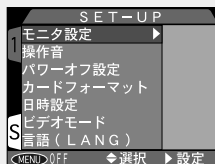
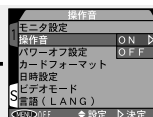
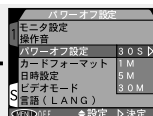
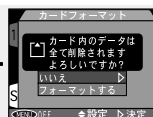
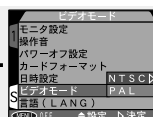
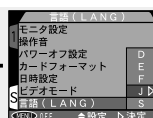
（画像を選択して非表示設定）

**プリント指定**
画像ファイルのプリントについて、枚数/情報の有無を指定することができます。☞ P.142

（画像を選択してプリント枚数設定）

**転送画像設定**
パソコンに接続した時に自動的に指定した画像を一括して転送することができます。☞ P.144

- 選択画像転送
- 全画像転送

# SET-UP

| 項目 | 説明 | | 設定 | | 内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| **モニタ設定** | 画面の明るさ、画面の色合いをセットします。 ☞P.148 | ➡ | **画面の明るさ** | ▶ | （5段階にセット可能） |
| | | | **画面の色合い** | ▶ | （11段階にセット可能） |
| **操作音** | カメラの状態を知らせる操作音のON、OFFがセットできます。 ☞P.148 | ➡ | ON<br>OFF | | |
| **パワーオフ設定** | オートパワーオフ機能が作動するまでの時間をセットできます。 ☞P.148 | ➡ | 30S<br>1M<br>5M<br>30M | | |
| **カードフォーマット** | コンパクトフラッシュカードのフォーマットを行います。 ☞P.149 | ➡ | カードフォーマット | ▶ | いいえ/フォーマットする |
| **日時設定** | 内蔵時計の日時と年月日をセットします。 ☞P.149 | ➡ | 年・月・日・時・分<br>日付表示順 | | |
| **ビデオモード** | ビデオ出力の方式をNTSCまたはPALにセットできます。 ☞P.149 | ➡ | NTSC<br>PAL | | |
| **言語（LANG）** | メニューに表示する言語を切り換えることができます。 ☞P.150 | ➡ | D<br>E<br>F<br>J<br>S | | |

# セレクトダイヤルとマルチセレクターについて

## ■セレクトダイヤル

**撮影モードや再生モードに切り換える時に使用します。**

**［ⒶⓂ：撮影モード］**

撮影モードにセットすると、表示パネルが点灯し、カメラは約2秒間撮影準備動作を行います。撮影準備動作が完了すると、液晶モニタに撮影画面が表示されます。

**［▶：再生モード］**

再生モードにセットすると、表示パネルが点灯し、約2秒後に液晶モニタに再生画像が表示されます。

### 各モードについて

| ダイヤル位置 | カメラのモード | モードの内容 |
|---|---|---|
| OFF | 電源オフ | カメラの電源はOFFになります。 |
| Ⓐ | 撮影モード（フルオート） | カメラまかせで簡単に撮影できるフルオートモードです。撮影機能は自動的にセットされます*。 |
| Ⓜ | 撮影モード（マニュアル） | 撮影者が露出モード、測光モード、ホワイトバランス、階調補正、輪郭強調などの撮影機能をセットして、目的に合った撮影を行うことができます。 |
| ▶ | 再生モード | 撮影した画像の再生を行います。 |

* 露出モード：P、測光モード：マルチ測光、ホワイトバランス：AUTOにセットされます。

## ■マルチセレクター

**メニュー操作時のカーソル移動や、項目・機能の設定・決定を行います。**

| 押す位置 | 操作できる内容 |
|---|---|
| ▲▼ | **項目や機能の選択：**<br>撮影／再生のメニュー、SET-UPで、▲(上）または▼（下）を押すことにより、項目や機能の選択を行います。 |
| ▶ | **項目・機能の決定や設定：**<br>▶(右）を押して、撮影・再生のメニュー、SET-UPで選択した項目や機能を決定します。また、セットしたい項目の詳細の画面に切り換わります。 |
| ▲▼◀▶ | **フォーカスエリアの選択（Ⓜ時）：**<br>撮影メニューの「フォーカス」の「AFエリア選択」を「MANUAL」にセットしている時に、フォーカスエリアの選択を行います。 |

# 撮影前の準備

## 撮影に入る前に準備していただきたいことが書かれています。

### 本体と付属品の確認

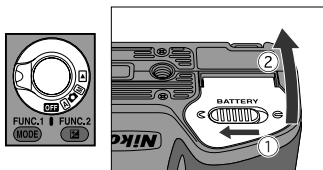
初めてお使いになる時は、速やかに本体および次の付属品がすべてそろっていることを確認してください。もしセット内容に足りないものがある場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

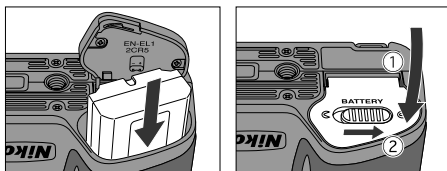
| セット内容 |
|---|
| 1. COOLPIX995本体 |
| 2. ストラップ |
| 3. Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL1 |
| 4. バッテリーチャージャー（電源コード付属） |
| 5. ビデオケーブル |
| 6. コンパクトフラッシュカード（8MB） |
| 7. レンズキャップ |
| 8. ユーザー登録カード |
| 9. IPIXソフトウェアご使用時のご注意 |
| 8. 本体使用説明書 |
| 9. バッテリーチャージャー使用説明書 |
| 10. Li-ionリチャージャブルバッテリー使用説明書 |
| 11. コンパクトフラッシュカード使用説明書 |
| 12. 保証書 |

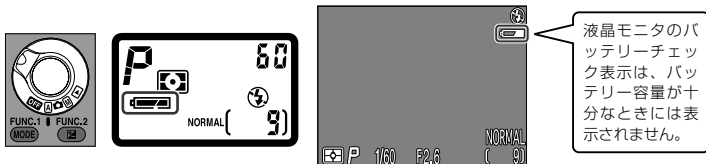
# バッテリーの入れ方

このカメラには、付属の専用Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL1、または6Vリチウム電池（2CR5）を1本使用します。
バッテリーを入れた時や、撮影の前などには、必ずバッテリー容量をチェックしてください。

## 1 セレクトダイヤルをOFFにし、電池室カバーを開けます。

● 電池室カバー開閉ノブを ⊖ 側へスライドさせて、電池室カバーを開けます。

## 2 電池室カバーの裏側に表記されている ⊕ ⊖ 指示にしたがってバッテリーを入れ、電池室カバーを閉じます。

● 電池室カバー開閉ノブを ⊖ 側へスライドさせて、電池室カバーをロックします。

## 3 セレクトダイヤルを Ⓐ📷 にセットして、バッテリーチェック表示を確認します。

液晶モニタのバッテリーチェック表示は、バッテリー容量が十分なときには表示されません。

### メモ 電源について

電源には、付属の専用リチャージャブルバッテリーEN-EL1の使用をおすすめします。EN-EL1は付属のバッテリーチャージャーで充電することができます。また、別売の専用ACアダプタ／バッテリーチャージャー EH-21（☞ P.160）を接続すれば、長時間ご使用になる場合にもバッテリーの消耗を気にすることなくカメラを使用できます。

カメラの電源が入り、表示パネルにバッテリーチェック表示が点灯します。
バッテリーチェック表示の内容は次のとおりです。

| 表示 | 内容 | カメラの状態 |
|---|---|---|
| (表示パネルのみ点灯) | バッテリーの容量は十分です。 | 通常 |
| (点灯) | バッテリーの容量が少なくなりました。充電することをおすすめします。※1 | 通常（連写可能枚数等に制限があります） |
| (点滅) | バッテリーの容量がなくなりました。充電済みのバッテリーと交換してください。※2 | 撮影不可（メニューの操作は可能な場合があります ☞ P.89） |

※1：6Vリチウム電池をご使用の場合は、予備の電池をご用意ください。

※2：6Vリチウム電池をご使用の場合は、新しい電池と交換してください。

- 撮影の際は予備のバッテリーをご用意することをおすすめします。
- バッテリーの残量が全くなくなった時は、カメラの全機能が停止します。
- バッテリーの残量がなくなっても、コンパクトフラッシュカードにいったん記録された画像・撮影データは保持されます。
- 液晶モニタをOFFにして（☞ P.42）ファインダーのみで撮影することで、バッテリーの消耗を防ぎ、撮影コマ数を増すことができます。

### メモ 付属のバッテリーEN-EL1について

付属のバッテリーEN-EL1はフル充電されていません。はじめてバッテリーをご使用になる時は、バッテリーチェック表示を確認し、バッテリーの容量が少ない場合は、付属のチャージャーを使用してバッテリーを充電してください。充電方法はチャージャーの使用説明書をご覧ください。

### 注意 バッテリーについてのご注意

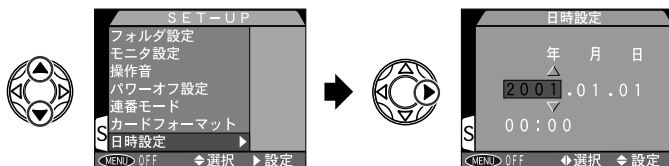
- バッテリーを入れる際は、**「警告」**、**「危険」**（☞ P.3〜7）や**「バッテリーの取り扱いについて」**（☞ P.9）の注意事項を必ず守ってください。
- カメラを三脚や別売増灯ブラケットに取り付けた状態で、バッテリー交換はできません。
- バッテリーの特性上、残量が全くなくなったバッテリーを再度カメラに入れた場合、バッテリーチェック表示が点灯することがありますので、ご注意ください。
- 残量がなくなったリチャージャブルバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源のオン／オフを繰り返さないでください。バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。リチャージャブルバッテリーEN-EL1は、充電してご使用ください。
- バッテリーチェック表示が点滅表示の状態でACアダプタを接続しても、は点灯表示されません。セレクトダイヤルを一度 OFF にし、再度電源を入れてください。

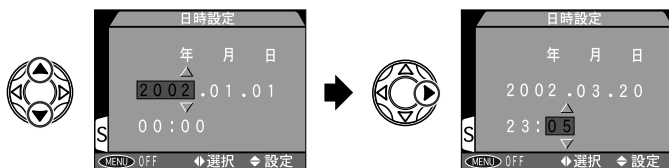
# 日付と時刻のセット

このカメラは時計の日付と時刻が設定されていませんので、初めてお使いになる時は、以下の手順にしたがって日時をセットしてください。

## 1 Ⓐ📷にセットし、メニューボタンを押して、液晶モニタに撮影SET-UPのメニュー画面を表示させます。

## 2 メニュー画面で「日時設定」を選択します。

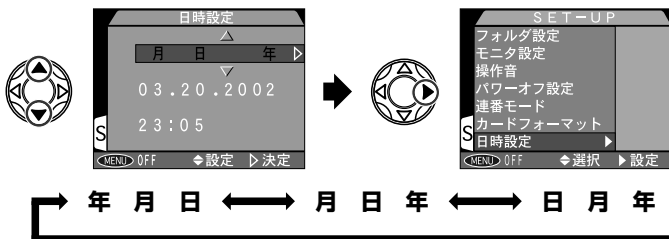
- マルチセレクターの▲ / ▼で「日時設定」を選択して、▶を押すと「日時設定画面」に切り換わり、「年」の位置にカーソルが移動し、点滅します。

## 3 年月日時分をセットします。

- 「年」の数値はマルチセレクターの▲を押すごとに大きくなり、▼を押すごとに小さくなります。数値をセットして▶を押すと次の位置にカーソルが移動し、点滅します。

**年 ⟺ 月 ⟺ 日 ⟺ 時 ⟺ 分 ⟺ 日付表示順**

- 「年」の数値は、1970～2037の範囲でセットできます。

# 4 日付表示順をセットします。

● 「日付表示順」にカーソルを合わせマルチセレクターの▲ / ▼を押すと「日付表示順」は以下の順に移動します。

年 月 日 ⟷ 月 日 年 ⟷ 日 月 年

# 5 日付と時刻が設定されます。

● 希望する「日付表示順」を選択してマルチセレクターの▶を押すと、表示形式が決定して計時を開始し、液晶モニタの画面は、日付設定画面から撮影SET-UPメニュー画面に戻ります。

**メモ 日付と時刻の撮影画面内の写し込みについて**

**「日時設定」**を行うと撮影日時が画像データとともに記録され、画像を再生した時（☞ P.69）などに確認することができますが、撮影画面内に写し込むことはできません。ただし、撮影日を入れてプリントすることはできます。

## 時計のバックアップ用電池について

COOLPIX995には、時計の作動と、カメラの設定内容の記憶用にバックアップ用電池が内蔵されています。カメラにバッテリーを入れるか、別売の専用ACアダプタを使って家庭用電源に接続するとバックアップ用電池の充電を開始し、約10時間で充電が完了します。充電完了後は、カメラのバッテリーを取り出しても、また家庭用電源との接続を中止しても記憶された日時やカメラの設定内容は約3日間保持されます。ただし、購入初期、およびバッテリーを入れない状態で長期間未使用だった場合は、バックアップ時間が短くなることがあります。バックアップ用電池の充電は10時間継続すると自動的に停止します。カメラのバッテリーを入れ直すか、専用ACアダプタを抜き差しすることよってバックアップ用電池の充電は再開されます。

● 充電が不十分な場合、一度セットした日付データや、操作ボタン・メニューで設定した内容が失われることがあります。
● 記憶されたデータ（日時、カメラの設定内容）が失われた場合は液晶モニタに時計マークが点滅します。
● 長期間使用しない場合はバッテリーを抜いて保管し、撮影前に日時を再設定してください。

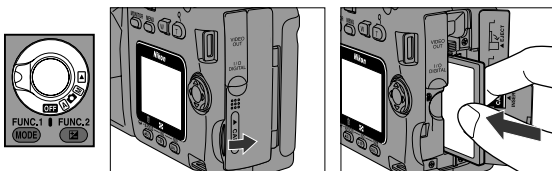
# コンパクトフラッシュカードのセット

COOLPIX995は、画像データや撮影データの記録メディアとして、コンパクトフラッシュカードを使用します。

- ニコン コンパクトフラッシュカードEC-CFシリーズ、または推奨カードをお使いください。コンパクトフラッシュカード使用上のご注意についてはP.161、およびコンパクトフラッシュカードの使用説明書をご覧ください。

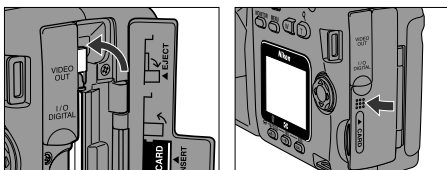
## コンパクトフラッシュカードの入れ方

**1 セレクトダイヤルをOFFにして、コンパクトフラッシュカードカバーを開け、コンパクトフラッシュカードを差し込みます。**

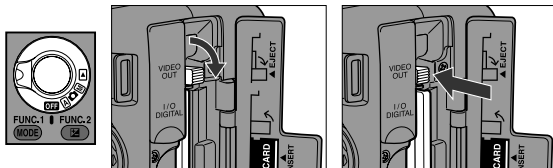
- コンパクトフラッシュカードは、正しい向き（**コンパクトフラッシュカードの裏面を液晶モニタ側に向けます**）でスロットの奥まで確実に差し込んでください。

**注意 コンパクトフラッシュカードを装着する時のご注意**

- コンパクトフラッシュカードを装着するときは、セレクトダイヤルがOFFになっていることを必ず確認してください。
- コンパクトフラッシュカードを無理に差し込まないでください。カメラやコンパクトフラッシュカードの破損の原因となります。

**2 イジェクトレバーを収納し、コンパクトフラッシュカードカバーを閉めます。**

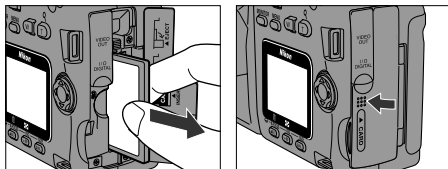
- コンパクトフラッシュカードをしっかりと差し込んだ後、イジェクトレバーを倒してカバー内に収納し、コンパクトフラッシュカードカバーを確実に閉めてください。

## コンパクトフラッシュカードの取り出し方

**1** **セレクトダイヤルを OFF にして、コンパクトフラッシュカードカバーを開け、イジェクトレバーを引きおこし、押し込みます。**

- イジェクトレバーを押し込むと、スロットに差し込まれていたコンパクトフラッシュカードが少し飛び出します。

**注意　コンパクトフラッシュカードを取り出す時のご注意**

- コンパクトフラッシュカードを取り出す時、セレクトダイヤルが OFF になっていることを必ず確認してください。
- カメラの使用直後には、コンパクトフラッシュカードが熱くなっている場合がありますので、取り出す場合にはご注意ください。

**2** **コンパクトフラッシュカードを取り出し、イジェクトレバーを収納し、コンパクトフラッシュカードカバーを閉めます。**

撮影前の準備

# コンパクトフラッシュカードのフォーマット

コンパクトフラッシュカードをCOOLPIX 995本体で初めて使う場合には、カードのフォーマットが必要です。ただし、付属のコンパクトフラッシュカードはフォーマット済みです。

**! 注意　コンパクトフラッシュカードをフォーマットする時のご注意**

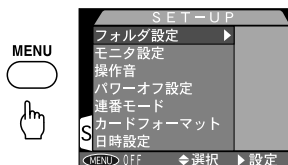
カードのフォーマットをすると、カード内のデータはすべて消去されます。

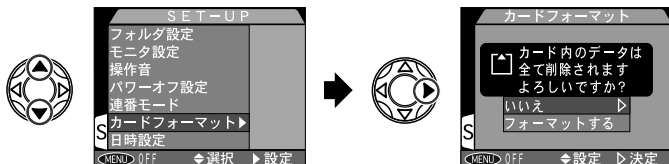
## 1 コンパクトフラッシュカードをCOOLPIX995に装着します(☞ P.34)。

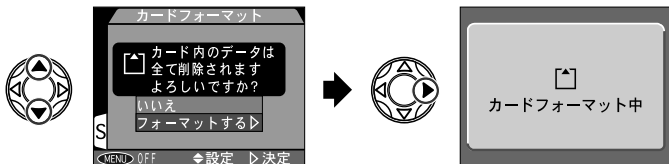
## 2 セレクトダイヤルをⒶ📷にセットします。

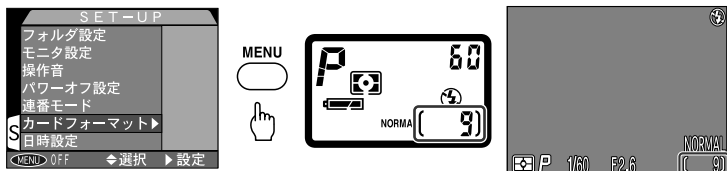
- カードのフォーマットは、📷Ⓜ、▶の各モードでも行うことができます。

## 3 メニューボタンを押します。

- メニューボタンを押すと、液晶モニタに撮影SET-UPのメニュー画面が表示されます。

## 4「カードフォーマット」を選択します。

- マルチセレクターの▲ / ▼で「カードフォーマット」を選択して、▶を押すとカードフォーマット画面に切り換わります。

## 5 「フォーマットする」を選択します。

- マルチセレクターの▲ / ▼で「フォーマットする」を選択して、▶を押すとカードフォーマットがはじまり、「カードフォーマット中」という表示が行われた後、撮影SET-UPのメニュー画面に戻ります。

## 6 メニューボタンを押して終了します。

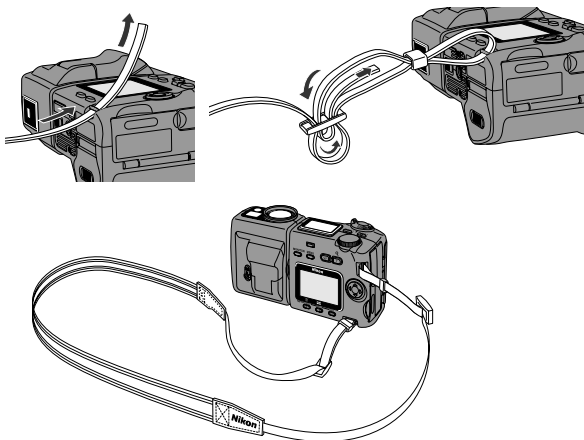
- フォーマットが終了したらメニューボタンを押して、表示パネルか液晶モニタの表示で撮影可能枚数を確認してください（☞ P.56）。

### メモ カードフォーマットを行わない場合について

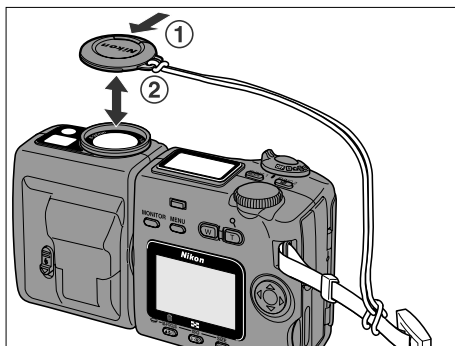
カードフォーマットを行わない場合は、メニューボタンを押すと撮影画面に戻ります。また、マルチセレクターの▲ / ▼で**「いいえ」**を選択して、◀ / ▶を押しても撮影SET-UPのメニュー画面に戻ります。

### ! 注意 カードフォーマットを行う場合のご注意

**「フォーマットする」**を選択してマルチセレクターの▶を押すと、すぐにフォーマットがはじまり、取り消すことはできませんので、注意してください。フォーマットにより全てのデータが削除されます。また、フォーマット中はコンパクトフラッシュカードを取り出さないでください。

# ストラップ／レンズキャップについて

## ストラップの取り付け方

●ストラップはイラストのように取り付けてください。

## レンズキャップの使い方

● レンズキャップの取り付け・取り外しは、レンズキャップのレバーを押し込んで行ってください。

● レンズキャップの紛失を防止するため、レンズキャップの穴に付属のひもを通して、ストラップに結んでおくことをおすすめします。

# カメラの構え方／シャッターボタンの押し方

**このカメラは、液晶モニタを使った撮影と、ファインダーを使った撮影とが行えます。撮影を行う際は、カメラが動かないように両手でしっかりと構え、シャッターボタンはゆっくりと静かに押し込んでください。**

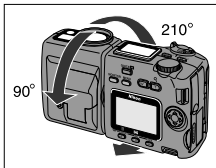
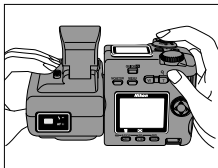
## カメラの構え方

**✓ ここをチェック！**

レンズ部は回転する構造になっています。被写体に応じて、液晶モニタ・ファインダーが見やすく、カメラをしっかりと持ちやすい角度に回転させて撮影を行ってください。

**! 注意 カメラの構える時についてのご注意**

- カメラ前面のレンズやスピードライト発光部などに指や髪、ストラップ、ACアダプタのコード、ビデオケーブルなどがかかったり、写り込んだりしないように注意してください。
- カメラの操作・撮影中に、レンズ回転部やカバー等に指や衣服をはさみこまないよう注意してください。
- ファインダーで太陽を直視しないでください。
- レンズ部の回転は、回転範囲内でゆっくりと行ってください。

**[液晶モニタを見ながら撮影する場合]**

- 右手でカメラのグリップをしっかりと持ち、左手でレンズ部を支えます。
- レンズ部は液晶モニタのある面を手前にした場合、液晶モニタに対して前方に210°、手前に90°回転できます。

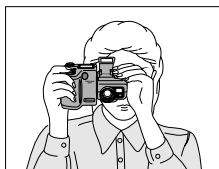
**メモ スイバルリミット機構について**

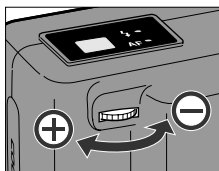
スイバルリミット機構（☞ P.104）を使用すると、前方に90°以上は回転できなくなりますので、別売のコンバータを装着した時に便利です。

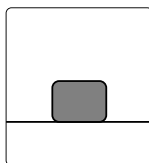
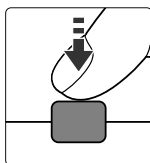
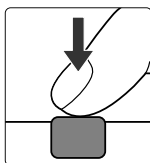
- 明るい被写体を写すと、画面に縦に白い尾を引いたような現象（スミア）が発生することがありますが、故障ではありません。また、📷Ⓜ時に撮影メニューの**「連写」**（☞ P.98）を**「単写」**、**「連写」**、**「マルチ連写」**、**「高速連写」**にセットした場合は、撮影された画像には影響はありません。

**メモ　対面時の撮影について**

レンズを液晶モニタ側に向けて対面撮影を行う場合は、液晶モニタには鏡に映ったような状態（鏡像）で被写体が表示されますが、撮影画像はレンズの向こう側から見た状態（正像）で記録されます。

### [ファインダーを見ながら撮影する場合]

- 右手でカメラのグリップを、左手でレンズ部を包みこむように持ち、カメラを顔に付けるようにしてファインダーをのぞきます。

### [視度補正ダイヤル]

- このカメラのファインダーには視度補正ダイヤルが装備されています。ファインダー像が見えにくいときは視度補正ダイヤルを回して、ファインダー内のAFフレームが最もシャープに見える位置に調節してください。

## シャッターボタンの押し方

押す前

半押し

押し込んだ状態

- シャッターボタンを軽く押して途中で止める動作を**「半押し」**といいます。半押ししたまま、さらにシャッターボタンを深く押し込むとシャッターがきれます。
- シャッターボタンを半押しすると、ピントと露出が決まり、緑色LEDが点灯します。半押し中はピントが固定されます（☞P.44）。

**注意　シャッターボタンを押す時のご注意**

シャッターをきるときはシャッターボタンを一気に押さず、軽く半押しした状態から静かに押し込んでください。シャッターボタンを一気に押すと、手ブレの原因となります。

# 簡単な撮影と再生

**撮影モードを Ⓐ📷（フルオート）にして行う簡単な撮影方法と、液晶モニタで再生する方法、削除する方法などを説明しています。初めてデジタルカメラをお使いになる方でも、簡単に撮影が行えます。**

セレクトダイヤルを Ⓐ📷（フルオート）モードにセットすると、各機能のセットをカメラまかせにして、簡単に撮影が行えます。

- ここでは、撮影モードを Ⓐ📷 にセットし、その他の自分で選択できる機能は下記の設定で説明しています。

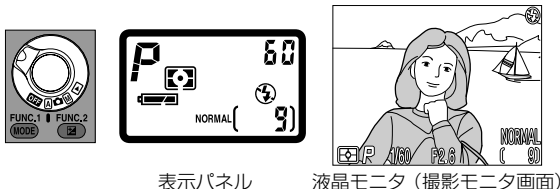
| | | |
|---|---|---|
| 画像サイズ・画質モード | ➪ | フルサイズ・NORMAL |
| フォーカスモード | ➪ | コンティニュアスAF※ |
| スピードライトモード | ➪ | 自動発光 |
| 露出補正 | ➪ | 0.0（補正なし） |
| 液晶モニタ | ➪ | ON※ |

※液晶モニタがOFFのときには、シングルAFになります。

# 簡単な撮影

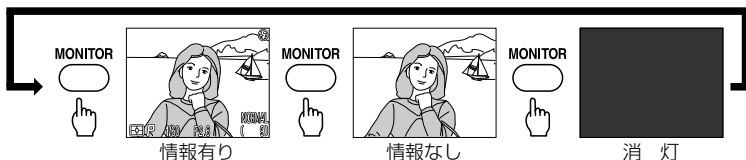
## 1 セレクトダイヤルをⒶ📷にセットします。

- 電源がONになると、カメラはピッと1回鳴って数秒間、撮影準備動作を行い、液晶モニタには撮影モニタ画面が表示されます。

表示パネル　　液晶モニタ（撮影モニタ画面）

- 表示パネルと液晶モニタには、各機能のセット状態と撮影可能枚数が表示されます。

### ■モニタボタンについて

- モニタボタンを押すごとに、液晶モニタの点灯状態を次のように変更できます。（Ⓐ📷 時の表示例）

情報有り　　情報なし　　消　灯

## 2 構図を決めます。

- 写したいものにレンズを向け、液晶モニタまたはファインダーを見ながら構図を決めます。

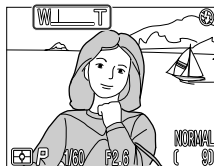
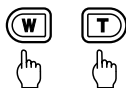
液晶モニタ　　ファインダー

- Ⓐ📷で撮影する場合は、液晶モニタまたはファインダーの中央部でピント合わせを行うため、ピントを合わせたいものを画面の中央部に重ねてください。なお、ファインダーを使用して構図を決める場合は、中央部のAFフレームが目安になります。

### 注意　ファインダーを使用して撮影する場合のご注意

ファインダーを使用して撮影する場合は、外光式ファインダーの特性上、ファインダー視野と実際に記録される範囲にズレ（パララックス）が生じます。特に、被写体の距離が近い場合にはパララックスが大きくなり、ファインダーで見える範囲でも撮影されない場合があります。おおむね90cm以内の撮影距離では、これを防ぐために液晶モニタの使用をおすすめします。ファインダーの近距離補正マークは約60cmの距離に対応する範囲を示しています。

**■ズームボタンについて**

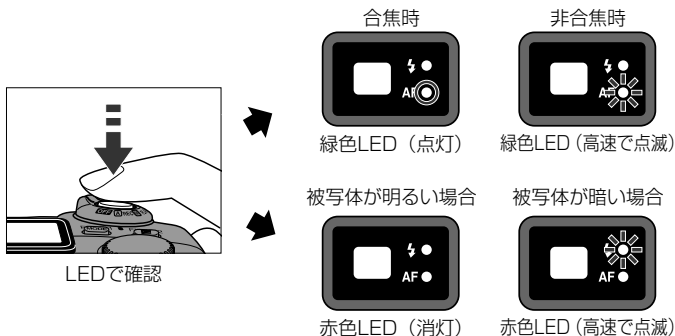
- **ズームボタンのⓌを押すと広角側に、Ⓣを押すと望遠側にズーミングします。**

ワイド（広角）時画面

テレ（望遠）時画面

- 液晶モニタを使用して撮影する場合には、最も望遠側で2秒間以上ズームボタンのⓉを押し続けると、自動的に電子ズームが働き、さらに4.0倍までの望遠撮影が行えます（☞P.59）。

### 注意　電子ズームでの撮影のご注意

電子ズームでの撮影の場合には、ファインダーで見える範囲と撮影される範囲が異なりますので、必ず液晶モニタで確認してください。

## 3 シャッターボタンを半押しして、ピントが合っていることを確認します。

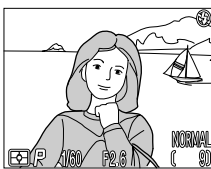
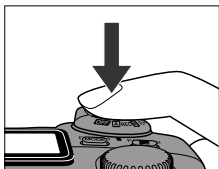
- シャッターボタンを半押しすると、ピントが合っている場合には、緑色LEDが点灯し、ピントが合っていない場合には素早く点滅します。
- 被写体が暗い場合は、赤色LEDが点滅して内蔵スピードライトの使用をおすすめします。スピードライトロック解除レバーをスライドさせ、内蔵スピードライトを上げてください（☞ P.46）。

### ! 注意　ピント合わせの際のご注意

液晶モニタが点灯している状態では、常時オートフォーカスが行われます（コンティニュアスAF ☞ P.58）。ピントが合っていなくても、シャッターをきることができますので、液晶モニタでピントが合っていることを確認してください。

### メモ　AFロック撮影について

シャッターボタンを半押ししているときにピントが合うと、その状態で固定（AFロック）され、緑色LEDが点灯します。画面の中央にピントを合わせたい被写体がない場合は、シャッターボタンを半押ししたまま構図を変えれば、AFロック撮影が行えます（☞ P.76）。AFロック撮影時は、構図を変える際に被写体までの距離が変わらないように注意してください。

# 4 ゆっくりとシャッターボタンを押し込みます。

● シャッターボタンを深く押し込むとシャッターがきれ、操作音（☞ P.125）がピッと1回鳴り、撮影が行われます。

液晶モニタ

緑色LED（中速で点滅）

● 撮影が完了すると、ファインダー横の緑色LEDが点滅し、同時に液晶モニタには撮影された画像と、（クイックデリートマーク）、（静止画延長マーク）（☞ P.81）が数秒間表示された後、通常の画面となり撮影が可能な状態になります。

● 撮影画像の静止画が表示されていても、（WAITマーク）が表示されていない場合には、シャッターボタンを半押しすると通常の画面となり、続けて撮影を行うことができます。続けて撮影できる枚数は、画質モード、画像サイズ（☞ P.54）によって決まります。目安は以下の通りです。

| 画像サイズ | 画質モード | 撮影可能枚数 |
|---|---|---|
| FULLサイズ | NORMAL | 4枚 |
| VGAサイズ | BASIC | 77枚 |

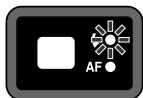
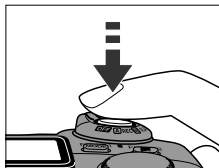
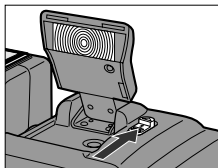
● 撮影可能な状態となっても、コンパクトフラッシュカードへの書き込みを行っている間は、液晶モニタに（カードマーク）が表示されます。

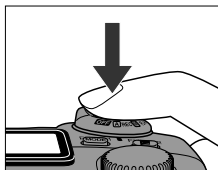
**! 注意　コンパクトフラッシュカードへの書き込みについて**

緑色LEDの点滅中は、コンパクトフラッシュカードへの書き込みを行っています。このときカードを取り出したり、バッテリーや専用ACアダプタを抜いたりしないでください。書き込み中の画像が記録されなかったり、撮影済みのデータがこわれたりする場合があります。

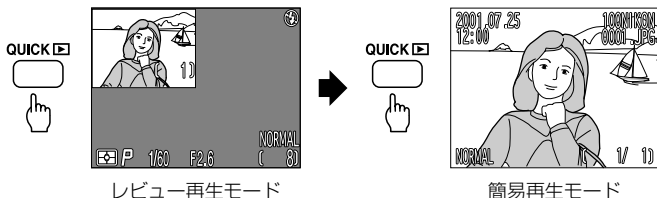
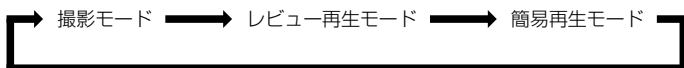
## メモ　内蔵スピードライトについて

シャッターボタンを半押しした時に、被写体が暗い場合は赤色LEDが点滅して、内蔵スピードライトの使用をおすすめします。

① **この場合は、スピードライトロック解除レバーをスライドさせ、内蔵スピードライトを上げてください。**

赤色LED（高速で点滅）

② **赤色LEDが点灯していることを確認し、ゆっくりとシャッターボタンを押し込むと、内蔵スピードライト撮影が行えます。**

赤色LED（点灯）

## 注意　内蔵スピードライト使用の際のご注意

内蔵スピードライトが上がっている場合、発光部が熱くなっていることがありますので、ご注意ください。

## 5 撮影した画像をすぐ確認するには、クイックレビューボタンを押します。

レビュー再生モード　　簡易再生モード

- **クイックレビューボタンを押すごとに、液晶モニタの表示が次のように切り換わります。**

- レビュー再生モードでは、最後に撮影した画像と表示画像番号が液晶モニタの左上の部分に縮小表示されます（☞ P.82）。
- 簡易再生モードでは、レビュー再生モードで縮小表示されていた画像が液晶モニタ全体に再生されます。画面には、最後に記録されたコマの画像とフォルダ名、ファイル名、撮影日付、撮影時刻、画像サイズ、画質モード、表示画像番号が表示されます（☞ P.85）。
- マルチセレクターを押すと、表示する画像を選択できます。

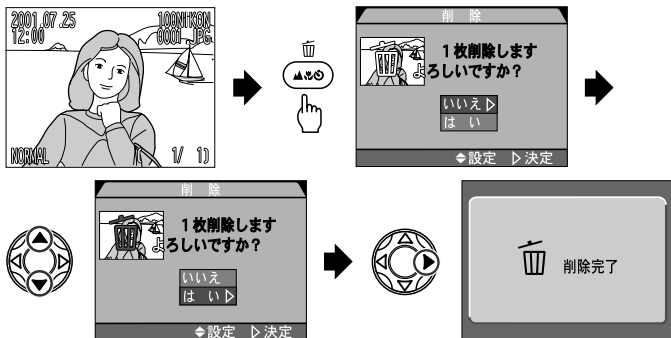
| | |
|---|---|
|  | 1コマ前の画像を表示（押すごとに前の画像を表示）。<br>先頭コマの再生時に押すと最終コマを表示します。 |
|  | 1コマ後の画像を表示（押すごとに後の画像を表示）。<br>最終コマが再生されているときに押すと先頭コマを表示します。 |

- 撮影画像がない時は、液晶モニタに**「撮影画像がありません」**と表示されます。

### ✓ ここをチェック！

- レビュー再生モード、簡易再生モード時にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードに戻り、すぐに撮影することができます。
- 撮影した画像の再生は、セレクトダイヤルを ▶（再生モード）にセットして、行うこともできます（☞ P.69）。

## 6 画像を削除する時には、簡易再生モードで削除ボタンを押し、マルチセレクターで「はい」を選択して削除します。

- 簡易再生モードで削除する画像を1コマ再生させて、削除ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲/▼で「はい」を選択して、さらに▶を押すと画像が削除されて**「削除完了」**が表示されます。

- 画像が削除されると、次の画像が1コマ再生されます。
- 削除を行わない場合は、マルチセレクターで**「いいえ」**を選択して、▶を押すと簡易再生モードに戻ります。

**✓ ここをチェック！**

撮影した画像の削除は、セレクトダイヤルを▶（再生モード）にセットして、行うこともできます（☞ P.73）。ただし、撮影SET-UPの**「削除禁止」**がONにセットされている場合は、削除を行うことができません。

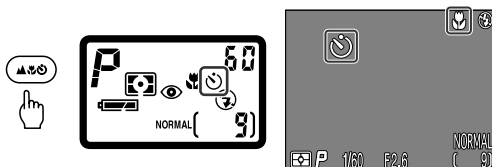
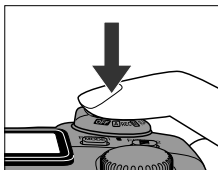
## 7 終了したい場合は、セレクトダイヤルを OFF にセットします。

**メモ　記録された画像について**

電源をOFFにしても、コンパクトフラッシュカードに記録された画像は、消去されません。

# セルフタイマー撮影

記念写真のように、撮影者自身も一緒に写りたい時などに便利です。三脚等を使用し、カメラを安定させてから行ってください。

**1** **フォーカスモードボタンを押して、セルフタイマー表示 ⏲ を点灯させます。**

**2** **構図を決め、ピントの合っていることを確認して、シャッターボタンを押し込みます。**

- シャッターボタンを1度押すと10秒、2度押すと3秒間タイマーが作動します（セルフタイマー計時開始後の一時停止は、10秒タイマー時はシャッターボタンを2回、3秒タイマー時はシャッターボタンを1回押してください）。作動開始後、セルフタイマー表示ランプが、シャッターがきれる約1秒前まで点滅し、その後約1秒間点灯します。（液晶モニタにはタイマー時間がカウントダウン表示されます）。なお、📷M時には、マニュアルフォーカス（☞ P.77）によるセルフタイマー撮影が可能です。
- セルフタイマー計時開始後のキャンセルは一時停止の操作後、フォーカスモードボタンを押して、⏲マークを消灯させるか、電源をOFFにしてください。

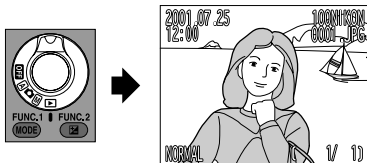
**✓ ここをチェック！**

セルフタイマー撮影にすると、マクロモード撮影も可能になり、🌷マークも同時に表示されます。

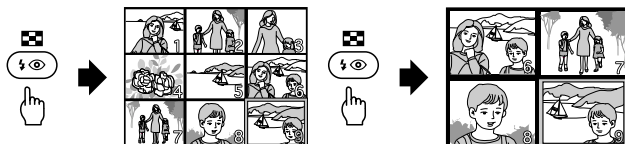
# 簡単な再生

セレクトダイヤルを ▶ にセットすると再生モードになります。再生モードでは、記録されている画像を液晶モニタに再生できます。また、小さなサイズの画像を一度に表示したり（サムネイルモード）、不要な画像を確認しながら削除することができます。

## 1コマ再生モード ☞ P.69

### 1 セレクトダイヤルを ▶ にセットします。

- 1コマ再生モードになり、液晶モニタに最後に撮影した画像が再生されます。再生画像は、マルチセレクターでコマ送りして選ぶことができます。

## サムネイルモード ☞ P.71

### 1 1コマ再生モードでサムネイルボタンを押します。

- サムネイルボタンを1回押すと9コマ、2回押すと4コマの画像が、サムネイル（縮小）表示されます。サムネイル画像は、マルチセレクターで選択して1コマ表示することができます。

## 1コマ再生モードでの削除 ☞ P.73

### 1 1コマ再生モードで削除ボタンを押します。

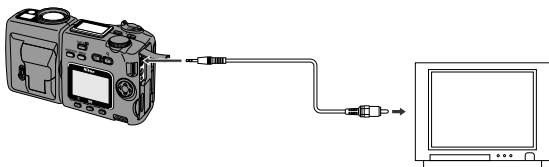
- 削除の確認画面が表示されます。画像を確認して削除を行うことができます。

# こんなこともできます

COOLPIX995をテレビやパソコンにつないで楽しんだり、撮影した画像をプリントしたりすることができます。

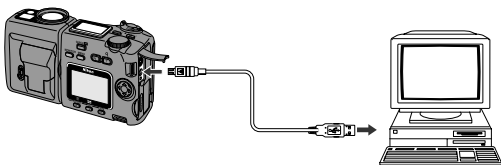
## テレビとつないでみましょう

COOLPIX995をテレビにつなぐと、液晶モニタの画像をテレビに映して楽しむことができます。

**カメラのビデオ出力端子とテレビのビデオ入力端子を専用ビデオケーブル（付属）で接続します。**

- 液晶モニタの画面をテレビに映して、画像の再生や撮影をすることができます。
  テレビなどとの接続の詳細については ☞ P.153

## パソコンとつないでみましょう

COOLPIX995をパソコンにつないで、撮影した画像のデータをパソコンに取り込むことができます。取り込んだ画像は電子メールでのやりとりやホームページの作成などに活用できます。

**画像転送用アプリケーションソフトNikon View 4（別売）を使用します。**

- パソコン接続キットPK-UC2に付属のソフトウェア「Nikon View 4」を使ってCOOLPIX995に記録されている画像の一覧表示、拡大表示、プリントなどを行うことができます。
  Nikon View 4についての詳細はパソコン接続キットに付属の使用説明書（CD-ROM）をご覧ください。
- パソコンとの接続、パソコン接続キットについての詳細は ☞ P.154

## プリントしてみましょう

COOLPIX995で撮影した画像を保存したコンパクトフラッシュカードから家庭用のプリンタで簡単にプリントしたり、プリントショップに依頼してプリントしてもらうことができます。

**COOLPIX995の再生メニューの「プリント指定」で画像ファイルのプリントについての指定を行います。**

- 再生メニューの**「プリント指定」**の詳細については、P.142をご覧ください。
- 家庭用プリンタでの自動プリントについての詳細は、ご使用のプリンタの使用説明書をご覧ください。
- プリントショップでのプリントサービスについては、ご依頼になるプリントショップにご相談ください。

# 各機能の詳細

ここでは、Ⓐ📷、📷Ⓜおよび▶でのカメラの機能の詳細を説明しています。

●画質モード／画像サイズのセット
●撮影可能枚数の確認
●フォーカスモードのセット
●電子ズームについて
●露出モードのセット
●スピードライトモードのセット
●露出補正値のセット
●感度変更モードのセット
●撮影した画像の再生
●撮影した画像の削除

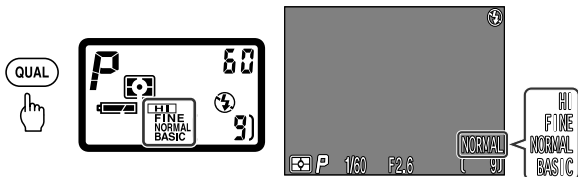
# 画質モード／画像サイズのセット



Ⓐ📷または📷Ⓜ時には、4種類の画質モード（圧縮の比率）と、6種類の画像サイズ（画像の大きさ）を組み合わせて選択することができます。

**■画質モード**

画質モードがHIモードからBASICモードになるにつれて、コンパクトフラッシュカードに保存できる枚数は増加していきますが、画像中の細かい部分の再現性は低下していきます。

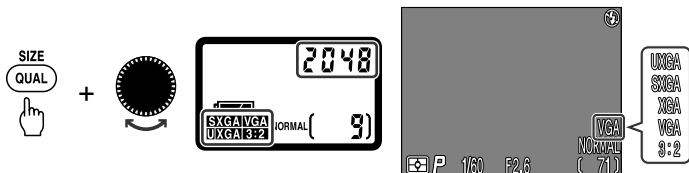
**画質モードをセットするには、画質モードボタンを押して、セットしたい画質モード表示を表示させます。**

| 画質モード | 圧縮率 | ファイルフォーマット | 撮影用途 |
|---|---|---|---|
| HI | 圧縮せず | TIFF | コンピュータで画像の一部を拡大表示する場合や、画像の一部を拡大してプリントする場合（フルサイズまたは 3:2 サイズで📷Ⓜ時のみセット可能）など。 |
| FINE | 約1/4 | JPEG | 細かい柄模様、高層ビルの窓、吊り橋のワイヤーなどを細かくプリンタで表現したい場合など。 |
| NORMAL | 約1/8 | JPEG | 通常の記念撮影などの画像をコンピュータの画面に表示したり、プリントする場合など。 |
| BASIC | 約1/16 | JPEG | インターネット等の電子メールで画像を送るときなど、画質よりも画像のファイルサイズが小さくなることを優先させたい場合など。 |

**✓ ここをチェック！**

セットされた画質モード・画像サイズは、電源をOFFにしてもセット内容は記憶されます。

■画像サイズ

撮影後の使用方法に合わせて画像サイズを切り換えることによって、コンパクトフラッシュカードを無駄なく使用することができます。

**画像サイズをセットするには、画像モードボタンを押しながらコマンドダイヤルを回して、セットしたい画像サイズ表示を表示させせます。**

| 画像サイズ | サイズ(pixel) | 使用目的 |
|---|---|---|
| FULL(表示なし) | 2048×1536 | この使用説明書のサイズからA4サイズ程度までの大きさでプリントする場合など。 |
| UXGA | 1600×1200 | ハガキサイズからこの使用説明書のサイズ程度までの大きさでプリントする場合など。 |
| SXGA | 1280×960 | カセットテープのサイズからハガキサイズ程度までの大きさでプリントしたり、20インチモニターに表示する場合など。 |
| XGA | 1024×768 | 名刺サイズからカセットテープのサイズでプリントしたり、17インチモニタに表示する場合など。 |
| VGA | 640×480 | インターネットに掲載する場合や、電子メールで画像を送る場合、または13インチモニタや、カメラで再生している画像をテレビに表示する場合など。 |
| 3:2 | 2048×1360 | 35mm判フィルムカメラと同じ縦横比で撮影したい場合など。(3:2にセットすると、液晶モニタの上下にマスクがかかり、撮影画面の比率も3：2に変化して、緑色LEDが低速で点滅します。) |

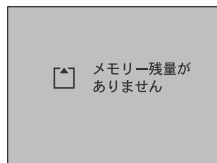
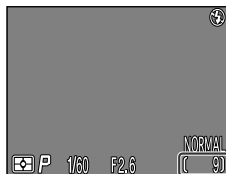
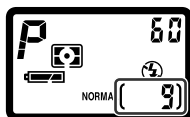
● プリント時の大きさは次のとおりとなります。

| 画像サイズ | サイズ(pixel) | 画像解像度を300dpiに設定した時 |
|---|---|---|
| FULL(表示なし) | 2048×1536 | 約17×13cm |
| UXGA | 1600×1200 | 約13×10cm |
| SXGA | 1280×960 | 約10×8cm |
| XGA | 1024×768 | 約9×7cm |
| VGA | 640×480 | 約5×4cm |
| 3:2 | 2048×1360 | 約17×12cm |

# 撮影可能枚数の確認

撮影モード（Ⓐ📷Ⓜ）

**撮影可能枚数は、コンパクトフラッシュカードの記憶容量の残量、セットされている画質モードと、画像サイズよって異なります。撮影前などにご確認ください。**

**表示パネル、液晶モニタで撮影可能枚数を確認します。**

撮影可能枚数が0の場合

- 撮影可能枚数は撮影を行うごとにカウントダウンしていきます。撮影可能枚数が0になると撮影はできなくなり、液晶モニタに警告が表示されます。
- 撮影可能枚数は以下の通りです。コンパクトフラッシュカードは8MB（[ ]内は64MB）使用時です（JPEG圧縮の性質上、撮影枚数は画像の絵柄によって大きく異なります）。

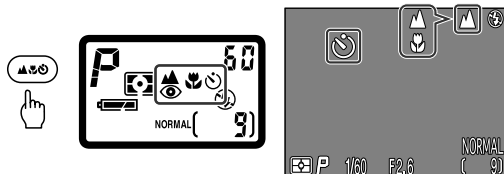
| 画質モード / 画像サイズ | HI | FINE | NORMAL | BASIC |
|---|---|---|---|---|
| FULL（表示なし） | 0 [6] 枚 | 4 [40] 枚 | 9 [78] 枚 | 18 [151] 枚 |
| UXGA | 設定不可 | 8 [65] 枚 | 15 [126] 枚 | 29 [236] 枚 |
| SXGA | 設定不可 | 12 [100] 枚 | 23 [190] 枚 | 43 [347] 枚 |
| XGA | 設定不可 | 18 [151] 枚 | 34 [278] 枚 | 60 [488] 枚 |
| VGA | 設定不可 | 43 [347] 枚 | 71 [578] 枚 | 114 [918] 枚 |
| 3:2 | 0 [7] 枚 | 5 [45] 枚 | 11 [88] 枚 | 21 [169] 枚 |

**! 注意　撮影可能枚数についてのご注意**

- 撮影しても残りコマ数が減らなかったり、消去しても撮影可能枚数が増えないことがあります。
- 撮影可能枚数が0の場合でも画質モード、画像サイズを切り換えると、撮影が可能になることがあります。また逆に、画質モード、画像サイズを切り換えると、撮影可能枚数が0になることがあります。
- 画像ファイル名（☞ P.126）は、コンパクトフラッシュカード内の一番数値の大きい画像ファイルに加算されてつけられます。そのため、カード内に数値の大きい画像ファイルを残して消去を行い撮影を続けると、画像ファイル名の数値は増加し続けます。フォルダ内の画像ファイル名が9999を超える場合は、現在のフォルダ番号に1を加えた名前のフォルダが新規作成されます。フォルダ番号が999の時に、ファイル名がDSCN9999.JPGに達した場合には、カードの記憶容量に余裕があってもそれ以上撮影ができません。カードを交換するか、カード内の画像を削除してください。

# フォーカスモードのセット

Ⓐ📷または📷Ⓜ時には、3種類のフォーカスモードとセルフタイマーが選択できます。また、📷Ⓜ時には、あらかじめ撮影距離をセットして撮影を行う、マニュアルフォーカスモードを選択することもできます（☞ P.77）。

**フォーカスモードボタンを押し、セットしたいフォーカスモード表示、またはセルフタイマー表示を表示させます（通常AFモードは何も表示されません）。**

### ✓ ここをチェック！

- 電源ON時にセットされるフォーカスモードは、**「通常AFモード」**となります。
- セルフタイマー撮影にすると、マクロモード撮影も可能になり、🌷マークも同時に表示されます。

| フォーカスモード | 表示 | 特徴 |
|---|---|---|
| **通常AFモード** | 表示なし | 通常のAF動作を行う一番手軽に撮影できるカメラまかせのモードです。スナップ写真やポートレートをはじめとする、ほとんどの撮影に幅広く対応します。ピントの合う距離範囲は30cm～無限遠です。 |
| **遠景モード** | ▲ | 風景や建物など、遠くにある被写体にピントを合わせた撮影が行えます。レンズは、遠景撮影に適した位置に自動的に駆動し、固定されます。スピードライトは自動的に発光禁止になります。 |
| **マクロモード** | 🌷 | 花や昆虫などの近接撮影をする時にセットします。液晶モニタの🌷マークが黄色に表示されるズーム位置（ミドルポジション）では、ピントの合う距離範囲はレンズ前約2cm～無限遠です。なお、70cmより近距離側でスピードライト撮影を行った場合、光が十分に行きわたらない（ケラレる）ことがあります。 |
| **セルフタイマー撮影** | ⏲ | 撮影者自身が写りたい時などにセットします。シャッターボタンを1度押すと10秒、2度押すと3秒間タイマーが作動します。作動開始後、セルフタイマー表示ランプが、シャッターがきれる約1秒前まで点滅し、その後約1秒間点灯します。液晶モニタには、タイマー時間がカウントダウン表示されます。<br>• 作動開始後のキャンセルは一時停止の操作後、フォーカスモードボタンを押して、⏲マークを消灯させるか、電源をOFFにしてください。 |

**ボタン設定**
（☞ **P.128**）

- 📷Ⓜにセット時は電源をOFFにしても、セットしてあるフォーカスモードを記憶しますが**「ボタン設定：ボタン記憶」**により、電源ON時に通常AFとなるように変更できます。

## ■通常AFモード、マクロモード撮影時のAF（オートフォーカス）動作

● 通常AFモード時、またはマクロモード撮影時に、液晶モニタが点灯している場合と、消灯している場合ではAFモードが異なります。

| 液晶モニタ | AFモード | 特徴 |
|---|---|---|
| **点灯**※ | コンティニアスAF | シャッターボタンの操作に関係なく、オートフォーカスでピント合わせを繰り返します。シャッターボタンを半押しすると、そこでピントが固定（AFロック ☞ P.76）され、緑色LEDが点灯します。 |
| **消灯** | シングルAF | シャッターボタンが半押しされている間のみオートフォーカスでピント合わせを行い、ピントが合うと緑色LEDが点灯し、AFロック（☞ P.76）を行います。液晶モニタを使用しないため、バッテリーの消耗を防ぐことができます。 |

※ 📷Ⓜ時には、液晶モニタ点灯時のAFを撮影メニューの**「フォーカス：AFモード」**で、C-AF（コンティニュアスAF）またはS-AF（シングルAF）から選択することができます（☞ P.110）。

## ■AFエリアについて

● 撮影モードによって、ピントを合わせる時に使用するAFエリアが異なります。

| 撮影モード | 特徴 |
|---|---|
| Ⓐ📷 | 中央部のAFエリアのみを使用してピント合わせを行います。ピントを合わせたいものを画面の中央に重ねて撮影してください。ファインダーで撮影する場合は、ファインダー内の中央部にあるAFフレームが目安になります。 |
| 📷Ⓜ | 液晶モニタ上の5つのAFエリアを使用してピント合わせを行います。通常、カメラが自動的に5つのAFエリアを使用してピントを合わせる**AUTO**モードになりますが、撮影者自身がAFエリアを選択してピントを合わせる**MANUAL**モード、および中央部のAFエリアのみを使用してピントを合わせる**OFF**が選択できます（☞ P.109）。 |

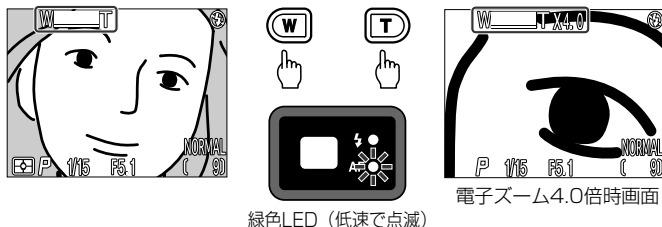
# 電子ズームについて

撮影モード（Ａ◘Ｍ）

電子ズームは、液晶モニタを使用して撮影している場合に、撮影画面の中央部を電子的に拡大する機能です。被写体を大きくとらえた撮影が行えます。

**ズームボタンの Ⓣ を押して光学ズームを最も望遠側にし、2秒以上押し続けると、自動的に電子ズームが働いて最高4.0倍まで倍率がアップします。液晶モニタに電子ズーム倍率が表示され、緑色LEDが低速で点滅します。**

緑色LED（低速で点滅）

電子ズーム4.0倍時画面

### メモ　電子ズームをキャンセルするには

- 電子ズーム作動時にズームボタンの Ⓦ を押すと倍率がダウンし、さらに押し続けると電子ズームが解除されます。
- 電源のOFFによっても解除されます。

### ✓ ここをチェック！

- 電子ズーム時に撮影メニューの**「フォーカス：AFエリア選択（OFF以外）」**（☞ P.109）で他のAFエリアを選択されている場合でも、一時的にAFエリアは中央に固定されます。
- 電子ズーム時の測光モードは、**中央部重点測光相当**になります。

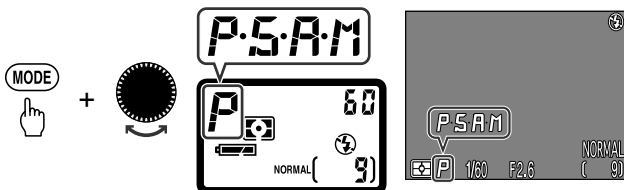
### ! 注意　電子ズームについてのご注意

- 電子ズームを使用すると、倍率が高くなるにつれ画像は粗くなります。
- HIモード、マルチ連写、UH連写、動画、モノクロでは、電子ズームは使用できません。
- 電子ズーム時には、撮影画面中央部を拡大するため、ファインダーで見える範囲と撮影範囲が異なります。必ず液晶モニタで確認して撮影してください。

# 露出モードのセット



📷Ⓜ時には、4種類の露出モードを選択できます。作画意図に合わせて露出モードを選択することによって、多様な表現を楽しむことができます。

**露出モードボタンを押しながらコマンドダイヤルを回して、セットしたい露出モード表示を表示させます。**

### 注意　低速シャッター時のご注意

シャッタースピードが1/4秒より長時間になる撮影では、液晶モニタのシャッタースピード表示が黄色に点灯し、撮影画面の暗い部分にノイズが出る場合があります。その場合、ノイズ除去モード（☞P.115）により星状のノイズを軽減することが可能です。

**ボタン設定**
(☞ P.128)

- 電源をOFFにしてもセットしてある露出モードを記憶しますが、**「ボタン設定：ボタン記憶」**により、電源ON時に*P*となるように変更できます。
- **「ボタン設定：FUNC.1」**により、露出モードボタンで各機能がセットできるように変更できます。ただし、露出モードボタンで露出モードをセットすることはできません。撮影メニューの**「露出制御」**でセットしてください（☞P.108）。

| 露出モード | 表示 | こんな時にはこんな露出モードが便利です！ |
|---|---|---|
| **プログラムオート** | P | シャッタースピードも絞りもカメラまかせで、シャッターをきるだけで簡単に撮影ができます。またプログラムシフトや、露出補正（☞ P.67）、ブラケティング（☞ P.113）などで撮影者の意図も反映できます。 |
| **シャッター優先オート** | S | 好みのシャッタースピードを使って、スポーツシーンの撮影など被写体の動きを速いシャッタースピードで写し止める、または遅いシャッタースピードで動きを強調するなど、シャッタースピードを重視した撮影に最適です。 |
| **絞り優先オート** | A | 好みの絞りを使って、背景をボカした美しいポートレート写真を撮ったり、奥行きのある風景を鮮明に写すなど、被写界深度（ピントの合う前後の範囲）を優先した撮影に最適です。 |
| **マニュアル** | M | シャッタースピードも絞りも撮影者が自由にセットできるので、個性的な映像表現にトライしたい時に最適です。 |

### メモ　高速シャッタースピードを使用したい場合

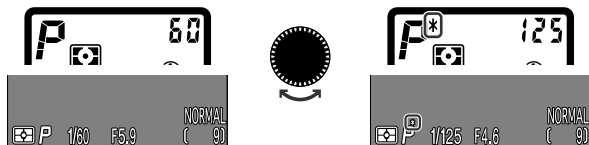
高速シャッタースピードを使用したい場合、なるべく明るい撮影条件で、カメラの絞りが絞り込まれるようにこころがけてください。

## P：プログラムオート

被写体の明るさに応じて、最適な絞り値とシャッタースピード（1秒〜1／2300秒）の組み合わせをカメラが自動的に決定します。Ⓐ📷ではこのモードに自動的にセットされます。

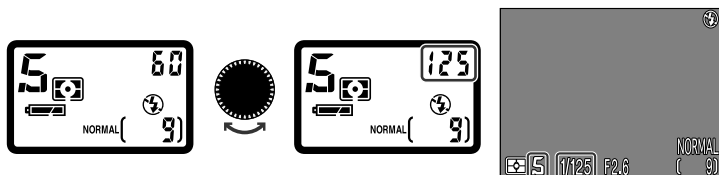
- **露出モードボタンを押すごとに、表示パネルに絞りとシャッタースピードが交互に表示されます。**

**メモ プログラムシフトについて（📷Ⓜ、液晶モニタON時のみ）**

プログラムオートで液晶モニタをON時にコマンドダイヤルを回すと、露出を一定にしたままシャッタースピードと絞りの組み合わせを変えることができます。この機能により、プログラムオートのままシャッター優先オートや絞り優先オートのような使い方ができます。プログラムシフト中はプログラムシフトマーク * が点灯します。解除するには、プログラムシフトマーク * が消灯するまでコマンドダイヤルを回す、他の露出モードに切り換える、セレクトダイヤルを📷Ⓜ以外にするなどで可能です。

## S：シャッター優先オート

撮影者が好みのシャッタースピード（8秒〜1／2000秒）をセットすると、カメラが自動的に絞りをセットします。

- **露出モードをSにセットした後、コマンドダイヤルを回すと、シャッタースピードは8秒から1／2000秒まで次のように切り換わります。**

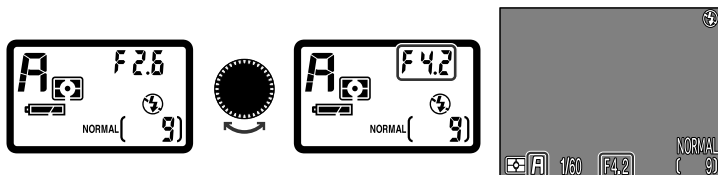
**8"⇔4"⇔2"⇔1"⇔2⇔4⇔8⇔15⇔30⇔60⇔125⇔250⇔500⇔1000⇔2000**

**注意 カメラの制御範囲について**

被写体が明るすぎたり暗すぎたりして、カメラの制御範囲を超えているときは、シャッターボタンを半押しすると、セットしたシャッタースピードが点滅表示されます。この場合は設定を変更してください。

# 露出モードのセット（つづき）

## A ：絞り優先オート

撮影者が好みの絞り値（最小絞り～開放絞り）をセットすると、カメラが自動的にシャッタースピード（8秒～1／2300秒）をセットします。

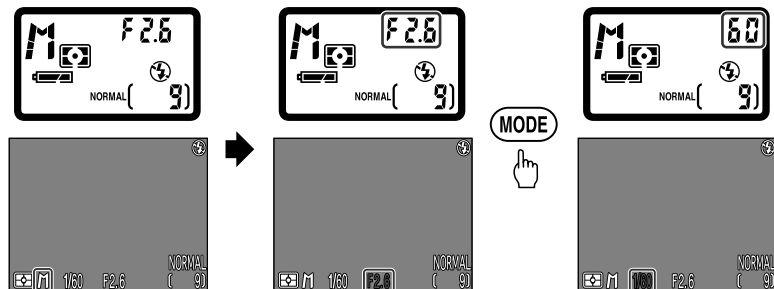
- **露出モードをAにセットした後、コマンドダイヤルを回すと、最小絞り（最も数値の大きい絞り）から開放絞り（最も数値の小さい絞り）の間で1/3段ごとにセットできます。**

### ! 注意　カメラの制御範囲について

被写体が明るすぎたり暗すぎたりして、カメラの制御範囲を超えているときは、シャッターボタンを半押しすると、セットした絞り値が点滅表示されます。この場合は設定を変更してください。

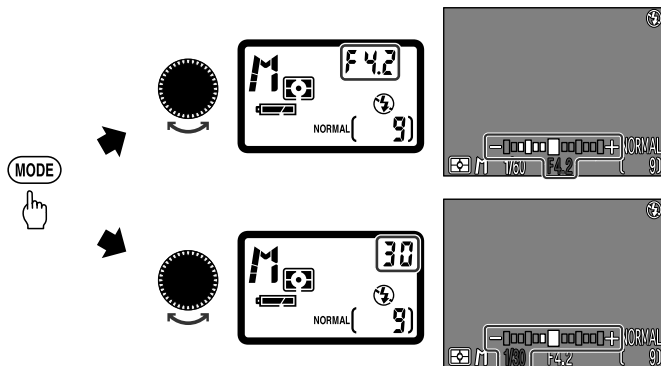
## M ：マニュアル

絞り（開放絞り～最小絞りの間で1/3段ごとに）もシャッタースピード（**最長60秒までの長時間露出撮影［BULB］**および8秒から1/2000秒まで1段ごとに）も撮影者が自由にセットできます。

**1 露出モードをMにセットし、いったん露出モードボタンから指を離して、絞りとシャッタースピードを表示させせます。**

- 露出モードボタンを押すごとに、表示パネルに絞りとシャッタースピードが交互に表示されます。また、液晶モニタでは、絞りとシャッタースピードが交互に緑色に表示されます。ただし、シャッタースピードが1/4秒より長時間になる撮影では、シャッタースピードは、黄色で表示されます。

## 2 表示パネルの露出状態表示、または液晶モニタの露出インジケーターを確認しながら、コマンドダイヤルで絞りとシャッタースピードをセットします。

● 撮影者がセットした絞りとシャッタースピードの組み合わせによる露出値と、カメラが測光した露出値の差が、露出状態表示と露出インジケーターに表示されます（長時間露出撮影時を除く）。

● 絞りとシャッタースピードの切り換えは露出モードボタンで変更できます。

● 表示例は以下のとおりです。

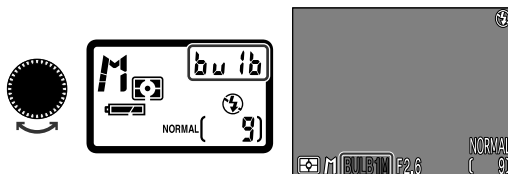
| 露出状態 | 表示パネル | 液晶パネル |
|---|---|---|
| 適正露出 | NORMA 0 | |
| 1段アンダー | NORMA -- 1 | |
| 2段オーバー | NORMA + 2 | |

### ✓ ここをチェック！

シャッタースピードを1/2000秒にセットして、赤色に表示された場合は、液晶モニタの露出インジケーターを確認しながら、絞りを絞り込んでください。

# 露出モードのセット（つづき）

## メモ　最長60秒までの長時間露出撮影(BULB)について

① 最長60秒までの長時間露出撮影（BULB）を行いたい場合は、カメラを三脚に固定して、露出モードをMにセットし、コマンドダイヤルでシャッタースピード表示を8”（8秒）の次のBULB（bulb）にセットします。

② シャッターボタンを押すと、押している間は最長60秒までシャッターが開いたままとなります。

- 長時間露出撮影（BULB）にセットできるのは、撮影メニューの**「連写」**が**「単写」**（☞ P.98）にセットされている時のみです。
- スピードライトは発光しません（強制発光にセットすると発光します）。
- 長時間露出撮影（BULB）を行う場合、撮影メニューの**「ノイズ除去：ON」**（☞ P.115）にセットされていると、記録される画像の星状ノイズが軽減されます。

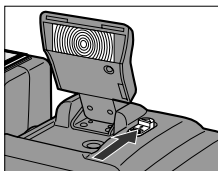
# スピードライトモードのセット

撮影モード（Ⓐ📷Ⓜ）

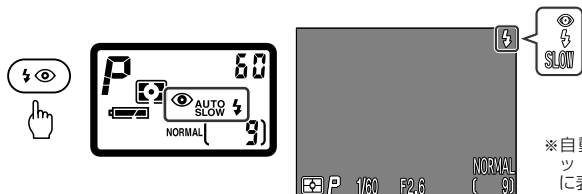
撮影目的や撮影意図に合わせて、4種類のスピードライトモードを選択することができます。

**メモ　スピードライトモードがセットできる状態について**

このカメラは内蔵スピードライトが上がっている時のみ、スピードライトモードをセットできます。内蔵スピードライト収納時には、液晶モニタおよび表示パネルに発光禁止マーク が表示されます。

## 1 内蔵スピードライトロック解除レバーをスライドさせて、内蔵スピードライトを上げます。

**注意　スピードライトが発光しない場合**

遠景モード（☞ P.57）、連写モード（単写を除く ☞ P.98）、BSSモード（☞ P.101）、コンバータモード（☞ P.104）、内蔵発光禁止モード（☞ P.131）にセットした時には、内蔵スピードライトが上がっていても、発光しません。

## 2 スピードライトモードボタンを押して、セットしたいスピードライトマークを表示させせます。

※自動発光モードにセット時は液晶モニタに表示されません。

- シャッターボタンを半押しした時に、赤色LEDが点滅している場合は、スピードライトが未充電のためシャッターがきれません。スピードライトの充電が完了し、赤色LEDが点灯するようになってから、再度シャッターボタンを押してください。

# スピードライトモードのセット（つづき）

- セットできるスピードライトモードは以下のとおりです。

| スピードライトモード | 表示 | 特徴 |
|---|---|---|
| 自動発光モード | AUTO ⚡ | 内蔵スピードライトが上がっている状態で、被写体が暗いときに自動的に発光します。内蔵スピードライトが上がっていても、被写体が明るいと自動発光しません。 |
| 赤目軽減自動発光モード | 👁AUTO ⚡ | スピードライト撮影で人物の目が赤く写ってしまう赤目現象を軽減します。発光直前に赤目軽減ランプ照射を行い、その後自動発光します。 |
| 強制発光モード | ⚡ | 被写体の明るさとは無関係にスピードライトを発光させるモードです。昼間の屋外撮影でも、逆光時に使用すると効果的です。 |
| スローシンクロモード | SLOW ⚡ | 夕景や夜景を背景とした人物撮影などで、人物も背景も自然に表現できます。 |

**! 注意　スローシンクロモード時のご注意**

- シャッタースピードが遅くなる場合がありますので、手ブレに注意してください。
- シャッタースピードが1/4秒より長時間になる撮影では、液晶モニタのシャッタースピード表示が黄色に点灯し、撮影画面の暗い部分にノイズが出る場合があります。その場合、ノイズ除去モード（☞ P.115）により星状のノイズを軽減することが可能です。

**✓ ここをチェック！**

- Ⓐ📷にセット時は、内蔵スピードライトを上げた時にセットされるスピードライトモードは、自動発光モードになります。📷Ⓜにセット時は、前回セットしていたスピードライトモードにセットされます。
- 70cmより近距離側でスピードライト撮影を行った場合、光が十分に行きわたらない（ケラレる）ことがあります。
- 増灯ターミナルに接続された増灯スピードライトも内蔵スピードライト同様に発光が制御されます（☞ P.87）。

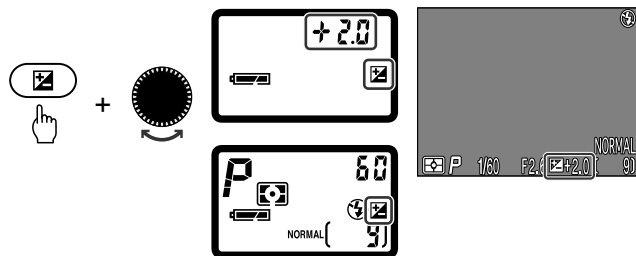
**ボタン設定**
(☞ P.128)

📷Ⓜにセット時は電源をOFFにしても、セットしてあるスピードライトモードを記憶しますが、**「ボタン設定：ボタン記憶」**により、電源ON時に自動発光モード、または赤目軽減自動発光モードのどちらかになるように変更できます。

# 露出補正値のセット

撮影モード（Ⓐ📷Ⓜ）

**露出補正モードでは、撮影目的や撮影条件に合わせて－2EVから＋2EVまで、1/3EVステップで12段階の露出補正が行えます。**

**露出補正ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回して、セットしたい露出補正値を表示させます。**

- 露出補正時には、表示パネルに露出補正マークが、液晶モニタには、露出補正マークと露出補正値が表示されます。
- セットできる補正値は次のとおりです。
  **－2.0 ⇔ －1.7 ⇔ －1.3 ⇔ －1.0 ⇔ －0.7 ⇔ －0.3**
  **⇔ 0.0（補正なし）⇔**
  **＋0.3 ⇔ ＋0.7 ⇔ ＋1.0 ⇔ ＋1.3 ⇔ ＋1.7 ⇔ ＋2.0**

**メモ　露出補正をキャンセルするには**

露出補正をキャンセルするときには、露出補正値を0.0にセットしてください。Ⓐ📷にセット時は、電源をOFFにしてもキャンセルできます。

**✓ ここをチェック！**

露出補正は、撮影メニューの**「露出制御：露出補正」**でも行えます（☞ P.108)。

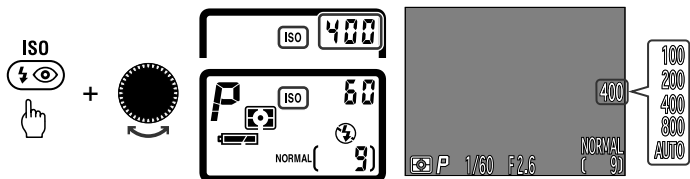
**ボタン設定**
**(☞ P.128)**

- 📷Ⓜにセット時は電源をOFFにしても、セットしてある露出補正値を記憶するようにできますが、**「ボタン設定：ボタン記憶」**により、電源ON時に露出補正なし（0.0）となるように変更できます。
- **「ボタン設定：FUNC.2」**により、露出補正ボタンで各機能がセットできるように変更できます。ただし、その場合は露出補正ボタンで露出補正値をセットすることはできません。

# 感度変更モードのセット

撮影モード（◘Ⓜ）

標準時の感度はISO100相当ですが、AUTOにセットした場合は、低輝度時に自動的に感度アップします。また暗いところで被写体を明るく撮影したい場合は、撮影者自身が標準よりも撮像感度を高くセットすることもできます。

**撮影モードを◘Ⓜにセットし感度変更ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回して、セットしたい感度を表示させせます。**

| 表示 | 撮像感度 |
|---|---|
| 100 | 標準感度（ISO100相当）<br>• 暗い場所や動きの速い被写体の撮影以外は、標準感度で撮影することをおすすめします。 |
| 200 | ISO200相当 |
| 400 | ISO400相当 |
| 800 | ISO800相当　ザラついた画像になるためご注意ください（液晶モニタに「800」と赤色表示）。 |
| AUTO | 通常は標準感度にセットされますが、低輝度時には自動的に感度アップします。ただし、露出モードがS（シャッター優先オート）、またはM（マニュアル）の時は、標準感度のままとなります。<br>• AUTOにセットして低輝度時に自動的に感度アップしている時は、表示パネルと液晶モニタには感度変更マークISOが表示されます。 |

**メモ　感度変更モードをキャンセルするには**

感度変更モードをキャンセルする場合は、AUTOにセットしてください。

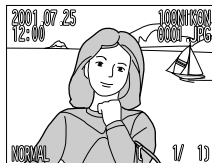
**注意　感度変更モードについてのご注意**

- 撮影者自身による感度変更は◘Ⓜ時のみ有効です。感度セット後にセレクトダイヤルをⒶ◘に合わせた場合、セットした感度は無効になり、AUTOにセットされます。ただし、セレクトダイヤルを再び◘Ⓜにセットすると、セットした感度に復帰します。
- 200、400、または800にセットしたときや、AUTOにセットして低輝度時に自動的に感度アップしているときは、標準感度に比べて多少ザラついた画像になる場合があります。
- 通常の撮影では、400より低い感度での撮影をおすすめします。800は、特別に速いシャッタースピードでブレを防止したい場合などに使用してください。また、800にセットする場合は、撮影メニューの**「輪郭強調」**をOFFにしての撮影をおすすめします（☞ P.112)。

# 撮影した画像の再生

## 1コマ再生モード

撮影した画像は液晶モニタで再生して見ることができます。

**1 セレクトダイヤルを ▶ にセットし、1コマ再生画面を表示させます。**

- 液晶モニタに最後に撮影した画像が1コマ再生されます。
- 1コマ再生画面には最後に記録されたコマの画像と、フォルダ名、ファイル名、撮影日付、撮影時刻、画像サイズ、画質モード、表示画像番号が表示されます。

**2 マルチセレクターで前後の画像を表示させることができます。**

### ■1コマ再生モードでの再生画像のコマ送り

| | 1コマ前の画像を表示 | | 1コマ後の画像を表示 |
|---|---|---|---|
|  | ・先頭画像表示時は、最終画像を表示<br>・押し続けると、表示画像番号のみカウントアップし、離した時の画像を表示 |  | ・最終画像表示時は、先頭画像を表示<br>・押し続けると、表示画像番号のみカウントダウンし、離した時の画像を表示 |

### ✓ ここをチェック！

- 撮影した画像がない場合は、液晶モニタに**「撮影画像がありません」**と表示されます。
- フルサイズ、3:2サイズのHIモード、FINEモード、NORMALモードで撮影した画像および動画を表示する際には、画像確認のためのレビュー画像が表示された後に実際の撮影画像が表示されます。

### メモ　1コマ再生モードでのモード切り換えについて

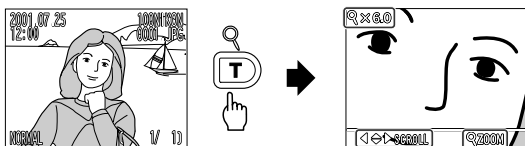
| ボタン | 機能 | 参照 | ボタン | 機能 | 参照 |
|---|---|---|---|---|---|
| 🗑 | 再生画像の削除 | ☞P.73 | MONITOR | 液晶モニタ表示の切り換え | ☞P.42 |
| ▦ | サムネイルモードに切り換え | ☞P.71 | ダイヤル | 画像情報表示画面に切り換え | ☞P.85 |
| T | 拡大表示モードに切り換え | ☞P.70 | | | |

## 拡大表示モード

画像の好きな部分を最大6.0倍まで拡大して見ることができます。

**1 セレクトダイヤルを▶にセットします。**

● 液晶モニタに最後に撮影した画像が1コマ再生されます。

**2 ズームボタンの T（🔍）を押します。**

● 1コマ再生画面でズームボタンの T を押し続けると、再生画像を拡大表示します（画面の左上に拡大表示アイコンと倍率が表示されます）。

### ■ 拡大表示モードでの操作

| | | |
|---|---|---|
| T（🔍） | 画像の拡大 | 押すごとに6.0倍まで画像をズームアップします |
| W | 拡大表示モードの解除 | 拡大表示を解除して、通常の1コマ再生モードに戻ります |
| ▲▼◀▶ | 画面のスクロール | 画面をスクロールさせて、見たい部分に移動できます |

**! 注意**

● 拡大表示の状態から前後の画面を表示する場合には、いったん拡大表示モードを終了して画像の表示を切り換えてください。

● HIモードで記録した画像では、拡大画像の表示までに時間がかかることがあります。

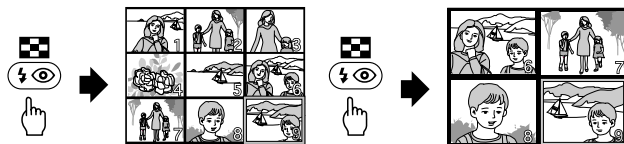
● UH連写の画像、動画の拡大表示はできません。

## サムネイルモード

液晶モニタに縮小した画像（サムネイル画像）を最大9コマまで表示します。サムネイル画像をコマ送り・コマ戻ししながら選択でき、選択した画像を1コマ再生したり、削除したりすることができます。

**1** **セレクトダイヤルを▶にセットします。**

- 液晶モニタに最後に撮影した画像が1コマ再生されます。

**2** **サムネイルボタンを押します。**

- サムネイルボタンを1回押すと9コマ、2回押すと4コマの画像が、縮小表示されます。撮影画像が9コマまたは4コマより少ない場合は、左上から詰めて表示されます。
- 1コマ再生されていた画像は、黄色の枠型カーソルで表示されます。

### ■ サムネイルモードでの操作

| | | |
|---|---|---|
| | 選択画像の切り換え | マルチセレクターを押すと、選択画像を示す黄色の枠型カーソルが移動します。<br>● カーソルを画面の端（左上または右下）まで移動させ、さらに同方向に移動させせると、9コマ表示時は6画像分、4コマ表示時は3画像分のスクロールを行います。<br>● 先頭コマまたは最終コマの表示状態でさらにスクロールさせると、先頭コマの場合には最終コマから9画面、最終コマの場合には先頭コマから9画面を表示します。 |
| | 画面のスクロール | コマンドダイヤルを回すと、9コマ表示時は9画像分、4コマ表示時は4画像分のスクロールを行います。 |

**3 サムネイル画像を1コマ再生するには、サムネイル画像を選択し、サムネイルボタンを押します。**

- 1コマ再生したい画像にカーソルを合わせます。縮小画像が9コマ表示されている場合はサムネイルボタンを2回、4コマ表示されている場合は1回押すと、その画像を1コマ再生します。

# 撮影した画像の削除



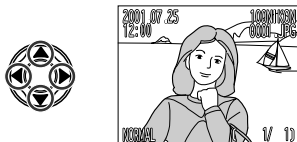
**再生モードでは、1コマ再生モード、およびサムネイルモード時に削除ボタンを押すと、画像を確認しながら1画像ずつ削除することができます。**

- 再生メニューの**「削除」**を選択すると、全画像または複数選択画像の削除が行えます。メニュー選択による削除については ☞ P.136

## 1コマ再生モードでの削除

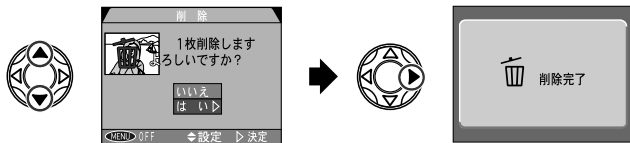
**1** **セレクトダイヤルを▶にセットします。**

- 液晶モニタに最後に撮影した画像が1コマ再生されます。

**2** **削除する画像を表示させせます。**

- マルチセレクターで削除する画像を液晶モニタに表示させせます。

**3** **削除ボタンを押します。**

- 削除確認画面が表示されます。削除確認画面の左上には、削除の対象となる画像が小さく表示されます。

**4** **マルチセレクターの▲ / ▼を押して「はい」を選択し、▶を押します。**

- 画像の削除が実行され、**「削除完了」**画面が表示された後、次の画像が1コマ再生されます。
- 削除を行わない場合は、メニューボタン、またはマルチセレクターの◀を押すか、▲ / ▼で**「いいえ」**を選択して▶を押すと、選択画像の1コマ再生画面に戻ります。

## サムネイルモードでの削除

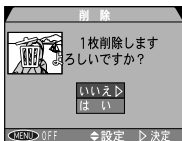
**1** **セレクトダイヤルを▶にセットします。**

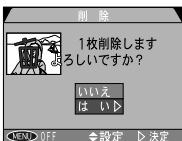
- 液晶モニタに最後に撮影した画像が1コマ再生されます。

**2** **サムネイルボタンを押して、サムネイルモードにします。**

**3** **マルチセレクターで、削除する画像を選択します。**

- 選択している画像は黄色の枠型のカーソルで示されます。

**4** **削除ボタンを押します。**

- 「削除」確認画面が表示されます。

**5** **マルチセレクターの▲ / ▼で「はい」を選択し、▶を押します。**

- 画像の削除が実行され、**「削除完了画面」**が表示された後、サムネイル画面に戻ります。
- 削除を行わない場合は、メニューボタン、またはマルチセレクターの◀を押すか、**「いいえ」**を選択して▶を押すとサムネイルモードに戻ります。

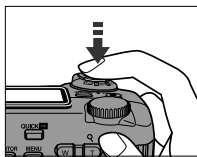
# 応用的な使い方

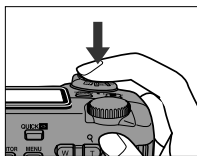
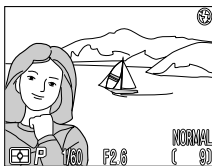
**知っておいていただくと便利な機能について説明しています。**

# AF／AEロック

撮影モード（Ⓐ📷Ⓜ）

AF（オートフォーカス）でピントを合わせる場合、主要被写体（ピントを合わせたいものや人物など）にAFフレームを合わせてシャッターボタンを半押しすると、その直後にピントの合った状態で固定されます。これをAFロックといいます。同時に主要被写体の露出もカメラに記憶され、これをAEロックと言います。この機能には主要被写体がAFフレームから外れる構図の撮影や、主要被写体に露出を合わせたい撮影のときなどに便利です。

**1 主要被写体を中央にしてシャッターボタンを半押しします。**

- ファインダーのAFフレームを使用すると目安になります。

**2 緑色LEDが点灯した状態で、シャッターボタンを半押ししたまま構図を決めて撮影します。**

- ピントが合うと緑色LEDが点灯し、ピントと露出が固定（記憶）されます。

**! 注意　AFロック後の被写体との撮影距離について**

緑色LEDの点灯後は主要被写体との撮影距離を変えないでください。

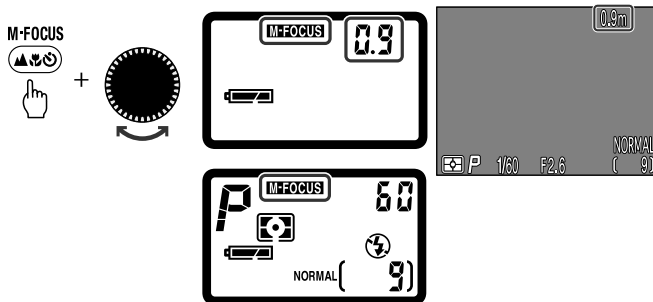
**✓ ここをチェック！**

- AEロック撮影は、マルチ測光、スポット測光、中央重点測光のいずれでも行うことができますが、マルチ測光は十分なAEロック効果が期待できないため、おすすめできません。　測光方式の選択については　☞ P.96
- AFロック撮影では、AFエリア選択（☞ P.109）をマニュアルで中央にセットしての撮影をおすすめします（ 📷Ⓜ 時）。

# マニュアルフォーカス

撮影モード（◘Ⓜ）

◘Ⓜ時には、マニュアルフォーカスで撮影距離をセットできます。被写体との撮影距離をあらかじめ想定して撮影を行う場合や、オートフォーカスが苦手な被写体を撮影する場合などに便利です（☞ P.78）。

**フォーカスモードボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、マニュアルフォーカスでの撮影となり、表示パネルにM-FOCUSマークと撮影距離が表示されます。さらに、フォーカスモードボタンを押したまま、コマンドダイヤルを回して、任意の撮影距離をセットします。**

- セットできる撮影距離（レンズ前から被写体までの距離）は、0.02m～10mの49段階およびInf（無限遠）です。
- セットした撮影距離を表示パネルで確認するときは、シャッターボタンを半押ししてください。

**メモ　マニュアルフォーカス撮影をキャンセルするには**

フォーカスモードボタンを1度押すとマニュアルフォーカスはキャンセルされ、マニュアルフォーカスをセットした直前のフォーカスモードに戻ります。

**注意　マニュアルフォーカスについてのご注意**

- マニュアルフォーカスとセルフタイマーを併用する場合は、セルフタイマーをセットしてからマニュアルフォーカスをセットしてください。
- 撮影距離を0.30m以下にセットしてズーミングを行った場合、セットした距離にピントが合わないズーム領域があります。この場合、液晶モニタの撮影距離表示が赤色に点灯し、警告します。
- コンバータ使用時は、距離表示とピントの合う距離が異なります。

# オートフォーカスが苦手な被写体の撮影　撮影モード（Ⓐ📷Ⓜ）

COOLPIX995のオートフォーカス機能は、ほとんどの被写体についてピント合わせが可能ですが、被写体の条件によってはオートフォーカスでのピント合わせが正常にできない場合があります。その場合は、以下の方法で撮影してください。

**1. 液晶モニタ消灯時にオートフォーカスでのピント合わせができず、緑色LEDが高速に点滅してシャッターがきれない場合**

※液晶モニタ点灯時はピントが合っていなくてもシャッターがきれます。

（例）
- 被写体が非常に暗い場合
- 画面内の輝度差が非常に大きい場合（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない場合（白壁や背景と同色の服を着ている人物等）

**撮影方法**

撮影したい被写体と同じ距離にあるほぼ同じ明るさの、コントラストのはっきりしたものでピントを合わせ、AFロック（☞ P.76）した後、構図を決めて撮影してください。

**2. 緑色LEDが点灯し、シャッターがきれてもピントが合わない場合**

（例）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物等）
- 動きの速い被写体

**撮影方法**

撮影したい被写体と同じ距離にあるほぼ同じ明るさのものにあらかじめピントを合わせ、AFロックした後、構図を決めて撮影してください。

**! 注意　AFロック時のご注意**

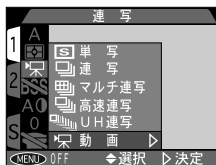
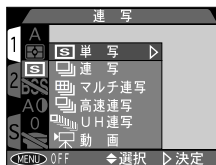
シャッターボタンを半押ししてAFロックを行った場合には、同時にAEロックも行われますので、露出には十分ご注意ください。

# 動画撮影／再生モード

QVGAサイズ（320×240）で画質モードがNORMALの動画を約40秒間撮影することができます。撮影した動画ファイルは液晶モニタで再生することができます。

## 動画撮影モード

**1 📷M で撮影メニューの「連写」で「動画」を選択します。**

撮影メニュー「連写」の「動画」については ☞ P.98

**2 シャッターボタンを深く押し込むと、動画の撮影を開始します。**

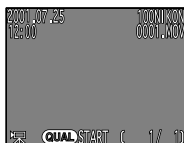
**3 もう一度シャッターボタンを深く押し込むと、動画撮影を終了します。**

- 動画撮影できる時間は約40秒間です。シャッターボタンの全押しによる動画撮影の終了操作がなかった場合は、動画撮影は動画撮影開始から40秒後に自動的に終了します。
- 動画は、QVGAサイズ（320×240）で15フレーム／秒で撮影されます。ファイルはQuickTime形式で記録されます。

## 動画再生モード

**1コマ再生モードで動画ファイルが静止画表示されている時に、QUAL ボタンを押すと動画の再生を行います。**

- 1コマ再生モード、またはサムネイルモードでは、動画撮影されたファイルは先頭コマが静止画表示され、画面上に動画ファイルであることを示すアイコン 🎥 が表示されます。
- サムネイルモードから動画再生モードに入るには、動画ファイルを選択してサムネイルボタンを押し、1コマ再生モードに入り、QUAL ボタンを押します。
- 動画再生中に 👁 ボタンを押すと一時停止し、ボタンを押した時点のフレームを静止画表示します。
- 動画再生終了後は動画最終フレームを約1秒間表示した後、先頭フレームの静止画表示に戻ります。

応用的な使い方

## ■ 動画再生モードでの操作

・先頭フレームを静止画表示中

| | | |
|---|---|---|
| QUAL | 動画再生を開始 | 動画再生終了後は動画最終フレームを約1秒間表示した後、先頭フレームの静止画表示に戻る |

・動画再生中

| | | |
|---|---|---|
| | 動画再生を一時停止 | ボタンを押した時点のフレームを静止画表示 |

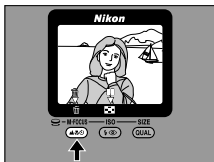
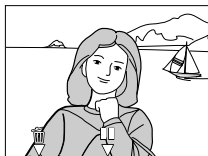
・一時停止中（動画の先頭フレーム以外を静止画表示中）

| | | |
|---|---|---|
| QUAL | 動画再生を再スタート | 静止画表示しているフレームから動画再生を再スタート |
| | 1フレーム前の画像を表示 | 動画中の1フレーム前の画像をコマ送りで再生 |
| | (動画の途中フレームの表示中) 1フレーム後の画像を表示 | 動画中の1フレーム後の画像をコマ送りで再生 |
| | (最終フレームの表示中) 動画再生を終了 | 動画再生を終了して先頭フレームを表示 |

# 記録中の画像のキャンセル／表示延長　撮影モード（Ⓐ📷Ⓜ）

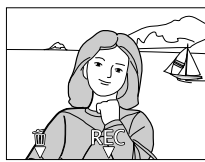
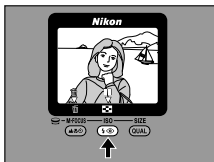
液晶モニタを使用して撮影している場合に、シャッターボタンを押して撮影したあとでも、画像の記録中に記録をキャンセル（クイックデリート）することや、画像の表示を延長することができます。

## 記録中の画像のキャンセル

**撮影画像の記録中に液晶モニタに 🗑（クイックデリートマーク）が表示されている間に、 🗑 を押します。**

- 🗑 ボタンを押すと、削除の確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲／▼で **「はい」** を選択して▶を押すと、画像データがコンパクトフラッシュカードに記録されません。

> **✓ ここをチェック！**
>
> - 撮影メニュー **「削除禁止」** がONにセットされている場合は、クイックデリートマークは表示されず、 🗑 ボタンを押すと、液晶モニタに **「ファイルの削除ができません」** と表示され、削除は行うことができません（☞ P.133）。

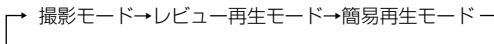
## 記録中の画像の表示延長

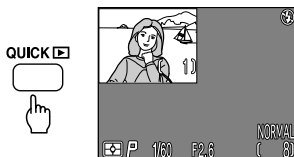
**撮影画像の記録中、液晶モニタに ⏸（静止画延長マーク）が表示されている間にスピードライトモードボタン ⚡ を押します。**

- 撮影画像の静止画表示が20秒間延長され、液晶モニタにマークRECが表示されます。20秒後に画像が記録され、通常の画面に戻ります
- RECマークが表示されている間にスピードライトモードボタン⚡を押しても、画像が記録されます。記録をキャンセルする場合には削除ボタン 🗑 を押すと削除の確認画面が表示され、削除することができます。

# レビュー再生モード／簡易再生モード　（Ⓐ📷Ⓜ）

**セレクトダイヤルが撮影モード（Ⓐ📷Ⓜ）にセットされている時に、クイックレビューボタン（QUICK▶）を押すと、レビュー再生モード／簡易再生モードになります。**
**この2つのモードは、撮影モードにセットしたまま撮影した画像の確認および再生ができるモードで、すぐに撮影モードに戻って撮影を行うことができます。**

- モードダイヤルが撮影モードにセットされている時にクイックレビューボタン（QUICK▶）を押すと、ボタンを1回押すごとに、液晶モニタの表示が次のように切り換わります。

　→ 撮影モード→レビュー再生モード→簡易再生モード ┐（最初に戻る）

## レビュー再生モード

**撮影モード時にクイックレビューボタン（QUICK▶）を押して、レビュー再生モードにセットします。**

- レビュー再生モードでは、液晶モニタの撮影スルー画の左上の部分に、最後に撮影した画像が縮小表示（サムネイル表示）され、撮影した画像を確認することができます。
- 撮影した画像がない場合は、液晶モニタに**「撮影画像がありません」**と表示され、撮影モードの画面に戻ります。

### ■ レビュー再生モードでの操作

**・レビュー再生モードでの画像表示**

サムネイル表示された画像には、表示画像番号が表示され、マルチセレクターで表示画像を選択できます。

| | |
|---|---|
|  | **1コマ前の画像を表示**<br>・先頭画像表示時は、最終画像を表示 |
|  | **1コマ後の画像を表示**<br>・最終画像表示時は、先頭画像を表示 |

### • レビュー再生モード時の撮影機能：

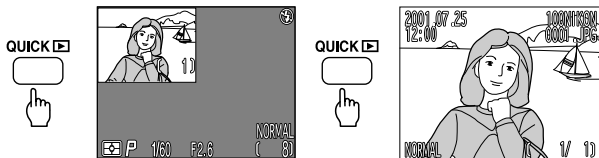
- レビュー再生モード時には、フォーカスモードボタン、スピードライトモードボタン（内蔵スピードライトが上がっている時に可能）、露出補正ボタン による各モードのセットと、ズームボタン によるズーム動作が行えます。
- レビュー再生モード時には、レビュー再生モードに入る前にセットされていた撮影モードの撮影条件（測光値、AF、ホワイトバランス［オートの場合］）の設定が保持されています。

### • レビュー再生モードの終了：

- レビュー再生モード時に次の操作が行われると、レビュー再生モードを終了して撮影モードに戻ります。
  - ・シャッターボタンを半押しした時
  - ・セレクトダイヤルを他のモードに切り換えた時
  - ・カメラがオートパワーオフ状態になった時
- レビュー再生モード時にクイックレビューボタン QUICK を押すと、レビュー再生モードを終了して簡易再生モードになり、表示されていた画像が1コマ表示されます。

## 簡易再生モード

簡易再生モードでは、モードダイヤルを撮影モードにセットしたままで簡易的な再生を行うことができます。

**レビュー再生モード時にクイックレビューボタン を押して、簡易再生モードにセットします。**

- 簡易再生モードでは、レビュー再生モードで液晶モニタの左上の部分にサムネイル表示されていた画像が1コマ再生されます。

### ■ 簡易再生モードでの操作

**・簡易再生モードで行える再生**

- 次のような再生を再生モード時と同様に行うことができます。各再生モードの詳細については、参照ページをご覧ください。

  ・1コマ再生モード　☞ P.69
  ・拡大再生再生モード☞ P.70
  ・サムネイルモード　☞ P.71
  ・画像削除　☞ P.73

**・簡易再生モードの終了**

- 簡易再生モード時に次の操作が行われると、簡易再生モードを終了して撮影モードに戻ります。

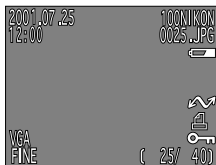
  ・クイックレビューボタン を押した時
  ・シャッターボタンを半押しした時
  ・セレクトダイヤルを他のモードに切り換えた時
  ・カメラがオートパワーオフ状態になった時

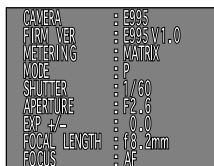
# 1コマ再生／簡易再生モードでの画面切り換え

1コマ再生または簡易再生モードで液晶モニタに再生画像を表示している時、コマンドダイヤルを回すと、次の5種類の「画像情報表示」画面の切り換えができます。

1. 基本画面
2. 詳細情報表示画面1
3. 詳細情報表示画面2
4. ヒストグラム表示画面
5. ピーキング表示画面

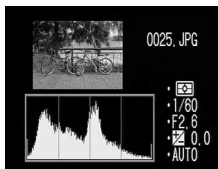
● 各画面で表示される画像情報の内容は以下のとおりです。

## 1. 基本画面

| 表示例 | 表示情報の内容 |
|---|---|
| 100NIKON | フォルダ名 |
| 0025.JPG | ファイル名（下4ケタ番号） |
|  | バッテリーチェック表示<br>（バッテリー容量が不十分なとき表示） |
|  | 転送アイコン（転送設定された画像で表示） |
|  | プリントアイコン<br>（プリント指定された画像で表示） |
|  | プロテクトアイコン<br>（プロテクト設定された画像で表示） |
| 25/40 | 表示画像番号 |
| 2001.07.25 | 撮影日付 |
| 12:00 | 撮影時刻 |
| VGA | 画像サイズ（UXGA、SXGA、XGA、VGA、3:2、QVGA） |
| FINE | 画質モード（HI、FINE、NORMAL、BASIC） |

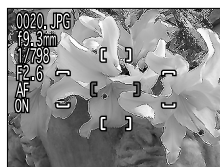
## 2. 詳細情報表示画面1

| 表示例 | 表示情報の内容 |
|---|---|
| CAMERA : E995 | 撮影カメラの機種 |
| FIRM VER : E995 V1.0 | ファームウェアのバージョン<br>（COOLPIX995の撮影画像でのみ表示） |
| METERING : MATRIX | 測光方式 |
| MODE : P | 露出モード |
| SHUTTER : 1/60 | シャッタースピード |
| APERTURE : F2.6 | 絞り値 |
| EXP ＋／－ : 0.0 | 露出補正値 |
| FOCAL LENGTH : f8.2mm | 焦点距離 |
| FOCUS : AF | フォーカスモード<br>（MF時には設定距離） |

### 3. 詳細情報表示画面2

| 表示例 | 表示情報の内容 |
|---|---|
| SPEED LIGHT : ON | スピードライト |
| IMG ADJUST : AUTO | 階調補正 |
| SENSITIVITY : AUTO | 感度 |
| WHITEBAL : AUTO | ホワイトバランス |
| SATURATION : +1 | 彩度調整 |
| SHARPNESS : AUTO | 輪郭強調 |
| DIGITAL TELE : X1.00 | 電子ズームの倍率 |
| CONVERTER : OFF | コンバータ |
| FILE SIZE : 713KB | 撮影画像のファイルサイズ |

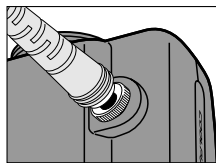
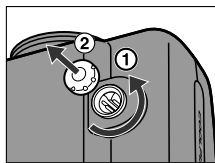
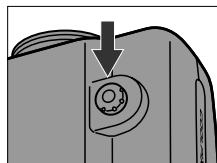
### 4. ヒストグラム表示画面

| 表示 | 表示情報の内容 |
|---|---|
| サムネイル画像 | サムネイル画像をハイライト表示<br>（画像のハイライト部分を白／黒の点滅で表示） |
| ヒストグラム | 表示画像のヒストグラムを表示 |
| 撮影情報 | 表示画像の撮影情報<br>（ファイル名、測光方式、シャッタースピード、絞り値、露出補正値、感度） |

- ヒストグラムの横軸は輝度（0〜255）を、縦軸はドット数を示します。軸のスケールは画像のドット数の最大値により最適化されて表示されます。

### 5. ピーキング表示画面

| 表示 | 表示情報の内容 |
|---|---|
| ピーキング処理画像 | 画像中で焦点の合っている被写体の輪郭を強調して表示 |
| 撮影情報 | 表示画像の撮影情報<br>（ファイル名、焦点距離、シャッタースピード、絞り値、フォーカスモード［MF時は設定距離］、選択AFエリア、ノイズ除去） |

# 増灯ターミナル

COOLPIX995と増灯ブラケットSK-E900（別売）および使用可能な当社製スピードライト（別売）を組み合わせて使用することで、スピードライトの増灯撮影が可能になります。

**1** **増灯ターミナルのキャップをはずし、増灯アダプタのカメラ取り付けプラグを接続します。**

- 使用可能な当社製別売スピードライトは、SB-28DX、SB-28、SB-26、SB-25、SB-24、SB-22s、SB-22です。その他の当社製スピードライトをご使用の場合は、当社サポート部門までお問い合わせください。
- マクロモードでの撮影時は、光が十分に行きわたらない（ケラレる）ことがありますのでご注意ください。
- スピードライトの種類によってはオートパワーズーム機能がありますが、COOLPIX995との組み合わせでは機能しません。スピードライトの照射角度は、マニュアルで28mmより広角側にセットしてください。
- スピードライトのアクティブ補助光は点灯しません。
- 増灯ブラケットSK-E900、別売スピードライトの基本的な性能や使用方法については、それぞれの使用説明書を参照してください。

**✓ ここをチェック！**

Ⓜ 時のSET-UPメニューの**「スピードライト：内蔵発光禁止」**（☞ P.131）で、内蔵スピードライトを発光停止にして、別売スピードライトのみ発光させることができます。

**! 注意　他社製のスピードライトについて**

他社製スピードライト（カメラの増灯ターミナルにマイナス電圧や250V以上の電圧がかかるもの、アクセサリシュー部の小さな接点が触れてしまうもの）を使用しないでください。カメラの正常な機能が発揮できないだけでなく、カメラおよびスピードライトのシンクロ回路を破損することがあります。

**! 注意　別売スピードライトを発光させる場合**

別売スピードライトを発光させる場合は、内蔵スピードライトが下がったままの状態では、スピードライトの調光センサーが機能しませんので、内蔵スピードライトを発光禁止にした場合も、必ず内蔵スピードライトを上げてください。

# メニューについて

**撮影、撮影SET-UP、再生、再生SET-UPの各メニューについての詳細を説明しています。**

# 撮影メニュー項目のセット

📷Ⓜ時には、撮影メニューによって露出やホワイトバランスなどをより詳細にコントロールしたり、測光方式、連写、階調補正、彩度調整、コンバーターなどの撮影条件を設定して撮影を行うことができます。

## 撮影メニュー画面の呼び出し

**📷Ⓜにセットしてメニューボタンを押すと、液晶モニタに撮影メニューが表示されます。**

- 14項目のメニューは、7項目ずつ2画面に分かれており、マルチセレクターで好みの画面を呼び出すことができます。
- 🔄が付いている項目は、メニュー画面でコマンドダイヤル操作によって機能をセットすることもできます（☞ P.93）。
- 撮影メニューをセットしている間も、液晶モニタで撮影画面が確認できます。

### メモ 素早く撮影メニューの画面を切り換えるには

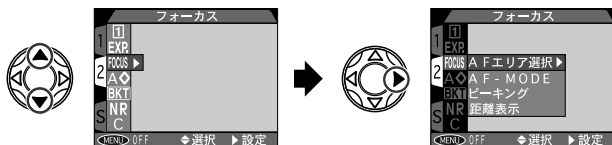
- マルチセレクターの◀で切り換える場合
  マルチセレクターの◀を押すと画面左のタグの色がオレンジに変わり、画面上部の表示は**「撮影メニュー1」**、または**「撮影メニュー2」**に変わります。この時、▲／▼を押すと、メニューは画面（タグ）単位で切り換わります。タグを切り換えた後は、▶を1回押して、メニュー項目の選択が行える状態に戻してください。
- メニューボタンで切り換える場合
  画面上部の表示が**「ホワイトバランス」**から**「コンバータ」**までの**「撮影メニュー1」**のいずれかの状態でメニューボタンを押すと、画面上部の表示は**「カスタムNO.」**となり、**「撮影メニュー2」**に切り換わります。さらに、**「撮影メニュー2」**の状態でメニューボタンを押すと、メニュー画面から撮影画面に切り換わります。

| | | | |
|---|---|---|---|
| A | ホワイトバランス | 🔄 | P.94 |
| ⊡ | 測光方式 | 🔄 | P.96 |
| S | 連写 | 🔄 | P.98 |
| BSS | BSS | 🔄 | P.101 |
| A◐ | 階調補正 | 🔄 | P.102 |
| 0 | 彩度調整 | 🔄 | P.103 |
| ≋ | コンバータ | 🔄 | P.104 |

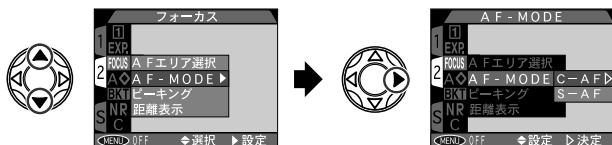
カスタムNO.
MENU OFF ◆選択 ▶設定

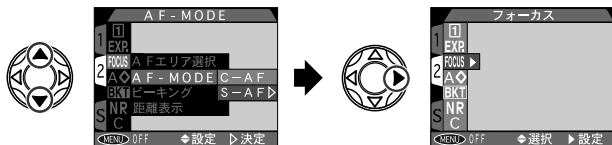
| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | カスタムNO. | 🔄 | P.106 |
| EXP. | 露出制御 | | P.107 |
| FOCUS | フォーカス | | P.109 |
| A◇ | 輪郭強調 | 🔄 | P.112 |
| BKT | ブラケティング | | P.113 |
| NR | ノイズ除去 | | P.115 |
| C | ユーザー設定クリア | | P.116 |

## 撮影メニュー項目の選択とセット（例：フォーカスモードの場合）

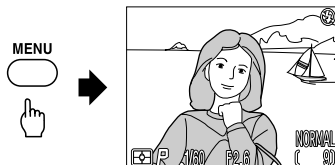
### 1 メニュー項目を選択します。

● マルチセレクターの▲ / ▼で希望するメニュー項目を選択し、▶を押すと選択した項目の画面に切り換わります。

### 2 メニュー項目の詳細を選択します。

● マルチセレクターの▲ / ▼でセットしたい項目を選択し、▶を押すとセットしたい項目の詳細の画面に切り換わります。

### 3 メニュー項目の詳細を決定します。

● マルチセレクターの▲ / ▼でセットしたい項目の詳細を選択し、▶を押すとその内容が決定されて、メニュー画面に切り換わります。

### 4 メニューボタンを押して、セットを終了します。

● メニューボタンを押すと撮影画面に切り換わり、撮影が行えます。

メニューについて　撮影メニュー項目のセット

## メモ　セットしたメニューの確認

次のメニューはセットしたメニューのアイコンが撮影メニュー画面で確認できます。

**撮影メニュー1**
- ホワイトバランス
- 測光方式
- 連写
- BSS
- 階調補正
- 彩度調整
- コンバータ

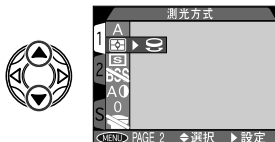
**撮影メニュー2**
- カスタムNO.
- 輪郭強調

## ✓ ここをチェック！

ほとんどの機能は、手順3のセットしたい項目の詳細にカーソルを合わせた時点で、その機能がセットされ、その状態でシャッターボタンを半押しすると、撮影画面に切り換わり撮影が行えます。ただし、撮影後はメニュー画面に戻ります。また、セットしたい項目の詳細にカーソルを合わせた後、マルチセレクターの◀を押していくとメニュー項目の画面まで戻ることができますが､その機能はすでにセットされています。

## コマンドダイヤルによるセット

**マルチセレクターでセットしたい項目にカーソルを合わせたとき、その項目の右側に が表示される項目では、コマンドダイヤルで撮影メニュー項目を素早くセットすることができます。**

### 1 マルチセレクターでメニュー項目を選択します。

- コマンドダイヤルでセットできる機能は、ホワイトバランス、測光方式、連写、BSS、階調補正、彩度調整、コンバータ、カスタムNO.、輪郭強調の9種類です。
- カスタムNO.は、記憶させたメニュー設定の組み合わせの呼び出しのみ行え、記憶させることはできません。

### 2 コマンドダイヤルを回して、希望するセットしたい項目のアイコンを表示させます。

- セットしたい項目のアイコンを表示させた状態で、メニューボタンを**「撮影メニュー1」**の時は2回、**「撮影メニュー2」**の時は1回押すと決定し、メニュー画面から撮影画面に切り換わります。

> **メモ 表示されたアイコンの内容を確認するには**
>
> セットしたい項目のアイコンを表示させた状態で、マルチセレクターの▶を押すとアイコンの内容が確認できます。

# 各撮影メニュー項目について

## ホワイトバランス

人間の目には、照明する光が変化しても、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラ等では、被写体周辺の照明光の色に合わせてバランス調整を行ってはじめて、白い被写体は白に見えます。
この調整を、ホワイトバランスを合わせるといいます。ほとんどの場合はオートで撮影できますが、特定の照明光や撮影条件に固定したい場合には、他のホワイトバランスにセットしてください。また、このカメラではホワイトバランスを使用したブラケティング撮影も行えます（☞ P.114）。

| | | |
|---|---|---|
| A オート | | ホワイトバランスを自動調整 |
| プリセット | | 撮影者が被写体を基準にホワイトバランス調整可能（☞ P.95） |
| 太陽光 | ※1 | 晴れの日の撮影用 |
| 電球 | ※1 | 白熱電球下での撮影用 |
| 蛍光灯 | ※2 | 蛍光灯下での撮影用 |
| 曇天 | ※1 | 曇りの日の撮影用 |
| スピードライト | ※1 | スピードライト撮影用 |

● ホワイトバランスをオート以外にセットすると、ホワイトバランス表示が液晶モニタの撮影情報画面に表示されます。

※1 コマンドダイヤルで－3～＋3（1段ステップ）までの微調整が行えます。－方向に回した場合は画像が赤みがかり、＋方向に回した場合は画像が青みがかります。マルチセレクターの▶を押すとセットされます。

※2 コマンドダイヤルでFL1、FL2、FL3の蛍光灯の種類に応じたセットが行えます。マルチセレクターの▶を押すとセットされます。

| 名称 | 光源 |
|---|---|
| FL1 | 白色（W） |
| FL2 | 昼白色（N） |
| FL3 | 昼光色（D） |

## ■プリセットホワイトバランス

「プリセット」を選択すると、ズームレンズが動作して、プリセットホワイトバランス設定画面に切り換わります。

| 現在の設定 | 現在のプリセットされたホワイトバランスに設定 |
|---|---|
| 新規設定 | 新たにホワイトバランスを設定 |

**[現在の設定]**

● **「現在の設定」**を選択後、マルチセレクターの▶を押すと、現在の設定値が呼び出されてセットされます。現在の設定値の呼び出し中にはズームレンズが動作しますが、画像は記録されません。

**[新規設定]**

● **「新規設定」**を選択後、撮影する照明下で白い被写体をホワイトバランス測定窓に映して、マルチセレクターの▶を押すと、ホワイトバランスがプリセットされます。プリセット中にはシャッターがきれる音とズームレンズが動作しますが、画像は記録されません。

### メモ　プリセットホワイトバランスについて

- カクテル照明や高演色蛍光灯による照明下で、マニュアルでホワイトバランスをセットするときに便利です。
- 撮影する照明下でプリセット画面にし、白い被写体を撮影してホワイトバランスをセットします。
- カメラは撮影した被写体をもとにホワイトバランスをセットし、記憶します。

## 測光方式

測光方式を選択します。

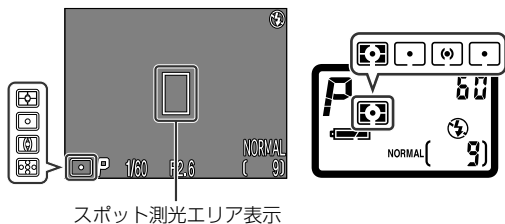
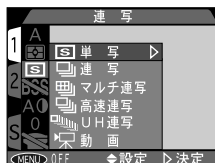
| | |
|---|---|
| マルチ | マルチ測光をセット |
| スポット | スポット測光をセット |
| 中央重点 | 中央部重点測光をセット |
| AFスポット | AFスポット測光をセット |

| 測光方式 | 特徴 | こんな撮影には |
|---|---|---|
| **マルチ** | CCDの撮像領域を256分割して測光し、最適な露出値を決定します。様々なシーンで正確な露出が得られます。 | 通常の撮影では、マルチ測光による撮影をおすすめします。 |
| **スポット** | 撮影画面中央部の、全体の約1/32の領域のみを測光して露出値を決定します。測光範囲は、撮影時に液晶モニタ中央部に表示されます。 | 逆光やコントラストの差が激しいときなど、撮影画面の一部分の露出を基準に撮影したいときに適しています。 |
| **中央重点** | 撮影画面の中央部の、全体の約1/4の領域に80%のウエイトを置いて測光し、露出値を決定します。 | 作画意図に応じて中央部の露出値を基準に撮影したい場合に適しています。 |
| **AFスポット** | 撮影メニュー（◘Ⓜ）の**「フォーカス：AFエリア選択」**で**「AUTO」**または**「MANUAL」**にセットされている時にセットできます（☞ P.109）。<br>**「AUTO」**：スポット測光エリアは、カメラが5つのAFエリアから自動的に選択したAFエリアに連動<br>**「MANUAL」**：スポット測光エリアは、撮影者自身が選択したAFエリアに連動<br>**「OFF」**：マルチ測光に自動的にセット<br>なお、液晶モニタがOFFの場合は、測光エリアはAFエリアに連動せず、中央部のAFエリアに固定されます。 | 測光エリアがAFエリアと連動するため、撮影したい構図のままで、意図的に被写体の特定部分のみの露出を基準に撮影する場合などに適しています。 |

※電子ズーム時は、自動的に中央部重点測光相当に固定されます。

● 測光方式をセットすると、測光モード表示が表示パネルと液晶モニタの撮影情報画面に表示されます。

スポット測光エリア表示

## 連写

撮影方式を単写、連写、動画などから選択します。

| | |
|---|---|
| 単写 | 1コマ撮影をセット |
| 連写 | 連写をセット |
| マルチ連写 | マルチ連写をセット |
| 高速連写 | 高速連写をセット |
| UH連写 | UH連写をセット |
| 動画 | 動画をセット |

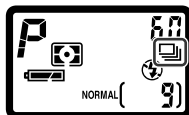
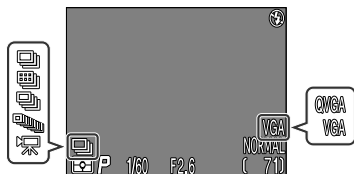
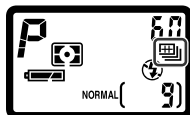
| 連写モード | 特徴 | セット可能な画像サイズ（pixel） | セット可能な画質モード | 速度（NORMAL時） |
|---|---|---|---|---|
| 単写 | シャッターボタンを深く押し込むごとに、1枚撮影を行います。そのままシャッターボタンを押し続けても、次のコマの撮影は行われません。 | 全画像サイズ | 全画質モード | － |
| 連写 | シャッターボタンを深く押し続けることにより、連続撮影を行います。 | 全画像サイズ | HI 以外 | FULL時※ 約1.5コマ/秒 |
| マルチ連写 | シャッターボタンを深く押し込むと、連続して16枚撮影を行います。16枚の画像は、1つの画像ファイルに保存されます。 | FULL (2048×1536) | HI 以外 | － |
| 高速連写 | シャッターボタンを深く押し続けることにより、高速で連続撮影を行います。 | VGA (640×480) | NORMAL | 約2コマ/秒※ |
| UH連写 | シャッターボタンを深く押し込むと、約30コマ/秒で70枚の撮影を行います。撮影を行うごとにN__で始まる専用フォルダが作成され、そのフォルダに70枚全てが記録されます。 | QVGA (320×240) | NORMAL | 約30コマ/秒 |
| 動画 | シャッターボタンを深く押し込むと、約40秒間動画の撮影を開始します。撮影中に再度シャッターボタンを深く押し込むと、撮影が終了します。 | QVGA (320×240) | NORMAL | 約15fps |

※カメラ内部のメモリの空き状態により、速度が変化します。

- 連写、マルチ連写、高速連写、UH連写では、AF、測光値、ホワイトバランス（オートの場合）は、それぞれ撮影1枚目の条件に固定されます。

## ！注意　コンパクトフラッシュカードの取り扱いについてのご注意

撮影後、コンパクトフラッシュカードへの記録が終了するまで、カードをカメラから取り出さないでください。特にUH連写、動画モードでは、撮影された画像はいったんカメラ内部のメモリ上に記録され、連写終了後にコンパクトフラッシュカードに保存されるため、記録に多少時間がかかりますのでご注意ください。

● 連写を単写モード以外にセットすると、連写モード表示が表示パネルと液晶モニタの撮影情報画面に表示されます。

連写モード時

マルチ連写モード時

高速連写モード時

UH連写モード時

動画モード時

### ✓ ここをチェック！

UH連写で撮影中は、撮影進行状況が液晶モニタに表示されます。さらに、シャッターボタンから指を離すとUH連写をいったん停止して、終了させることができます。

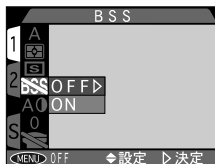
### メモ　UH連写および動画モードについて

- UH連写モードで撮影された画像を再生する時には、フォルダ選択を**「すべてのフォルダ」**にするか、N__で始まる専用フォルダを選択してください。ユーザ設定をクリアにした初期状態では、フォルダは**「すべてのフォルダ」**が選択されます。
- UH連写および動画モードでは、対面撮影を行った場合は液晶モニタに表示される画像と再生される画像はいずれも上下逆となります。
- UH連写および動画モードでは液晶モニタをONにして行ってください。液晶モニタをOFFにすると、自動的に単写モードにセットされます。ただし、再度液晶モニタをONにすると、再びそれぞれのモードに戻ります。
- 動画モードでは、撮影メニュー（📷Ⓜセット時）の**「BSS」「ブラケティング」「ピーキング」**はOFFになります。
- UH連写では、撮影メニュー（📷Ⓜセット時）の**「BSS」「ブラケティング」**はOFFになります。

### 注意　スピードライトについてのご注意

- 単写モード以外にセットした場合、内蔵スピードライトが上がっていても、内蔵スピードライトは発光しませんが、露出がアンダーになるおそれがありますので、必ず内蔵スピードライトを下げてください。
- 単写・連写・マルチ連写・高速連写モードにセットした場合、増灯スピードライト（☞ P.87）を使用することができます（別売の増灯ブラケットSK-E900等を使用☞ P.160）。増灯スピードライトを使用する場合は、内蔵スピードライトが下がったままの状態では調光センサーが機能しませんので、必ず内蔵スピードライトを上げてください。

# BSS

BSSとは「ベストショットセレクタ」（Best Shot Selector）のことで、最大10コマの連続撮影を行い、最もシャープだと判断される画像をカメラが選んで、その1コマだけをコンパクトフラッシュカードに記録します。

| | |
|---|---|
| BSS OFF | BSSをOFFにセット |
| BSS ON | BSSをONにセット |

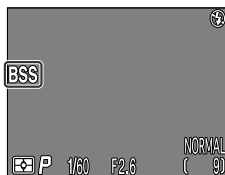
| | |
|---|---|
| BSS OFF | BSSをセットしません。通常の撮影に戻ります。 |
| BSS ON | シャッターボタンを深く押し続けると、最大10コマまで連続撮影が行われます。撮影した画像のデータは、いったんカメラ内部のメモリに記録され、撮影完了後に最もシャープだと判断されるコマをカメラが自動的に選択して、コンパクトフラッシュカードに記録します。AF、測光値、ホワイトバランスは、1コマ目の条件で固定されます。 |

### メモ BSSが効果的な撮影

BSSをONにすると、以下のような撮影時に効果的です。

- カメラのズームレンズ、またはテレコンバータを使用して望遠撮影を行っている時
- マクロ撮影時
- 被写体が暗く、シャッタースピードが遅い場合

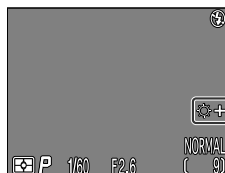
### 注意 BSSについてのご注意

- BSSは次の条件下では、ONにセットできません。
  - 連写モードが連写・マルチ連写・高速連写・UH連写・動画モードにセットされている場合（☞ P.98）
  - 画質モードが HI にセットされている場合（☞ P.54）
- BSSをONにセットした時は、内蔵スピードライトを上げても発光しません。
- BSSをONにセットしても、動きのある被写体を撮影する場合や、連続撮影中に構図を変更した場合には、効果が得られないことがあります。

- BSSをONにセットした時には、BSSのアイコンが液晶モニタの撮影情報画面に表示されます。

## 階調補正

画像のコントラストと明るさを変化させます。

| | |
|---|---|
| A◐ AUTO | 階調を自動的に調節 |
| ◯ 標準 | 標準の階調に固定 |
| ◐＋ コントラスト＋ | コントラストを強めにセット |
| ◐－ コントラスト－ | コントラストを弱めにセット |
| ☼＋ 明るめ | 明るめにセット |
| ☼－ 暗め | 暗めにセット |

| 階調補正モード | 特徴 |
|---|---|
| A◐ **AUTO** | カメラが撮影シーンに応じて最適な階調（コントラストの強弱や明るさ）を自動的に調節します。 |
| ◯ **標準** | 撮影した画像をパソコンに取り込んでレタッチを行いたい場合など、レタッチに適した標準的な階調に調節します。 |
| **◐＋ コントラスト＋**<br>**◐－ コントラスト－** | モニタやプリンタなどの出力機器のコントラスト（硬調、軟調）や、撮影シーンのコントラスト、あるいは好みに応じて、記録する画像のコントラストを調整するためなどに用います。<br>**コントラスト＋（強）**：明暗差や輪郭がはっきりとした画像になるため、画像にメリハリをつけたい場合に使用します。<br>**コントラスト－（弱）**：ソフトな感じの画像になるため、輝度差の大きい被写体を撮影する場合に使用します。 |
| **☼＋ 明るめ**<br>**☼－ 暗め** | モニタやプリンタなどの出力機器のγ（ガンマ）特性に応じて、記録する画像の明るさを調整する場合などに用います。露出補正で画像の明るさを調節するとハイライトやシャドーの階調が失われる場合があるため、出力機器とマッチングさせるためには明るめ、暗めを用いた方が良い結果がでます。<br>画像の明るさの好み、およびモニタやプリンタの特性に合わせて使用してください。<br>**明るめ**：全体的に明るめ（ハイキー）の画像になります。<br>**暗め**　：全体的に暗め（ローキー）の画像になります。 |

● 階調補正をAUTOおよび標準以外にセットすると、階調補正表示が液晶モニタの撮影情報画面に表示されます。ただし、彩度調整でモノクロがセットされている時は、モノクロ表示が表示されます。

## 彩度調整

画像の色彩の鮮やかさを調整することにより、パソコンに取り込んでレタッチを行うのに適した画像や、レタッチせずに直接プリント出力するのに適した画像を作成する場合に行います。また、モノクロ画像を作成することも可能です。

| | |
|---|---|
| ＋１彩度＋1 | 彩度を＋1にセット |
| ０ 標準 | 彩度を標準にセット |
| －１彩度－1 | 彩度を－1にセット |
| －２彩度－2 | 彩度を－2にセット |
| モノクロ | モノクロにセット |

| 彩度調整 | 特徴 |
|---|---|
| ＋１ **彩度＋1** | 彩度を鮮やかにします。プリンタ等で直接出力する場合に適してます。 |
| ０ **標準** | 通常の撮影では、標準にセットしてください。標準、－1、－2の順で彩度が抑えられます。パソコンに取り込んで、レタッチを行う場合などに適しています。 |
| －１ **彩度－1** | |
| －２ **彩度－2** | |
| **モノクロ** | 撮影された画像はモノクロデータで記録し、液晶モニタもモノクロ表示となります。画像ファイルのデータ量は通常のカラーモードと同様となりますが、モノクロでは、カラーの場合と比べて解像感の高い画像となります。 |

● モノクロモードにセットするとモノクロのアイコンが液晶モニタの撮影情報画面に表示されます。また、液晶モニタの各表示は緑色で表示され、撮影モニタ画面はモノクロ表示になります。

## コンバータ

ワイド、テレ、フィッシュアイなどの各コンバータやスライドコピーアダプタの装着時にセットします。

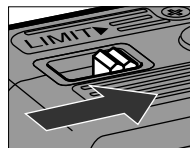
| | |
|---|---|
| OFF | コンバータモードをOFFにセット |
| ワイドコンバータ | ワイドコンバータ使用時にセット |
| テレコンバータ1 | テレコンバータTC-E2使用時にセット |
| テレコンバータ2 | テレコンバータTC-E3ED使用時にセット |
| フィッシュアイ1 | フィッシュアイコンバータ使用時にセット（画像が円形に撮影されます） |
| フィッシュアイ2 | フィッシュアイコンバータ使用時にセット（画像の隅に影が出ることなく撮影されます：対角魚眼） |
| スライドアダプタ | スライドコピーアダプタ使用時にセット |

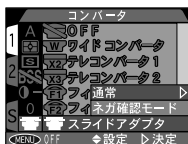
●各コンバータモードのセット内容は次のようになります。

| コンバータモード | ロックされるボタン | 焦点距離 | ズーム操作 |
|---|---|---|---|
| ワイドコンバータ | ※1 | 最も広角側（ワイド端） | セット後は可 |
| テレコンバータ1 | ※1 | 最も望遠側（テレ端） | セット後は可 |
| テレコンバータ2 | ※1 | 最も望遠側（テレ端） | セット後は可 |
| フィッシュアイ1 ※2 | ※3 ※4 | 最も広角側（ワイド端） | 不可 |
| フィッシュアイ2 | ※3 ※4 | ミドルポジション | 不可 |
| スライドアダプタ ※5 | ※3 ※4 | マクロモード | セット後は可 |

※1：内蔵スピードライトは発光禁止。別売スピードライトのみ発光可能。
※2：焦点距離は無限遠に固定、測光モードは中央部重点測光に固定。また、絞り値が一部制限されます。
※3：セルフタイマーのセットは可能。
※4：内蔵スピードライト、別売スピードライトともに発光禁止。
※5：階調補正はコントラストー、露出補正は+0.7EV、ただし、セット後に変更可能。

### メモ スイバルリミット機構について

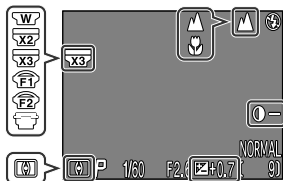
スイバルリミットレバーを矢印方向にスライドさせると、スイバルリミット機構が働いて、前方に90°以上は回転できなくなりますので、この機構により、別売のコンバータをレンズに装着した時に、不用意にレンズ部が下がってしまうのを防ぐことができます。

### ■スライドアダプタ

スライドコピーアダプタ装着時にセットします。35mm判リバーサルフィルムの複写や、ネガフィルムの画像を確認して、手軽にネガ整理を行う時などに便利です。

| 通常 | リバーサルフィルム複写時にセット |
|---|---|
| ネガ確認モード | ネガフィルムの画像を確認したい時にセット |

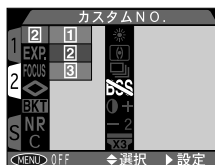
#### メモ　ネガ確認モードについて

- ネガフィルムの撮影時の照明には、十分な明るさが必要です。光量が不足している場合には、撮影モニタ画面（☞ P.42）が白みがかります。フィルムのざらつきが気になる場合などでは、**「輪郭強調」**をOFFか弱にセットすることをおすすめします（☞ P.112）。
- ネガ確認モードはあくまでも確認用のため、フィルムの種類、メーカーなどによって画質が大きく変化します。画質を重視される方には、COOLSCAN等のフィルムスキャナのご使用をおすすめします。

#### 注意　コンバータモードについてのご注意

- フィッシュアイ1および2、スライドアダプタにセットした場合は、内蔵スピードライトを上げても発光しません。液晶モニタおよび表示パネルに⊛が表示されます。
- ご使用にあたっては、各コンバータの使用説明書を参照してください。

- コンバータモードをセットすると、液晶モニタの撮影情報画面にコンバータマークを表示します。
- フィッシュアイ1にセットすると、液晶モニタに遠景マーク▲および中央部重点測光マーク⊡が表示されます。
- スライドアダプタにセットすると、液晶モニタにマクロマーク🌷、コントラストーのアイコン◑ーおよび露出補正値が表示されます。

## カスタムNO.

撮影者が設定した撮影メニューの機能の組み合わせを3通り記憶させることができ、撮影状況に応じて一括して呼び出すことができます。記憶できる撮影メニューの機能は、ホワイトバランス、測光方式、連写、BSS、階調補正、彩度調整、コンバータ、輪郭強調です。

| | |
|---|---|
| 1 カスタムNO.1 | 記憶させたメニュー設定の組み合わせの呼び出し |
| 2 カスタムNO.2 | |
| 3 カスタムNO.3 | |

**1 「カスタムNO.」を選択すると、カスタムNO.とメニューのアイコンが表示されます。**

- 撮影メニューで機能を設定すると、その内容がカスタムNO.1にセットされ、初期値以外がオレンジ色で表示されます。

**2 カスタムNO.2、3に希望する機能を記憶させる場合にはマルチセレクターの▲ / ▼で2または3を選択した後、◀ / ▶を押すと、そのカスタムNO.にセットされます。次に、希望する機能をそれぞれの撮影メニューからセットしてください。**

- 初期値以外にセットされた機能のアイコンは、オレンジ色で表示されます。
- 各カスタムNO.で希望する機能の内容を変更すると、そのカスタムNO.に変更内容が記憶されます。

- カスタムNO.2または3にセットすると、カスタムNO.が液晶モニタの撮影情報画面の左上の部分に表示されます。

# 露出制御

露出制御では、カメラが測光した適正露出値を、露出補正などにより意図的に変えたり、露出値を固定したり、露出モードをセットしたりすることなどができます。

| 露出固定 | 露出固定をセット |
|---|---|
| 露出補正 | 露出補正をセット |
| 露出モード | 露出モードをセット |

## ■露出固定

一連の写真を同じ絞り、シャッタースピード、撮像感度、ホワイトバランスにして撮影したい時などに使用します。コンピュータに画像を取り込んで合成する場合などに便利です。

● 露出固定をONにすると、WB-L（ホワイトバランスロック）とAE-L（AEロック）マークが液晶モニタの撮影情報画面に表示されます。また、リセット状態では、この2つのアイコンが黄色に表示されます。

| **OFF** | 「露出固定」は解除され、通常の露出制御に戻ります。 |
|---|---|
| **ON** | セット後、最初に撮影された条件（絞り、シャッタースピード、撮像感度、ホワイトバランス）に固定されます。<br>• スピードライトは発光禁止になりますので、内蔵スピードライトを上げないでください。 |
| **リセット** | リセット後に、最初に撮影された条件（絞り、シャッタースピード、撮像感度、ホワイトバランス）に固定されます。 |

## ■露出補正

全体的に明るめにする、暗めにするなど作画意図に応じた撮影が行えます。撮影目的や条件に合わせて−2EVから＋2EVまで、1/3EVステップで12段階の露出補正がセットできます。

- 露出補正をセットにすると、表示パネルには、露出補正マーク が表示され、液晶モニタの撮影情報画面には、露出補正マーク と補正量が表示されます。

> **✓ ここをチェック！**
>
> スピードライト撮影時は、スピードライトの光量も補正されます。光量のみを補正する場合は撮影メニューの**「スピードライト：発光量補正」**（☞ P.131）で補正を行ってください。

## ■露出モード

露出モードボタンとコマンドダイヤルを使用せずに、マルチセレクターで露出モードをセットすることができます。なお、このメニューは撮影SET-UPの「ボタン設定」（☞ P.128）で、FUNC.1とFUNC.2のいずれにも「MODE」がセットされていない場合のみ選択可能となります。

> **✓ ここをチェック！**
>
> 露出モードをSに選択した時のシャッタースピードと、Aに選択した時の絞りは、P.60の**「露出モードのセット」**と同様にコマンドダイヤルでセットします。ただし、露出モードがMの場合、M（A）を選択して絞りを、M（S）を選択してシャッタースピードをそれぞれコマンドダイヤルでセットします。

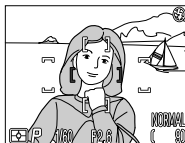
## フォーカス

AFエリア選択やAF-MODEによりピント合わせの方法を変更したり、ピーキングによりピントを確認したり、距離表示を変更したりすることができます。

| AFエリア選択 | AFエリア選択をセット |
|---|---|
| AF-MODE | AF-MODEをセット |
| ピーキング | ピーキングをセット |
| 距離表示 | 距離表示をセット |

### ■AFエリア選択

液晶モニタ上の5つのAFエリアを使用してピント合わせを行います。

● AFエリアをMANUALにセットした場合、右のようにマルチセレクターを上下左右に押してAFエリアを選択します。

| | |
|---|---|
| **AUTO** | 5つすべてのAFエリアを使用して、いずれかのAFエリアに重なる被写体のうち、最もカメラに近いものにピントを合わせます。この機能によりピントの外れた写真を避けることができます。シャッターボタンを半押しすると、5つのAFエリアの内、カメラが選択したAFエリアだけが赤色に点灯します。 |
| **MANUAL** | 液晶モニタに表示された5つのAFエリアの中から、撮影者が選択したAFエリアだけを使用してピントを合わせます。マルチセレクターを上下左右に押して希望するAFエリアを選択します。選択されたAFエリアは液晶モニタでは赤色に点灯します。動きの少ない被写体に対して、選択したAFエリア単独で正確にピント合わせを行いたい場合などに便利です。 |
| **OFF** | 5つのAFエリアのうち中央部のAFエリアのみ使用してピント合わせを行えます。AF／AEロック撮影を行う場合などに便利です（☞ P.76）。 |

**! 注意　AFエリア選択についてのご注意**

● 液晶モニタON時は、AUTO、MANUALにセットできますが、液晶モニタ消灯時および電子ズーム使用時には自動的にOFFにセットされます。

● AFエリア選択を変更した場合、新しいAFエリアでピント合わせを行います。このためAFエリア変更時はピントが合うまで、若干時間がかかります。

## ■AF-MODE

AF-MODEをC-AF（コンティニュアスAF）かS-AF（シングルAF）に切り換えられます。

| | |
|---|---|
| **C-AF** | 液晶モニタ点灯時はシャッターボタンの操作に関係なくAFによるピント合わせを繰り返し、シャッターボタンの半押しでAFロックを行います。ただし、液晶モニタ消灯時はS-AFとなります。 |
| **S-AF** | 液晶モニタの点灯・消灯にかかわらず、シャッターボタンが半押しされている間のみAFによるピント合わせを行い、ピントが合うとAFロックを行います。 |

## ■ピーキング

液晶モニタ上でピントが合っているかどうかを確認することができます。

| | |
|---|---|
| **MF** | マニュアルフォーカス（☞ P.77）をセットした場合に、液晶モニタ上でピントが合っている部分の輪郭のみが強調され、ピントが合っていることが確認できます。 |
| **ON** | 常に液晶モニタ上でピントが合っている部分の輪郭のみが強調され、ピントが合っていることが確認できます。 |
| **OFF** | 液晶モニタ上の輪郭の強調が解除されます。 |

**✓ ここをチェック！**

ピーキングは液晶モニター上で輪郭を強調表示するもので、撮影された画像には影響ありません。

## ■距離表示

マニュアルフォーカスセット時に液晶モニタと表示パネルの距離表示を変更できます。

| m | メートル |
|---|---|
| ft | フィート |

## 輪郭強調

撮影した画像の輪郭を変化させます。

| | |
|---|---|
| A◇ AUTO | 輪郭の強弱を自動的に調節 |
| ◆ 強 | 輪郭の強調を強めにセット |
| ◇ 標準 | 標準の輪郭に固定 |
| ○ 弱 | 輪郭の強調を弱めにセット |
| OFF | 輪郭の強調を解除 |

| 輪郭強調モード | 特徴 |
|---|---|
| A◇ **AUTO** | カメラが撮影した画像から最適な輪郭を自動的に調節します。 |
| ◇ **標準** | 撮影した画像を標準的な輪郭に固定します。 |
| ◆ **強**<br>○ **弱** | モニタやプリンタなどの出力機器の特性や撮影シーン、または好みに応じて、記録する画像の輪郭の強弱を調整するために使用します。<br>**強**：個々の被写体の境目がはっきりとした画像になるため、画像にメリハリをつけたい場合などに使用します。<br>**弱**：個々の被写体の境目がソフトな感じの画像になります。 |
| **OFF** | 輪郭の強調を解除します。 |

### 注意 輪郭強調モードについてのご注意

輪郭強調の設定は撮影時の液晶モニタ画面とビデオ出力には反映されません。

● 輪郭強調をAUTOおよびOFF以外にセットすると、輪郭強調表示が液晶モニタの撮影情報画面に表示されます。

## ブラケティング

ブラケティングは、カメラが自動的に露出をずらした撮影を行います。また、ホワイトバランスブラケティングはカメラが自動的にホワイトバランスをずらした撮影を行います。

| | |
|---|---|
| OFF | ブラケティングをOFFにセット |
| ON | ブラケティングをONにセット |
| WB-BKT | ホワイトバランスブラケティングをセット |

| ブラケティング | 特徴 |
|---|---|
| **OFF** | ブラケティングは解除され、通常の露出制御に戻ります。 |
| **ON** | カメラが表示する適正露出値に対して、セットした撮影コマ数と補正ステップ数で、自動的に露出をずらした撮影が行えます。露出モードがP、A、Mのときはシャッタースピードが、Sのときは絞りが変化します。 |
| **WB-BKT** | シャッターボタンを1回押すと、その時セットされているホワイトバランスを中心に、赤味がかった画像と、青味がかった画像の3コマを記録します。<br>• コンパクトフラッシュカードへの書き込みに、通常より3倍程度時間がかかります。 |

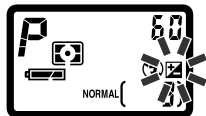
### ■ON

シャッターボタンを押し込むごとに、プラス側からマイナス側の順で自動的に露出をずらしながら、5コマまたは3コマの画像の撮影が行えます。コントラストが強い被写体の撮影時に、露出をずらした画像から作画意図にあったものを選ぶことができます。

| 撮影コマ数と補正ステップ | 撮影順序（EV） |
|---|---|
| **3，±0.3** | +0.3→0→−0.3 |
| **3，±0.7** | +0.7→0→−0.7 |
| **3，±1.0** | +1.0→0→−1.0 |
| **5，±0.3** | +0.7→+0.3→0→−0.3→−0.7 |
| **5，±0.7** | +1.3→+0.7→0→−0.7→−1.3 |
| **5，±1.0** | +2.0.→+1.0→0→−1.0→−2.0 |

**✓ ここをチェック！**

連写・高速連写モード（☞ P.98）セット時に、ブラケティング撮影する場合は、シャッターボタンを深く押し続けると、セットした枚数（ただし、フルサイズ、3：2サイズ、FINEモードでは3枚）を撮影した時点でいったん自動的に停止します。

- ブラケティングをセットすると、表示パネルには、（露出補正マーク）が点滅し、液晶モニタの撮影情報画面には、BKT（ブラケティングマーク）と次に撮影されるコマの補正量が表示されます。

## ■WB-BKT

**シャッターボタンを1回押すと、その時セットされているホワイトバランスを中心に、赤みがかった画像から青みがかった画像に、自動的に3コマの画像が記録されます。いろいろな光源下の撮影時に、撮影した画像から撮影者自身の好みにあったものを選ぶことができます。**

- ホワイトバランスブラケティングをセットすると、液晶モニタの撮影情報画面には、WB BKT（ホワイトバランスブラケティングマーク）が表示されます。

**! 注意　ブラケティングとホワイトバランスブラケティングついてのご注意**

- マルチ連写・UH連写・動画モード（☞ P.98)、BSS（☞ P.101)、露出固定（☞ P.107)、ノイズ除去（☞ P.115）をセットしている場合、ブラケティングはセットできません。
- 連写モードを単写以外にセットしている時（☞ P.98）や、BSS（☞ P.101)、露出固定（☞ P.107)、ノイズ除去（☞ P.115）をセットしている場合、ホワイトバランスブラケティングはセットできません。

## ノイズ除去

**夜景など、シャッタースピードが1/15秒より長時間になる撮影を行った場合、記録された画面に星状のノイズが生じることがあります。ノイズ除去モードをセットすると、画面上に生じる星状のノイズを軽減することができます。**

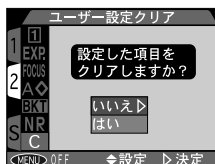
| ON | ノイズ除去をONにセット |
|---|---|
| OFF | ノイズ除去をOFFにセット |

| **ON** | 記録された画像に発生するノイズが軽減されます。 |
|---|---|
| **OFF** | ノイズ除去は解除され、通常の露出制御に戻ります。 |

**! 注意　撮影画像の記録時間についてのご注意**

ノイズ除去モードでは、撮影開始からコンパクトフラッシュカードへの画像の記録が完了するまでに通常より2倍以上時間がかかります。

## ユーザー設定クリア

A📷、📷M、▶ の各メニューで撮影者がセットした設定をクリアします。

| いいえ | ユーザー設定のクリアは行いません |
|---|---|
| はい | ユーザー設定のクリアを実行します |

ユーザー設定クリアを実行すると、カメラのセット状態が次のような初期設定の内容になります。

### ■撮影メニュー項目

| 項目 | 初期設定 | 項目 | 初期設定 |
|---|---|---|---|
| ホワイトバランス | オート※1 | フォーカス：AFエリア選択 | AUTO |
| 測光方式 | マルチ測光 | ：AF-MODE | C-AF |
| 連写 | 単写 | ：ピーキング | MF |
| BSS | OFF | ：距離表示 | クリアされない |
| 階調補正 | AUTO | 輪郭強調 | AUTO |
| 彩度調整 | 標準 | ブラケティング | OFF |
| コンバータ | OFF | ノイズ除去 | OFF |
| カスタムNO. | クリアされない※2 | | |
| 露出制御：露出固定 | OFF | | |
| ：露出補正 | 0 | | |
| ：露出モード | クリアされない | | |

※1 微調整した値もクリアされます。
※2 選択中のカスタムNO.のセット内容のみクリアされます。

### ■撮影SET-UP項目

| 項目 | 初期設定 | 項目 | 初期設定 |
|---|---|---|---|
| フォルダ設定 | NIKON | info.txt | OFF |
| モニタ設定：モニタ表示 | ON | パワーオフ設定 | 30S |
| ：画面の明るさ | 3 | 連番モード | クリアされない |
| ：画面の色合い | 6 | 日時設定 | クリアされない |
| 操作音 | ON | ビデオモード | クリアされない |
| ボタン設定：ボタン記憶 | クリアされる※ | 言語（LANG） | クリアされない |
| ：FUNC.1.2 | クリアされない | ズーム：電子ズーム | ON |
| スピードライト | | ：起動時ズーム位置 | OFF時位置 |
| ：発光量補正 | ON | ：ズームF値保持 | OFF |
| ：内蔵発光禁止 | OFF | 削除禁止 | OFF |
| ：撮影確認ランプ | OFF | | |

※ すべての項目の機能を記憶するようになります。

## ■再生メニュー項目

| フォルダ設定 | 全てのフォルダ | インターバル設定 | 3S |
|---|---|---|---|

## ■再生SET-UP項目

| ビデオモード | クリアされない |
|---|---|

**メモ　操作ボタンでセットした機能について**

操作ボタンでセットする項目は、ユーザー設定クリアを行っても、全てセットされた状態が保持されます。

# 撮影SET-UP 項目のセット

撮影モード（Ⓐ📷Ⓜ）

SET-UPメニューでは、撮影前の基本的な設定、画像記録方法および液晶モニタの設定など、カメラの各種状態を設定することができます。

## 撮影SET-UP画面の呼び出し

### Ⓐ📷セット時

**Ⓐ📷にセットしてメニューボタンを押すと、液晶モニタに撮影SET-UPのメニュー画面が表示されます。**

● マルチセレクターでメニュー項目を選択することができます。

| フォルダ設定 | P.120 |
|---|---|
| モニタ設定 | P.123 |
| 操作音 | P.125 |
| パワーオフ設定 | P.125 |
| 連番モード | P.126 |
| カードフォーマット | P.127 |
| 日時設定 | P.127 |

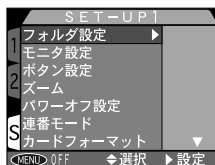
### 📷Ⓜセット時

**1　📷Ⓜにセットしてメニューボタンを押し、液晶モニタに撮影メニューを表示させ、マルチセレクターの◀でのタグを選択します。**

● 撮影メニュー画面で◀を押すと、画面左のタグがオレンジ色に変わります。

**2　▲ / ▼でSのタグを選択し、「SET-UP1」を表示させ、▶を押します。**

● ▶を1回押すと、SET-UP項目の選択が行える状態になります。

**SET-UP1**

| フォルダ設定 | P.120 |
|---|---|
| モニタ設定 | P.123 |
| ボタン設定 | P.128 |
| ズーム | P.130 |
| パワーオフ設定 | P.125 |
| 連番モード | P.126 |
| カードフォーマット | P.127 |

# 3 ▲ / ▼を押し、「SET-UP2」を表示させます。

● 14項目のSET-UPメニューは、7項目ずつ2画面に分かれておりますので、▲ / ▼を押してカーソルを移動させ、**「SET-UP2」**を表示させてください。

**SET-UP2**

| スピードライト | P.131 |
|---|---|
| 操作音 | P.125 |
| 日時設定 | P.127 |
| info.txt | P.132 |
| ビデオモード | P.133 |
| 言語（LANG） | P.133 |
| 削除禁止 | P.133 |

## 撮影SET-UP項目の選択とセット（例：ズームの場合）

# 1 SET-UP項目を選択します。

● ▲ / ▼でSET-UP項目を選択し、▶を押すと選択した項目の画面に切り換わります。

# 2 SET-UP項目の詳細を選択します。

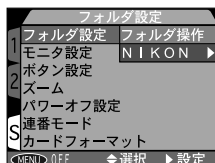
● ▲ / ▼でセットしたい項目を選択し、▶を押すとセットしたい項目の詳細の画面に切り換わります。

# 3 SET-UP項目の詳細を決定し、メニューボタンを押してセットを終了します。

● ▲ / ▼でセットしたい項目の詳細を選択し、▶を押すとその内容が決定されて、SET-UPメニュー画面に切り換わります。メニューボタンを押すと撮影画面に切り換わり、撮影が行えます。

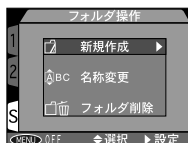
## 各撮影SET-UP項目について（Ⓐ📷Ⓜ共通の機能）

### フォルダ設定

撮影・再生に使用するフォルダの選択と、フォルダの新規作成、名称変更、削除を行います。

| フォルダ操作 | フォルダ操作をセット |
|---|---|
| NIKON | NIKONフォルダを選択 |
| (フォルダ名) | 新規に作成したフォルダを選択 |

※「NIKON」フォルダは自動的に作成されるフォルダです。新規に作成されたフォルダは「NIKON」フォルダの下に表示されます。

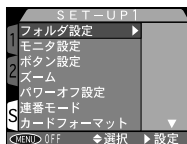
**[フォルダ操作]**

フォルダ操作は、マルチセレクターの▲ / ▼で「フォルダ操作」を選択し▶を押すと、「フォルダ操作」の詳細画面に切り換わります。

| 新規作成 | フォルダを新規に作成 |
|---|---|
| 名称変更 | フォルダの名称を変更 |
| フォルダ削除 | フォルダを削除 |

**■新規作成**

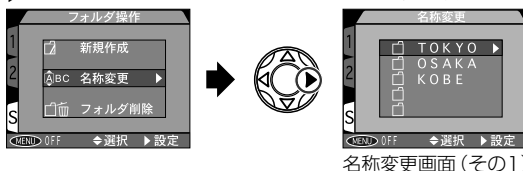
コンパクトフラッシュカード内にフォルダを新規に作成することができます。

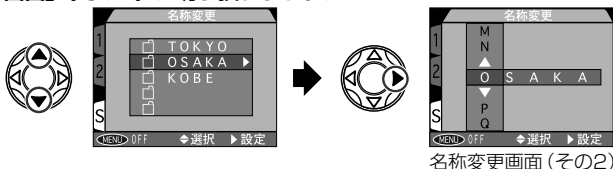
**1** **「フォルダ操作」の詳細画面から「新規作成」を選択し、マルチセレクターの▶を押すと、「新規フォルダ名称」画面に切り換わり、NIKONの文字が表示されます。**

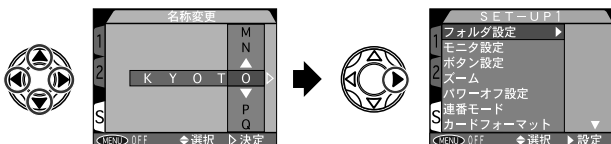
**2** **◀ / ▶を押して、変更したい文字位置にカーソルを移動し、▲ / ▼を押して文字を選択し、5文字の名称を完成させます。最後に▶を押せば、新規にフォルダが作成され、SET-UP1のメニュー画面に切り換わります。**

## 3 メニューボタンを押して、セットを終了します。

**■名称変更**

フォルダの名称を変更することができます（ただし、フォルダの名称がＮＩＫＯＮのフォルダは、変更することができません）。

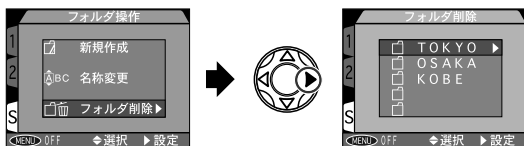
## 1 「フォルダ操作」の詳細画面から「名称変更」を選択し、マルチセレクターの▶を押すと、「名称変更画面」（その1）に切り換わります。

名称変更画面（その1）

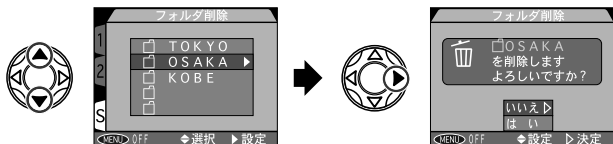
## 2 ▲/▼を押して、名称変更したいフォルダを選択し、▶を押すと、「名称変更画面」（その2）に切り換わります。

名称変更画面（その2）

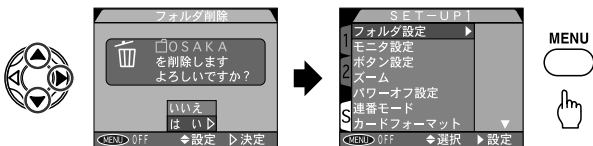
## 3 ◀/▶を押して、変更したい文字位置にカーソルを移動し、▲/▼を押して文字を選択し、5文字の名称を完成させます。最後に▶を押せば、名称変更が終了し、SET-UP1のメニュー画面に切り換わります。

## 4 メニューボタンを押して、セットを終了します。

**■フォルダ削除**

フォルダを削除することができます（ただし、フォルダの名称がNIKONのフォルダは、削除することができません）。

**1 「フォルダ操作」の詳細画面から「フォルダ削除」を選択し、マルチセレクターの▶を押すと、「フォルダ削除画面」（その1）に切り換わります。**

フォルダ削除画面（その1）

**2 ▲／▼を押して、削除したいフォルダを選択し、▶を押すと、「フォルダ削除画面」（その2）に切り換わります。**

フォルダ削除画面（その2）

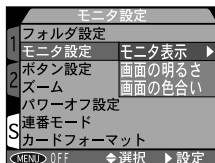
**3 ▲／▼を押して「はい」を選択し、最後に▶を押せば、フォルダ削除が終了して、SET-UP1のメニュー画面に切り換わります。メニューボタンを押して、セットを終了します。**

**注意 フォルダ削除についてのご注意**

- フォルダの名称がＮＩＫＯＮのフォルダは削除できません。
- ＮＩＫＯＮ以外のフォルダを削除する場合は、フォルダおよびそのフォルダ内にある画像もすべて削除されます。選択したフォルダ内に、非表示またはプロテクト設定された画像がある場合には、フォルダの削除は行われません（非表示またはプロテクトされていない画像は削除されます）。

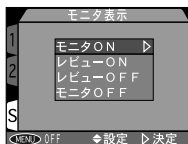
**■ＮＩＫＯＮまたはフォルダ名**

ＮＩＫＯＮまたはすでに作成してあるフォルダ名を選択した場合は、選択したフォルダに画像を保存する設定となり、すぐにメニュー画面に切り換わります。

## モニタ設定

モニタ表示、画面の明るさ、画面の色合いをセットします。

| モニタ表示（📷Ⓜのみ） | 液晶モニタのON/OFFと、レビュー画表示ON/OFFをセット |
|---|---|
| 画面の明るさ | 画面の明るさをセット |
| 画面の色合い | 画面の色合いをセット |

### ■モニタ表示（📷Ⓜ時のみ）

電源をONにした時の液晶モニタのON/OFF状態、およびレビュー画（撮影画像の静止画像）表示のON/OFF状態をセットできます。

| **モニタON** | 📷Ⓜにセットすると、液晶モニタがONになります。 |
|---|---|
| **レビューON** | 📷Ⓜにセットすると、液晶モニタはOFFのままですが、シャッターをきった後に、レビュー画が表示されます。 |
| **レビューOFF** | 📷Ⓜにセットすると、液晶モニタはONになりますが、シャッターをきった後は、レビュー画が表示されずに撮影画面に切り換わります。 |
| **モニタOFF** | 📷Ⓜにセットすると、液晶モニタはOFFになります。設定を変更したい場合は、再度メニューボタンを押してメニュー画面を表示させてから設定し直してください。 |

### ■画面の明るさ

液晶モニタの画面の明るさを5段階からセットできます。

**画面の明るさを選択し、マルチセレクターの▶を押すと、上記の画面に切り換わります。▲ / ▼で赤い指標を希望する明るさ（5段階）にセットします（＋側は明るく、－側は暗くなります）。▶を押すとセットされ、SET-UPメニュー画面に切り換わります。メニューボタンを押して、セットを終了します。**

**■画面の色合い**

液晶モニタの画面の色合いを11段階からセットできます。

**画面の色合いを選択し、マルチセレクターの▶を押すと、上記の画面に切り換わります。▲/▼で赤い指標を希望する色合い（11段階）にセットします（＋側は赤みがかり、－側は青みがかります）。▶を押すとセットされ、SET-UPメニュー画面に切り換わります。メニューボタンを押して、セットを終了します。**

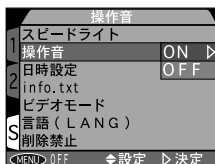
**メモ　画面の明るさと色合い**

画面の明るさと色合いは、赤い指標が移動した時点でセットされ、シャッターボタンの半押しにより、通常画面に切り換わり撮影が行えます。撮影後は画面の明るさまたは色合いのセットの画面に戻ります。

**✓ ここをチェック！**

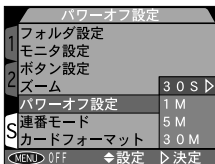
セットされた画面の明るさと色合いは、Ⓐ📷、📷Ⓜ、▶時の全てに適用されます。

## 操作音

カメラの状態を知らせる操作音のON、OFFをセットします。

| ON | 操作音が鳴る状態にセット |
|---|---|
| OFF | 操作音が鳴らない状態にセット |

| | |
|---|---|
| **操作音１回** | • セレクトダイヤルで電源をONにした時。<br>• シャッターボタンを深く押し込んで、シャッターがきれた時。<br>• 以下の撮影準備および各機能セット完了時。<br>コンバータモード、マニュアルフォーカス、カードフォーマット、削除、プロテクト設定、非表示設定、プリント指定、転送画像設定、操作音ONセット時。 |
| **操作音2回** | • 液晶モニタOFFでの撮影でピントが合わない時。<br>• コンパクトフラッシュカードが装着されていない、または記録容量が不足している時。<br>• バッテリーの容量がない時。 |

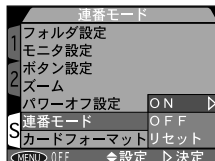
## パワーオフ設定

一定時間カメラの操作を行わない場合に、自動的に低消費電力状態に切り換わるオートパワーオフ機能（☞ P.172）が作動するまでの時間をセットします。

| 30S | 30秒にセット |
|---|---|
| 1M | 1分にセット |
| 5M | 5分にセット |
| 30M | 30分にセット |

**✓ ここをチェック！**

ACアダプタ接続中はオートパワーオフ開始時間が30分に固定されます。ただし、ビデオケーブルが装着されている場合にはビデオ信号は継続して出力され、液晶モニタのみ30分後にOFFになります。

## 連番モード

複数のコンパクトフラッシュカードを使用しても、画像のファイル名を連続する通し番号で自動的にセットします。コンピュータに画像を取り込んで管理する場合などに名称変更することなく管理できます。

| | |
|---|---|
| ON | 連番モードをONにセット |
| OFF | 連番モードをOFFにセット |
| リセット | 連番モードをいったん解除し、次回の撮影以降再び0001から連番を付けます。すでに番号がある場合は、次の番号より連番を付けます。 |

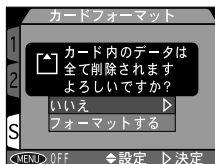
### メモ 画像ファイル名・フォルダ名について

COOLPIX995で撮影した画像ファイルには、いずれも4桁の番号が付けられ、DSCN0001.JPG～DSCN9999.JPGという名前で記録されます。このファイルが保存されるフォルダは3桁のフォルダ番号が付けられます。画像ファイルの番号は、フォルダごとに撮影順に0001から9999まで自動的に付けられ、複数のコンパクトフラッシュカード、フォルダを使うと、例えばDSCN0001.JPGという同名のファイルが、複数存在する状態になります。連番モードをONにセットすると、コンパクトフラッシュカードを交換しても、画像ファイル名は撮影順に連続した番号が付けられます。このため、同一名のファイルが作成されず、画像をコンピュータに取り込んで管理する場合などに便利です。

### ✓ ここをチェック！

フォルダの中の画像ファイル番号が9999を超える場合、または1フォルダ内に999枚の画像がある場合は、フォルダ番号に1を加えた数のフォルダを新規作成し、そのフォルダ内に新たに0001から連番で画像ファイルを保存していきます。

## カードフォーマット

コンパクトフラッシュカードのフォーマットを行います。

| いいえ | フォーマットを実行しない |
|---|---|
| フォーマットする | フォーマットを実行する |

**注意　カードフォーマットについてのご注意**

- **「フォーマットする」**を選択すると、コンパクトフラッシュカード内に記録されているデータがすべて削除されます。カードフォーマットの方法は、P.36をご覧ください。
- フォーマットするを選択して、マルチセレクターの▶を押すとすぐにフォーマットがはじまり、取り消すことはできませんので、注意してください。また、フォーマット中はコンパクトフラッシュカードを取り出さないでください。

## 日時設定

日付と時刻を設定します。初めてお使いになる時などは、日時を設定してください。

| 年・月・日・時・分 |
|---|
| 日付表示順 |

- 日時の設定の方法は、P.32をご覧ください。

## 各撮影SET-UP項目について（カメラM のみの機能）

### ボタン設定

「ボタン記憶」により電源OFF時に各機能のセット状態を記憶したり、「FUNC.1」、「FUNC.2」により露出モードボタンと露出補正ボタンで、他の機能にセットしたりできます。

| ボタン記憶 | 電源OFF時に各機能の記憶の有無を選択 |
|---|---|
| FUNC.1 | 露出モードボタン(MODE)で他の機能にセット可能 |
| FUNC.2 | 露出補正ボタン(⊠)で他の機能にセット可能 |

#### ■ボタン記憶

電源をOFFにしても各機能のセット状態を記憶しておく、記憶しないが選択できます。

| ⚡👁 | スピードライトモードのセット状態の記憶 |
|---|---|
| ▲🌷⏲ | フォーカスモードのセット状態の記憶 |
| MODE | 露出モードのセット状態の記憶 |
| ⊠ | 露出補正のセット状態の記憶 |
| 設定終了 | 設定を終了 |

**1** **「ボタン記憶」を選択すると、「ボタン記憶」の詳細画面に切り換わり、記憶が可能な機能の項目名とチェックボックスが表示されます。**

**2** **初期設定では、すべてがチェック済み☑となり、表示されている全ての項目のセット状態を電源OFF時にも記憶します。**

**3** **機能のセット状態を記憶させない場合は、マルチセレクターの▲ / ▼で項目を選択し、▶を押すと、チェックボックスからチェックが外れ□、その機能のセット状態は記憶されません（再度▶を押すと、チェック済み☑の状態に戻ります）。**

#### ■FUNC.1

露出モードボタンで、露出モード以外の他機能がセットできるようにします。

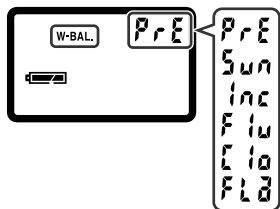
| MODE | 露出モードがセット可能（初期設定） |
|---|---|
| ▲🌷⏲ | フォーカスモード（セルフタイマー、マニュアルフォーカスを含む）がセット可能 |
| ⚡👁 | スピードライトモード・感度変更モードがセット可能 |
| ホワイトバランス | ホワイトバランスがセット可能 |
| ⊠ | 露出補正がセット可能 |
| 測光方式 | 測光方式がセット可能 |

## ■FUNC.2

露出補正ボタンで、露出補正以外の他機能がセットできるようにします。

| | |
|---|---|
| MODE | 露出モードがセット可能 |
| ▲✿⏲ | フォーカスモード（セルフタイマー、マニュアルフォーカスを含む）がセット可能 |
| ϟ◎ | スピードライトモード・感度変更モードがセット可能 |
| ホワイトバランス | ホワイトバランスがセット可能 |
| ± | 露出補正がセット可能（初期設定） |
| 測光方式 | 測光方式がセット可能 |

### ✓ ここをチェック！

FUNC.1または2で露出モードボタンまたは露出補正ボタンにホワイトバランスをセットした場合、それぞれのボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すごとに、表示パネルにホワイトバランス表示W-BALとともに、プリセットPrE、太陽光はSun、電球はInc、蛍光灯はFlu、曇天はClo、スピードライトはFLaと表示されます。

**［FUNC.1/.2のセット手順］**

**1** **「FUNC.1」または「FUNC.2」を選択すると、それぞれの詳細画面に切り換わり、セットできる機能が表示されます。**

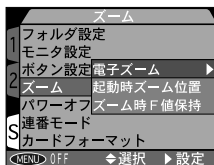
**2** **セットしたい機能をマルチセレクターの▲ / ▼で選択して▶を押すと、セットされてSET-UPメニュー画面に切り換わります。**

**3** **メニューボタンを押すと、選択した機能がFUNC.1（露出モード）ボタンまたはFUNC.2（露出補正）ボタンでセットできる状態になります。**

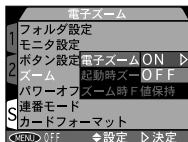
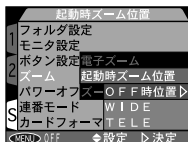
- ボタン設定変更後のセット方法は次のとおりになります。

| | |
|---|---|
| 露出モード・感度変更モード<br>ホワイトバランス・露出補正<br>測光方式 | FUNC.1 (MODE)<br>FUNC.2 (±) ＋ コマンドダイヤル |
| フォーカスモード | FUNC.1 (MODE) のみ |
| スピードライトモード | FUNC.2 (±) のみ |

## ズーム

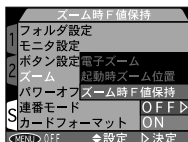
ズームでは、電子ズームにより4.0倍まで倍率をアップしたり、起動時のズーム位置をセットしたり、ズーム時のレンズのF値を保持したりすることができます。

| | |
|---|---|
| 電子ズーム | 電子ズームをセット |
| 起動時ズーム位置 | 起動時のズーム位置をセット |
| ズーム時F値保持 | ズーム時のF値を保持 |

### ■電子ズーム

電子ズームは、液晶モニタを使用して撮影している場合に、撮影画面の中央部を電子的に拡大する機能です。

| | |
|---|---|
| **ON** | ズームボタンの[T]を押して光学ズームを最も望遠側にし、2秒以上押し続けると自動的に電子ズーム（☞ P.59）が働いて、さらに4.0倍まで倍率がアップします。 |
| **OFF** | ズームボタンを押し続けても、電子ズームが働きません。 |

### ■起動時ズーム位置

| | |
|---|---|
| **OFF時位置** | 前回電源OFF時のズームの位置をカメラが記憶していて、電源をONにすると、その位置までズーミングします。 |
| **WIDE** | 電源をONにすると、WIDE端にセットされた状態になります。 |
| **TELE** | 電源をONにすると、TELE側にセットされた状態になります。 |

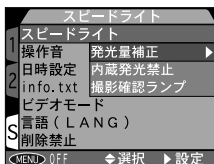
- 起動時ズーム位置の設定は[カメラ][M]だけでなく[A][カメラ]時にも有効です。
- 起動時間はTELEにセットしたときが最短になります。

### ■ズームF値保持

| | |
|---|---|
| **OFF** | ズーミングに対応してF値が変化します。 |
| **ON** | 露出モードがA、Mの場合、ズーミングを開始した時の絞りをカメラが記憶していて、ズーミングをした場合でも、そのF値を保持します。ただし、ズーミングによって制御範囲を超えてしまう事があります。 |

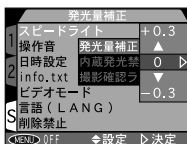
**! 注意　ズーム時F値保持の限界**

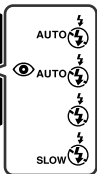
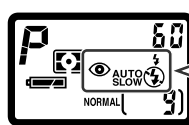
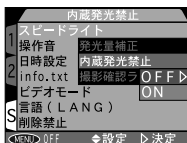
**「ズーム時F値保持」**がONの場合でもズーミングによりF値（絞り）が変化するため保持には限界があります。約F5〜F7の範囲でご使用ください。

# スピードライト

スピードライトの発光量を補正したり、内蔵スピードライトと増灯スピードライトをそれぞれ発光させたり、発光を禁止させたりすることができます。

| 発光量補正 | 発光量補正をセット |
|---|---|
| 内蔵発光禁止 | 内蔵スピードライトの発光禁止をセット |
| 撮影確認ランプ | 撮影確認用ランプの点灯のセット |

**■発光量補正**

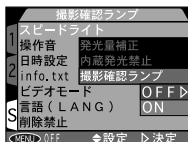
発光量補正は、撮影目的や撮影条件に合わせてスピードライトの発光量のみを−2EVから＋2EVまで、1/3EVステップで12段階の発光量補正がセットできます。

**■内蔵発光禁止**

別売スピードライトのみを使う時にセットするモードです。「内蔵発光禁止」を「OFF」にすると、内蔵スピードライトと別売スピードライトの両方を発光させる増灯撮影が可能です。「内蔵発光禁止」を「ON」にすると、内蔵スピードライトを発光禁止にして、別売スピードライトのみを発光可能とします。この場合、内蔵スピードライトを上げて、スピードライトモードボタンで別売スピードライトのスピードライトモードをセットすることができます。

● 内蔵発光禁止をONにセットにすると表示パネルには、別売スピードライトの発光マーク とスピードライトモード表示、および内蔵スピードライトの発光禁止マーク が表示されます。液晶モニタの撮影情報画面には、別売スピードライトのスピードライト表示と、内蔵スピードライトの発光禁止マークが表示されます。

**! 注意 別売スピードライトを発光させる場合の注意**

別売スピードライトを発光させる場合には、内蔵スピードライトが下がったままの状態では、スピードライトの調光センサーが機能しませんので、必ず内蔵スピードライトを上げてください。

### ■撮影確認ランプ

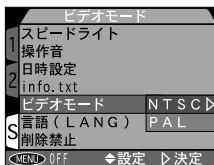
「撮影確認用ランプ」をONにすると、レンズ横にある赤目軽減／セルフタイマーランプが、撮影終了時に確認用ランプとして点灯するようにできます。

- 撮影確認ランプは、セット中にマルチセレクターの▲/▼で選択した時点で、その機能がセットされ、シャッターボタンの半押し操作によって、通常の画面に切り換わり撮影が行えますが、撮影後はSET-UPメニュー画面に戻ります。

## info.txt

画像ファイル名と撮影時の各種データをテキストファイルとして記録するもので、コンパクトフラッシュカードの画像記録フォルダに保存されます(☞P.157)。

| | |
|---|---|
| OFF | info.txt保存をOFFにセット |
| ON | info.txt保存をONにセット |

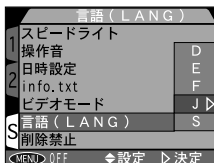
## ビデオモード

ビデオ出力の方式をNTSCまたはPALのいずれかにセットできます。

| | |
|---|---|
| NTSC | NTSCにセット（日本国内のビデオ出力方式） |
| PAL | PALにセット（欧州のビデオ出力方式） |

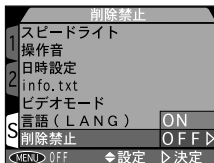
**注意　PALにセットした場合についてのご注意**

PALにセットした場合は、ビデオケーブル接続中に液晶モニタの表示は行いません。

## 言語（LANG）

メニューに表示する言語を切り換えることができます。

| | |
|---|---|
| D | ドイツ語表示 |
| E | 英語表示 |
| F | フランス語表示 |
| J | 日本語表示 |
| S | スペイン語表示 |

## 削除禁止

カメラでの削除機能を全て行えないようにできます。誤操作による記録されている画像の削除を防止できます。

| | |
|---|---|
| ON | 削除禁止をONにセット（削除操作の全てが禁止） |
| OFF | 削除禁止をOFFにセット（削除操作の全てが可能） |

**注意　削除禁止についてのご注意**

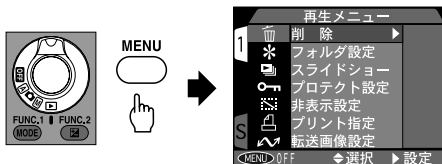
削除禁止をONにした場合、削除やカードフォーマットが行えなくなります。

# 再生メニュー項目のセット

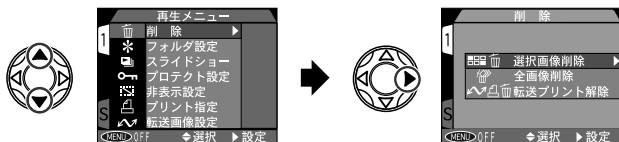


再生メニューによって、記録した画像の管理（削除、プロテクト設定、非表示設定、転送画像設定）や、再生するフォルダの設定、およびスライドショー再生やプリント指定を行うことができます。

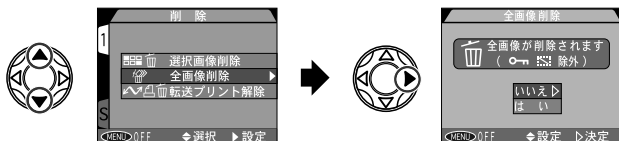
## 再生メニュー画面の呼び出し

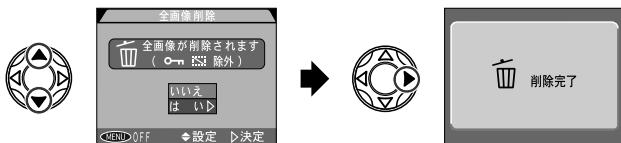
**セレクトダイヤルを▶にセットしてメニューボタンを押すと、液晶モニタに再生メニューが表示されます。**

| | | |
|---|---|---|
| 🗑 | 削除 | P.136 |
| ✻ | フォルダ設定 | P.138 |
| | スライドショー | P.138 |
| | プロテクト設定 | P.140 |
| | 非表示設定 | P.141 |
| | プリント指定 | P.142 |
| | 転送画像設定 | P.144 |

## 再生メニュー項目の選択とセット（例：「削除：全画像削除」をセットする場合）

### 1 メニュー項目を選択します。

- マルチセレクターの▲ / ▼で希望するメニュー項目を選択し、▶を押すと選択した項目の画面に切り換わります。

### 2 メニュー項目の詳細を選択します。

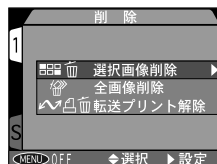
- マルチセレクターの▲ / ▼でセットしたい項目を選択し、▶を押すとセットしたい項目の詳細の画面に切り換わります。

## 3 メニュー項目の詳細を決定します。

- マルチセレクターの▲ / ▼でセットしたい項目の詳細を選択し、▶を押すとその内容が決定されて、メニュー画面に切り換わります(スライドショーを除く)。
- **「削除」、「プロテクト設定」、「非表示設定」、「プリント指定」、「転送画像設定」**の画像選択画面では、画質モードボタン QUAL ボタンを押すと画像の選択が終了します。

### メモ 再生メニュー項目のセットのキャンセル・変更方法

- **メニューボタンでキャンセルする場合**
  再生メニューの各画面でメニューボタンを押すと、メニューのセットはキャンセルされ、1コマ再生画面に戻ります。
- **マルチセレクターの◀を使う場合**
  メニューのセット中にマルチセレクターの◀を押すと、ひとつ前の画面に戻ることができるので、セットの変更が行えます（画像選択画面以外）。

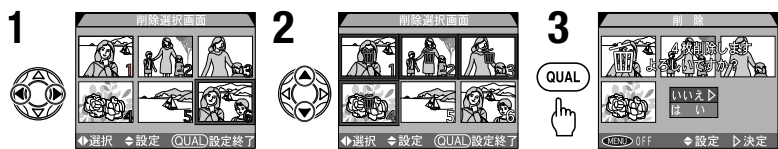
## 各再生メニュー項目について

### 削　除

画像の削除および転送画像設定、プリント指定の解除を行います。メニューからの画像削除では、サムネイル画面から選択した複数の画像の削除、全画像の削除が行えます。

| | | |
|---|---|---|
| | 選択画像削除 | 画像を選択して削除 |
| | 全画像削除 | 記録されている全画像を削除 |
| | 転送プリント解除 | 転送画像設定、プリント指定を解除 |

#### ■ 選択画像削除

「選択画像削除」を選択すると、「削除選択画面」に切り換わります。削除したい画像を削除選択画面で選択した後、削除します。

・削除選択画面での画像選択方法

**1　マルチセレクターの◀ / ▶で、削除したい画像にオレンジ色の枠型カーソルを合わせます。**

**2　▲ / ▼を押して、削除する画像上に を表示させます。**

- 選択された画像上には削除アイコン が表示され、オレンジ色の枠型カーソルを移動させると周囲が赤色の枠で囲まれます。選択画像上でもう一度▲ / ▼を押すと、選択が解除され、削除アイコン が消えます。
- 画像の選択は、QUAL ボタンを押すまで連続して行うことができます。

**3　画像を選択した状態で QUAL ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。▲ / ▼で「はい」を選択し、▶を押すと削除が実行されます。**

**! 注意　プロテクト設定、非表示設定がセットされた画像について**

- プロテクト設定がセットされた画像は、削除画像選択画面に表示されますが、選択することはできません。
- 非表示設定がセットされた画像は、削除画像選択画面には表示されません。

### ■ 全画像削除

「全画像削除」を選択すると、全画像の削除確認画面に切り換わります。全画像削除を確認後に、全画像を削除します。

**1** **削除確認画面で、マルチセレクターの▲ / ▼で「はい」を選択します。**

**2** **▶を押すと、削除が実行されます。**

> **注意　全画像削除について**
>
> - プロテクト設定または非表示設定がセットされた画像は、削除されません。
> - フォルダ内の全画像は削除されますが、フォルダの削除は行われません。

### ■ 転送プリント解除

再生メニューの「転送画像設定」(☞ P.144)、「プリント指定」(☞ P.142)での設定を解除します。

**1** **マルチセレクターの▶を押すと、解除が実行されます。**

## フォルダ設定

**画像を再生するフォルダの選択と、フォルダ操作（新規作成、名称変更、削除）を行います。**

| | |
|---|---|
| フォルダ操作 | フォルダ操作をセット |
| ＊ 全てのフォルダ | 全フォルダを選択 |
| ＮＩＫＯＮ | ＮＩＫＯＮフォルダを選択 |
| （フォルダ名） | 新規に作成したフォルダを選択 |

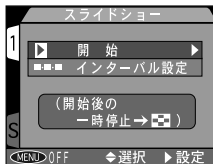
※「ＮＩＫＯＮ」フォルダは自動的に作成されるフォルダです。新規に作成されたフォルダは「ＮＩＫＯＮ」フォルダの下に表示されます。

- **「フォルダ操作」**のセット方法は、撮影メニューの**「フォルダ設定」**（☞ P.120）をご覧ください。
- 画像を再生するフォルダを**「全てのフォルダ」、「ＮＩＫＯＮ」**フォルダ、または新規に作成したフォルダの中から選択します。
- 再生モードで選択したフォルダは、セレクトダイヤルを OFF にしても記憶保持されます。撮影モードで記録するフォルダを設定した場合には、再生モードで再生するフォルダも変更されます。また、再生モードで再生するフォルダを設定した場合には、撮影モードで記録するフォルダも変更されます。
- **「全てのフォルダ」**を選択すると、フォルダの選択を行わなくても、全てのフォルダ内の画像を再生することができます。

**メモ　UH連写の撮影画像の再生について**

UH連写で撮影された画像は、N_で始まる専用フォルダに記録されます。UH連写で撮影された画像を再生するときには、フォルダ選択を**「全てのフォルダ」**にするか、N_で始まる専用フォルダを選択してください。

## スライドショー

**画像を一定間隔で順番に再生するスライドショーを行います。**

| | |
|---|---|
| 開　始 | スライドショーを開始 |
| インターバル設定 | インターバル時間を設定 |

## ■ 開始

**マルチセレクターの▲ / ▼で「開始」を選択し、▶を押すと撮影した画像を1コマずつ順番に液晶モニタに表示します。**

- スライドショーを再生中の動作は以下の通りです。
  - ・先頭コマから最終コマまで一定間隔で最終コマまで表示した後は、最終コマを表示して**「一時停止」**画面になります。
  - ・動画ファイルは、スタート画面が静止画で表示されます。
  - ・スライドショーショーの再生中に ボタンを押すと、スライドショーを中断して**「一時停止」**画面に切り換わります。マルチセレクターの▶を押すと再開します。
  - ・メニューボタンを押すと、スライドショーを中止して1コマ再生画面に戻ります。
  - ・スライドショーを再生中にマルチセレクターでコマ送りができます。
  - ・30分経過するとオートパワーオフ機能が働きます。
- スライドショーのセット画面または**「一時停止」**画面で、マルチセレクターの▲ / ▼で**「インターバル設定」**を選択し、▶を押すとインターバル設定画面になります。

## ■ インターバル設定

**マルチセレクターの▲ / ▼でセットするインターバル時間を選択し、▶を押すとセットしたインターバル時間でスライドショーが開始／再開されます。**

- インターバル時間とは、一枚の画像を完全に表示している最低時間です。はじめにセットされているインターバル時間は3秒、その他にセット可能なインターバル時間は2秒、5秒、10秒です。
- 画質モード、画像サイズによっては、セットしたインターバルどおりには画像が切り換わらない場合があります。

### メモ　スライドショーが終了した時は

- メニューボタンを押すと、1コマ再生画面に戻ります。
- マルチセレクターの◀を押すと、再生メニュー画面に戻ります。

## プロテクト設定

コンパクトフラッシュカードに記録されている画像を不用意に削除してしまわないようにプロテクトをかけることができます。

### ■ プロテクト画像選択画面での画像選択・プロテクト設定の方法

「プロテクト設定」を選択すると、「プロテクト画像選択」画面に切り換わります。

1
2
3
**1 マルチセレクターの◀ / ▶で、プロテクト設定したい画像にオレンジ色の枠型カーソルを合わせます。**

**2 ▲ / ▼を押して、プロテクトする画像を選択します。**

- 選択された画像上にはプロテクトアイコン O‒π が表示されます。選択画像上でもう一度▲ / ▼を押すと、プロテクトアイコン O‒π が消え、選択が解除されます。
- 画像の選択は、QUAL ボタンを押すまで連続して行うことができます。

**3 画像を選択した状態でQUAL ボタンを押すと、プロテクト設定が実行されます。**

- QUAL ボタンを押すと画像の選択が完了し、プロテクト設定がセットされて**「プロテクト設定完了」**の画面が表示された後に、再生メニュー画面に戻ります。

### ■ プロテクト設定の解除方法

**1 マルチセレクターの◀ / ▶で、プロテクト設定を解除したい画像にオレンジ色の枠型カーソルを合わせ、▲ / ▼を押して、プロテクトアイコンO‒πを消します。**

**2 QUAL ボタンを押すと、プロテクト設定が解除されます。**

## 非表示設定

指定された画像を1コマ再生モード、サムネイルモード、スライドショーおよび再生メニュー各項目の画像選択画面で表示されないようにします。

### ■ 非表示画像選択画面での画像選択・非表示設定の方法

「非表示設定」を選択すると、「非表示画像選択」画面に切り換わります。

2

3

**1 マルチセレクターの◀ / ▶で、非表示設定したい画像にオレンジ色の枠型カーソルを合わせます。**

**2 ▲ / ▼を押して、非表示にする画像を選択します。**

- 選択された画像は、非表示アイコン が画像上に表示されます。選択画像上でもう一度▲ / ▼を押すと、選択が解除され、非表示アイコン が消えます。
- 画像の選択は、QUAL ボタンを押すまで連続して行うことができます。

**3 画像を選択した状態でQUAL ボタンを押すと、非表示設定が実行されます。**

- QUAL ボタンを押すと画像の選択が完了し、非表示設定がセットされて**「非表示設定完了」**の画面が表示された後に、再生メニュー画面に戻ります。

### ■ 非表示設定の解除方法

**1 マルチセレクターの◀ / ▶で、非表示設定を解除したい画像にオレンジ色の枠型カーソルを合わせ、▲ / ▼を押して、非表示アイコン を消します。**

**2 QUAL ボタンを押すと、非表示設定が解除されます。**

## プリント指定

画像ファイルのプリントについての指定を行います。プリント指定でのセット内容は、プリント設定ファイルとしてコンパクトフラッシュカードに記憶・保存されます。COOLPIX 995は、デジタルプリントオーダーフォーマット（DPOF）に準拠しています。

### ■ プリント画像選択画面での画像選択・プリント指定の方法

「プリント設定」を選択すると、「プリント画像選択」画面に切り換わります。

1
2
3
**1** **マルチセレクターの◀ / ▶で、プリント指定したい画像にオレンジ色の枠型カーソルを合わせます。**

**2** **▲ / ▼を押してプリント指定する画像を選択し、プリント枚数をセットします。**
- 選択された画像上にはプリントアイコン 🖨 とプリント枚数が表示されます。▲を押すとプリント枚数が増加し（最大9枚）、▼を押すとプリント枚数が減少します。
- 画像の選択は、QUAL ボタンを押すまで連続して行うことができます。

**3** **QUAL ボタンを押します。**
- QUAL ボタンを押すと画像の選択が完了し、プリント指定画面が表示されます。

### ■プリント指定画面

プリント指定画面では、撮影情報と日付のプリントの有無をセットできます。

| 設定終了 | プリント設定ファイルを作成して、プリント指定のセットを完了 |
|---|---|
| 撮影情報 | 撮影情報（絞り値とシャッタースピード）の有無を設定 |
| 日付 | 日付の有無を設定 |

**[設定終了]**

- マルチセレクターの▲ / ▼で**「設定終了」**を選択し、▶を押すとプリント設定ファイルが作成されてプリント指定のセットが完了し、**「プリント設定完了」**の画面が表示された後、再生メニュー画面に移行します。

**[撮影情報]**

- マルチセレクターの▲/▼で**「撮影情報」**を選択し、▶を押すとチェックボックスの☑/□が切り換わります。チェック済み☑にセットすると、絞り値とシャッタースピードがプリントされるよう設定します。設定を終了する操作手順は、**「設定終了」**と同様になります。

**[日付]**

- マルチセレクターの▲ / ▼で**「日付」**を選択し、▶を押すとチェックボックスの☑/□が切り換わります。チェック済み☑にセットすると、撮影の日付がプリントされるよう設定します。設定を終了する操作手順は、**「設定終了」**と同様になります。

### ■ プリント指定の解除方法

**1 マルチセレクターの◀ / ▶で、プリント指定を解除したい画像にオレンジ色の枠型カーソルを合わせ、▼を押して、プリントアイコン 🖨 を消します。**

- プリントアイコン 🖨 が表示されている画像上で、▼を押すとプリント枚数が減少します。プリント枚数が1の時にさらに▼を押すと、選択が解除され、プリントアイコン 🖨 が消えます。

**2 (QUAL) ボタンを押すと、プリント指定が解除されます。**

**✓ ここをチェック！**

再生メニューの**「削除：転送プリント解除」**を実行することにより、プリント指定ファイルの削除を行うことができます（☞ P.137）。

**メモ　DPOF(Digital Print Order Format)について**

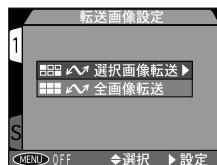
デジタルカメラで撮影した画像をラボプリントサービスや、家庭用のプリンタで自動プリントするための記録フォーマットが「DPOF(Digital Print Order Format)」です。これは、現在各社独自仕様となっているプリント情報を標準化することで、より効率的なプリントを実現するための規格です。

・ご使用のプリンタ・プリントサービスがDPOFに対応しているかご確認ください。
・ニコンデジタルフォトプリンタNP-100は、撮影情報、日付機能に対応していません。

**! 注意　プリント指定についてのご注意**

COOLPIX995以外の他のデジタルカメラでプリント指定した画像が記録されているコンパクトフラッシュカードをCOOLPIX995に挿入しても、プリント指定は認識されません。COOLPIX995で再度プリント指定してください。

## 転送画像設定

画像ファイルの転送についての設定を行います。COOLPIX995とパソコンを接続して画像転送用アプリケーションソフト・Nikon View 4（別売）を使用すれば、設定した画像は、「マーク付き画像」として扱われ、一括してパソコンに転送することができます。

| | |
|---|---|
| 選択画像転送 | 選択した画像の転送を設定 |
| 全画像転送 | 全画像の転送を設定 |

### ■ 選択画像転送画面での画像選択・転送設定の方法

「選択画像転送」を選択すると、「転送画像選択」画面に切り換わります。

1 

2 

3 


**1 マルチセレクターの◀ / ▶で、転送の設定をしたい画像にオレンジ色の枠型カーソルを合わせます。**

**2 ▲ / ▼を押して、転送を設定する画像を選択しします。**
- 選択された画像上には転送アイコン が表示されます。
- 画像の選択は、 QUAL ボタンを押すまで連続して行うことができます。

**3 QUAL ボタンを押すと、転送が設定されます。**
- QUAL ボタンを押すと画像の選択が完了し、転送が設定されます。

### ■ 転送設定の解除方法

**1 マルチセレクターの◀ / ▶で、転送の設定を解除したい画像にオレンジ色の枠型カーソルを合わせ、▲ / ▼を押して、転送アイコン を消します。**
- 転送アイコン が表示されている画像上で、▲ / ▼を押すと選択が解除され、転送アイコン が消えます。

**2 QUAL ボタンを押すと、転送設定が解除されます。**

**✓ ここをチェック！**

再生メニューの**「削除：転送プリント解除」**を実行することにより、転送設定の解除を行うことができます（☞ P.137）。

## ■ 全画像転送

**「全画像転送」を選択すると、全画像の転送確認画面に切り換わります。全画像の転送を確認後に、転送設定をします。**

**1**

**2**

**1** **全画像の転送確認画面で、マルチセレクターの▲ / ▼で「はい」を選択します。**

**2** **▶を押すと、転送が設定されます。**

**! 注意 転送画像設定についてのご注意**

**「転送画像設定」**で転送設定してパソコンに転送できる画像は999コマまでです（画像のファイル番号にかかわらず、どのファイル番号でも転送設定できます）。1000コマ以上の画像を一括して転送する場合は、**「転送画像設定」**で転送設定を行わず、Nikon View 4の画像転送ウインドウで**「全ての画像」**を選択して転送するか、サムネイル一覧で転送したい画像を選択して転送してください。

**! 注意 COOLPIX995以外のニコン製デジタルカメラで設定した転送設定について**

COOLPIX995以外のニコン製デジタルカメラで転送設定した画像が記録されているコンパクトフラッシュカードをCOOLPIX995に挿入しても、転送設定は認識されません。COOLPIX995で再度転送設定してください。

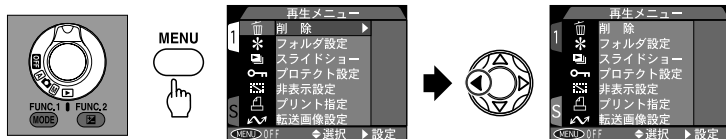
# 再生SET-UP項目のセット

再生モード ▶

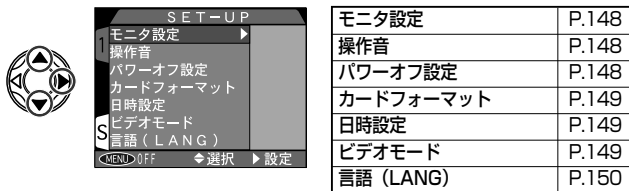
再生SET-UPメニューでは、再生時のカメラの各種状態を設定することができます。

## 再生SET-UP画面の呼び出し

**1 セレクトダイヤルを ▶ にセットしてメニューボタンを押し、液晶モニタに再生メニューを表示させ、マルチセレクターの◀でSのタグを選択します。**

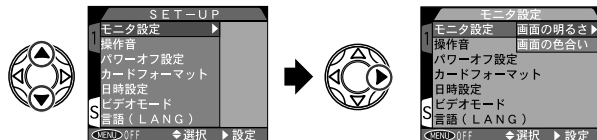
- 再生メニュー画面でマルチセレクターの◀を押すと、画面左のタグの色がオレンジ色に変わります。

**2 ▲ / ▼でSのタグを選択して「SET-UP」を表示させ、▶を押します。**

- ▶を1回押すと、SET-UP項目の選択が行える状態になります。

| | |
|---|---|
| モニタ設定 | P.148 |
| 操作音 | P.148 |
| パワーオフ設定 | P.148 |
| カードフォーマット | P.149 |
| 日時設定 | P.149 |
| ビデオモード | P.149 |
| 言語（LANG） | P.150 |



## 再生SET-UP項目の選択とセット（例:モニタ設定のセットをする場合）

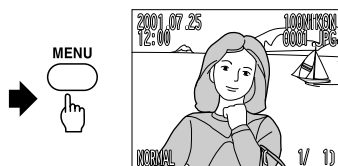
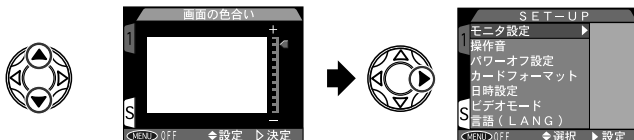
**1 SET-UP項目を選択します。**

- マルチセレクターの▲ / ▼でSET-UP項目を選択し、▶を押すと選択した項目の画面に切り換わります。

## 2 SET-UP項目の詳細を選択します。

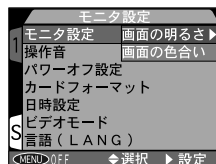
- マルチセレクターの▲ / ▼でセットしたい項目を選択し、▶を押すとセットしたい項目の詳細の画面に切り換わります。

## 3 SET-UP項目の詳細を決定し、メニューボタンを押してセットを終了します。

- マルチセレクターの▲ / ▼でセットしたい項目の詳細を選択し、▶を押すと内容が決定されて、SET-UP画面に切り換わります。メニューボタンを押すと再生画面に切り換わり、1コマ再生画面が表示されます。

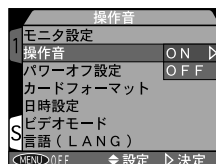
メニューについて　再生SET-UP項目のセット

## 各再生SET-UP項目について

### モニタ設定

液晶モニタの明るさ、色合いをセットします。

| 画面の明るさ | 画面の明るさをセット |
|---|---|
| 画面の色合い | 画面の色合いをセット |

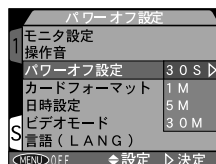
● セット方法は、撮影SET-UPの**「モニタ設定」**（☞ P.123）をご覧ください。

### 操作音

カメラの状態を知らせる操作音のON、OFFをセットします。

| ON | 操作音が鳴る状態にセット |
|---|---|
| OFF | 操作音が鳴らない状態にセット |

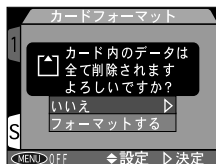
● 詳細は、撮影SET-UPの**「操作音」**（☞ P.125）をご覧ください。

### パワーオフ設定

再生モード時にカメラの操作が終了してからオートパワーオフ機能（P.172）が作動するまでの時間を設定します。

| 30S | 30秒に設定 |
|---|---|
| 1M | 1分に設定 |
| 5M | 5分に設定 |
| 30M | 30分に設定 |

● 撮影モードのパワーオフ設定（P.125）とは無関係に、再生モード独自にセットできます。
● 詳細は、撮影SET-UPの**「パワーオフ設定」**（☞ P.125）をご覧ください。

## カードフォーマット

コンパクトフラッシュカードのフォーマットを行います。

| いいえ | フォーマットを実行しない |
|---|---|
| **フォーマットする** | フォーマットを実行する |

● セット方法は、P.36をご覧ください。

**! 注意　コンパクトフラッシュカードをフォーマットする時のご注意**

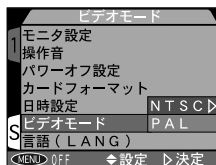
カードのフォーマットをすると、カード内のデータはすべて消去されます。

## 日時設定

日付と時刻を設定します。

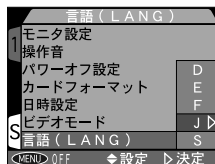
● セット方法は、P.32をご覧ください。

## ビデオモード

ビデオ出力の方式をNTSC、PAL形式のいずれかにセットします。

| NTSC | NTSCにセット（日本国内のビデオ出力方式） |
|---|---|
| **PAL** | PALにセット（欧州のビデオ出力方式） |

● 詳細は、撮影SET-UPの**「ビデオモード」**（☞ P.133）をご覧ください。

## 言語（LANG）

メニューに表示する言語を切り換えることができます。

| | |
|---|---|
| D | ドイツ語で表示 |
| E | 英語で表示 |
| F | フランス語で表示 |
| J | 日本語で表示 |
| S | スペイン語で表示 |

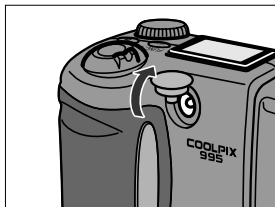
# 接　　続

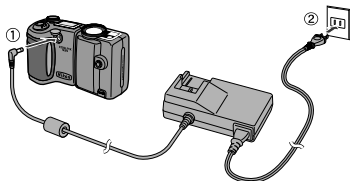
**ACアダプタ（別売）、ビデオ、パソコンなどとの接続方法の概要などを説明しています。**

接続

# 専用ACアダプタ（別売）の使い方

専用のACアダプタ／バッテリーチャージャーEH-21（8.4V、1.3A）で家庭用電源（AC100V）から電源をとることができます。

**1** **DC入力端子カバーを矢印の方向に開けます。**

**2** **セレクトダイヤルを OFF にセットし、ACアダプタのDCプラグを本体のDC入力端子に接続します。**

**3** **電源プラグをコンセントに接続します。**

- 専用ACアダプタ／バッテリーチャージャーEH-21では、Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL1の充電を行うことができます。
- EN-EL1をCOOLPIX995に入れたまま充電することはできません。

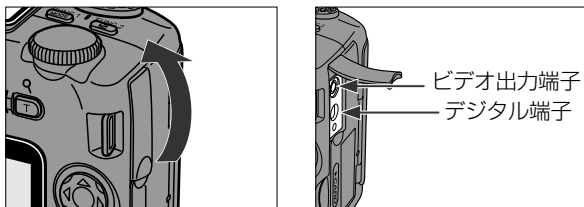
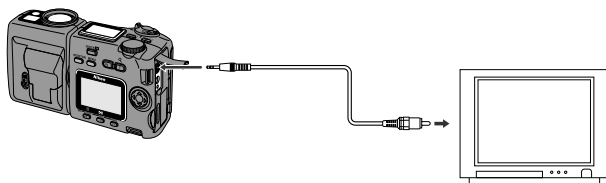
**! 注意　ACアダプタ接続時のご注意**

- ACアダプタ端子を抜き差しするときは、セレクトダイヤルが OFF になっていることを必ず確認してください。
- 本体のDC入力端子には専用のACアダプタEH-21以外のものを接続しないでください。
- ACアダプタを長時間接続するとACアダプタ、カメラ本体が熱を持つことがありますが、故障ではありません。
- ACアダプタを接続して撮影を行うときは、ACアダプタのコードがレンズやスピードライト、調光センサー部にかからないよう注意してください。

# テレビ・ビデオとの接続

COOLPIX995をテレビやビデオなどに接続して、画像をテレビ画面に表示させたり、ビデオに録画したりできます。接続には専用のビデオケーブル（付属）をご使用ください。

**1** **ビデオ出力端子・デジタル端子カバーをイラストのように開けます。**

- 黒いプラグをカメラ側に、黄色のプラグをテレビまたはビデオ側に接続します。

**2** **COOLPIX995のビデオ出力端子専用のビデオケーブルを接続します。**

- ビデオ端子にビデオケーブルが接続されると、液晶モニタに表示している画像データをビデオ出力します。
- テレビなどには、液晶モニタがOFFになっている場合を除いて、液晶モニタと同じ内容が表示されます。ただし、対面撮影中の撮影画像は上下逆に表示されます。
- 液晶モニタがOFFになっている場合は、情報表示のない画像がビデオ出力されます。液晶モニタ表示とビデオ出力の関係は下表のようになります。

| 液晶モニタ | ビデオ出力 |
|---|---|
| OFF | 情報表示なし |
| ON（情報表示あり） | 情報表示あり |
| ON（情報表示なし） | 情報表示なし |

- ACアダプタ接続中は、液晶モニタのオートパワーオフ（☞ P.148）は30分に固定されます。ただし、ビデオケーブルが接続されている場合にはビデオ信号は継続して出力されます。

接続

# パソコンとの接続

## USBインターフェースによる接続

COOLPIX995はUSBインターフェース（Windows®パソコン、Macintosh用）を装備しており、パソコンと接続して画像データの転送、撮影情報の確認などができます。

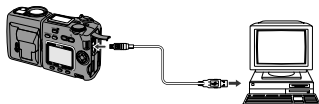
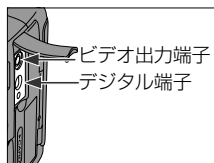
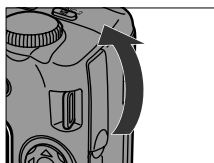
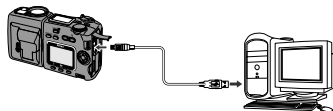
- 別売のパソコン接続キットPK-UC2に付属のNikon View 4（☞ P.158）を使用して、COOLPIX995のコンパクトフラッシュカードの画像をパソコンに転送することができます。
- 接続をする前にパソコン接続キットに付属の使用説明書（CD-ROM）をご覧になり、必要なソフトウェアをパソコンにインストールしてください。

**! 注意　画像データの転送について**

COOLPIX995、990、950、880、800、700、910、900以外で記録されたコンパクトフラッシュカードの画像データは転送できません。

### 1 カメラのセレクトダイヤルを OFF 以外にセットします。

- カメラに撮影画像が記録されたコンパクトフラッシュカードが装着され、バッテリーまたはACアダプタが装着されていることを確認してください。
- カメラとパソコンを接続して画像を転送する場合には、ACアダプタ（別売）のご使用をおすすめします。ACアダプタをご使用でない場合には、「パワーオフ設定」（☞P.125）を30M（30分）にセットすることをおすすめします。

### 2 カメラのビデオ出力端子・デジタル端子カバーを開け、専用USBケーブルでカメラとパソコンを接続します。

Windowsパソコンとの接続　　Macintoshとの接続

- 接続の際にCOOLPIX995とパソコンの電源をOFFにする必要はありません。
- カメラの電源が入っている時にUSBケーブルが接続されると、カメラはPC通信モードとなります。PC通信モードになると、表示パネルのカウンタ部が [ - - - ] のように表示され、回転します。

**! 注意 USBハブについて**

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

## 2 接続を終了します。

- 接続を終了する場合は、カメラ内の画像の転送、拡大など、パソコンとのデータ通信を行われていないことを確認してから、USBケーブルを外してください。

**! 注意 パソコンとの接続中の操作**

- カメラとパソコンの通信中には、セレクトダイヤルを OFF にしないでください。また、USBケーブルやコンパクトフラッシュカードを抜かないでください。ソフトウェアが正常に動作しなくなるばかりか、データが破損したり、カメラの故障の原因となることがあります。

**✓ ここをチェック！**

- Windows Millennium Edition、Windows 2000が動作するパソコンでは、COOLPIX995とパソコンをUSBケーブルで接続するだけで、必要なソフトウェアが自動的にインストールされ、カメラがカードリーダのように認識されます。
- Windows 98/98SEでは、Nikon View 4（別売）CD-ROMからドライバをインストールすれば、カメラがカードリーダのように認識されます。
- Mac OS 8.6、OS9では、USB接続するとカメラが「名称未設定」として、自動的にデスクトップに表示されます。（MacOS 8.6の場合、USBドライバをVer.1.3.5にアップグレードしてください。）

**! 注意 パソコンからのフォーマット操作について**

カメラとパソコンがUSBケーブルで接続されている時に、下記のディスクフォーマット操作を行うと、カメラのコンパクトフラッシュカードに記録されている画像がすべて消去されてしまいますので注意してください。

Windows： マイコンピュータやエクスプローラの「ファイル」メニューの「フォーマット」操作

Macintosh：「特別」メニューの「ディスクの初期化」操作

**! 注意 カメラを取り外すときのご注意**

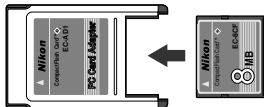
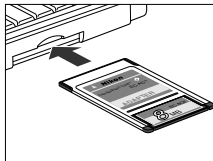
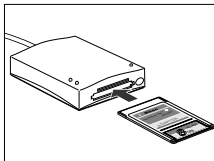
カメラを取り外す時には、カメラの電源をOFFにしてUSBケーブルを抜く前に、次の操作を行ってください。

・Windows Millennium Edition、Windows 2000の場合：パソコンの画面右下の「ハードウェアの取り外し」からカメラを取り外してください。

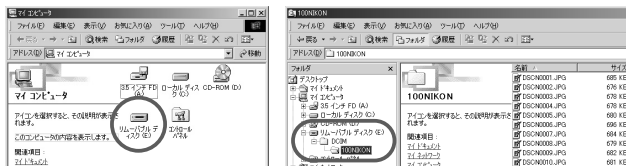
・Macintoshの場合：デスクトップ上の「名称未設定」のアイコンをゴミ箱に捨ててください。

## コンパクトフラッシュカードから直接パソコンに読みとる

カードリーダ／カードスロットを使用すれば、パソコンで直接画像を読み込むことができます。

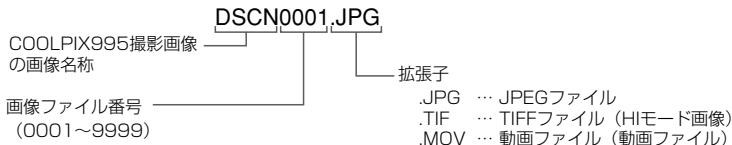
**1** **PCMCIA TYPE IIのカードに適合するカードリーダ／カードスロットを使用する場合は、カメラから取り出したコンパクトフラッシュカードをPCカードアダプタEC-AD1（別売)にセットします（CFカードリーダをお使いの場合は、アダプタは必要ありません)。**

**2** **カードリーダ／カードスロットに装着します。**

- 装着方法の詳細については、ご使用のパソコン本体、カードリーダの使用説明書を参照してください。
- ご使用の環境によっては、ソフトウェアのインストールや登録、設定が必要となる場合があります。ご使用のパソコンおよびOSの使用説明書を参照してください。

**3** **JPEGをサポートしているアプリケーションソフトでコンパクトフラッシュカードの画像を開きます。**

- コンパクトフラッシュカードは、パソコンの外部ドライブとして表示されます。
- カメラの**「フォルダ設定」**メニューでフォルダ操作（新規作成、名称変更）を行っていない標準的な状態では、コンパクトフラッシュカードには、次のようなフォルダ、ファイルが記録されています。
  「DCIM」という名前のディレクトリ（フォルダ）の中に「100NIKON」というフォルダがあり、その中に、次のような名前で画像ファイルが保存されています。
  DSCN0001.JPG、DSCN0002.JPG、DSCN0003.JPG･･･

## ■ 画像ファイル名とフォルダについて

**画像ファイルのファイル名は、次のようになります。**

DSCN0001.JPG

- DSCN：COOLPIX995撮影画像の画像名称
- 0001：画像ファイル番号（0001～9999）
- .JPG：拡張子
  - .JPG … JPEGファイル
  - .TIF … TIFFファイル（HIモード画像）
  - .MOV … 動画ファイル（動画ファイル）

- カメラで使用する画像ファイル名は、1つのフォルダにつき、DSCN0001からDSCN9999までです。また、「100NIKON」フォルダ内にある画像ファイル番号が9999に達した時には、自動的に「101NIKON」という名前のフォルダを新規作成し、その中に新たにDSCN0001から順次画像ファイルが保存されていきます。

### メモ Info.txtについて

- COOLPIX995の撮影撮影SET-UPの**「Info.txt」**をONにセットした場合には、コンパクトフラッシュカード内の画像を保存したフォルダに、Info.txtというテキストファイルを作成することができます。Info.txtには、画像ファイル名に加えて、以下の項目（詳細情報表示と同一の項目）が記録されています。

| | | |
|---|---|---|
| DSCN0001.JPG（例） | ： | 画像ファイル名 |
| CAMERA | ： | カメラの名称とファームウェアのバージョン |
| METERING | ： | 測光モード |
| MODE | ： | 露出モード |
| SHUTTER | ： | シャッタースピード |
| APERTURE | ： | 絞り値 |
| EXP ＋／－ | ： | 露出補正値 |
| FOCAL LENGTH | ： | 焦点距離と電子ズーム |
| IMG ADJUST | ： | 階調補正モード |
| SENSITIVITY | ： | 感度 |
| WHITEBAL | ： | ホワイトバランス |
| SHARPNESS | ： | 輪郭強調 |
| DATE | ： | 撮影日時 |
| QUALITY | ： | 画像サイズと画質モード |
| SATURATION | ： | 彩度調整 |
| FOCUS AREA | ： | フォーカスエリア |

### メモ DCFについて

- COOLPIX995はDCFに準拠しています。Design rule for Camera File system（DCF）は、各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための画像フォーマットです。

接続

## ■ Nikon View 4の特長

**別売のパソコン接続キットPK-UC2に付属の画像転送用アプリケーションソフト、Nikon View 4を使用すると、COOLPIX995およびコンパクトフラッシュカードに記録された画像の一覧表示を見たり、画像ファイルの転送を行ったりすることができます。**

● Nikon View 4には、次のような機能があります。

① COOLPIX995、コンパクトフラッシュカードからの画像ファイルの転送機能

・COOLPIX995、またはコンパクトフラッシュカードを装着したカードリーダをパソコンに接続するだけで、自動的にカメラ・カードリーダを認識して撮影画像をパソコンに簡単に転送して保存することができます。

・画像を転送する時に、カメラ側の再生メニュー**「転送画像設定」**で設定した転送属性により、画像を選択して転送することができます。

・画像を転送する際に任意のキーワードや撮影条件などをファイル情報として画像ファイルに自動的に組み込むことができます。

・画像ファイルの転送時に画像サイズを縮小して、電子メールや小さめのプリントに最適なサイズにすることができます。

・画像ファイルの転送時に画像ファイルのファイル名を自動的に変更して保存することができます。

② コンパクトフラッシュカードの画像ファイルのサムネイル一覧機能

・パソコンに接続されたカメラや、カードリーダに装着されたコンパクトフラッシュカード内の撮影画像をサムネイル一覧表示することができます。

・サムネイル一覧表示では、サムネイル表示サイズを選択でき、撮影情報の表示や実画像の表示など、画像を閲覧したり、パソコンに転送するためのさまざまな機能があります。

③ 画像データベースソフトウェアとの連携機能

・画像ファイルを転送すると同時に、画像ファイルを画像データベースアプリケーションソフトウェアに自動的に登録することができます（データベースアプリケーションソフトは、サポートしているアプリケーションソフトのみになります）。

# 参　考

**別売アクセサリーや、警告表示が出たときの対応方法、カメラの仕様などを説明してあります。**

# 別売アクセサリー

### ワイドコンバータ　WC-E63
装着すると撮影レンズの焦点距離が0.63倍に短縮されます。カメラのワイド端状態で撮影すると最も広角となり、合成焦点距離は5.0mm（35mm判カメラで約24mmに相当）、合成Fナンバーは F2.6となります。

### フィッシュアイコンバータ　FC-E8
装着すると撮影レンズの焦点距離が0.21倍に短縮され、画角約183°の円形画像を撮影することができます。合成焦点距離は1.7mm（35mm判カメラで約8mmに相当）、合成Fナンバーは F2.6となります。

### テレコンバータ　TC-E3ED <×3>
装着すると撮影レンズの焦点距離が約3倍に拡大されます。カメラのテレ端状態で撮影すると最も望遠となり、合成焦点距離は96mm（35mm判カメラで約456mmに相当）、合成Fナンバーは F5.1となります。

### テレコンバータ　TC-E2 <×2>
装着すると撮影レンズの焦点距離が約2倍に拡大されます。カメラのテレ端状態で撮影すると最も望遠となり、合成焦点距離は64mm（35mm判カメラで約304mmに相当）、合成Fナンバーは F5.1となります。

### 増灯ブラケット　SK-E900　増灯アダプタ　AS-E900
COOLPIX995と当社製スピードライト（別売）を装着・接続してスピードライトの増灯撮影を行うためのブラケットです。内蔵および増灯スピードライトの発光量はカメラ本体からコントロールするため、簡単に高性能なスピードライト撮影が可能となります。

### リモートコード　MC-EU1
リモート撮影、再生を行うためのコードです。カメラのシャッター操作のほかにも、ズーム操作、インターバル撮影、再生を行ったり、カメラの状態（モード確認、撮影可能枚数など）の確認をすることができます。

### スライドコピーアダプタ　ES-E28
35mm判フィルムの撮影が簡単に行えます。撮影レンズの先端にねじ込むだけでカメラに簡単に取付けることができ、カメラ撮影メニューの**「コンバータ：スライドアダプタ」**をセットすると、カメラが自動的にピントを合わせます。

### ソフトケース　CS-E995
COOLPIX995専用のソフトケースです。コンパクトフラッシュカードなどの小物を収納できるポケットが付いています。

### PCカードアダプタ EC-AD1
コンパクトフラッシュカードと組み合わせることにより、PC Card Standard-ATAに準拠したPCカードとしてご使用になれます。

### ACアダプタ／バッテリーチャージャー EH-21
専用のACアダプタ（8.4V、1.3A）で、家庭用電源（AC100V）から電源をとることができます。また、Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL1を充電することができます。　※ COOLPIX995にACアダプタEH-31/30はご使用になれません。

### Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL1

COOLPIX995で使用する充電式のバッテリーです。6Vリチウム電池（2CR5）をご使用になるよりも経済的です。　※COOLPIX995に入れたまま充電することはできません。

### コンパクトフラッシュカード　EC-CFシリーズ

COOLPIX995に装着し、撮影したデータ画像を記録するメディアです。小型軽量で携帯性に優れています。

### ■ 使用できるコンパクトフラッシュカード

本カメラの画像データ記録媒体としては、ニコンコンパクトフラッシュカードEC-CFシリーズをお使いください。なお、以下の他社製コンパクトフラッシュカードにつきましては、動作確認をいたしております。

| | | |
|---|---|---|
| SanDisk社製： | SDCFB-16、SDCFB-32、SDCFB-48、SDCFB-64、SDCFB-96、SDCFB-128 | |
| LEXAR MEDIA社製： | 10X USBシリーズ | 128MB、160MB |
| | 8X USBシリーズ | 8MB、16MB、32MB、48MB、64MB、80MB |
| | 4X USBシリーズ | 8MB、16MB、32MB、48MB、64MB、80MB |

※上記コンパクトフラッシュカードの機能、動作の詳細、動作保証等については、コンパクトフラッシュカードメーカーにご相談ください。

**! 注意　コンパクトフラッシュカード使用上のご注意**

- カメラの使用直後にはコンパクトフラッシュカードが熱くなっている場合がありますので、取り出す場合にはご注意ください。
- 未使用カードは必ずフォーマット（初期化）してからご使用ください。
  コンパクトフラッシュカードのフォーマットについては ☞ P.36
- コンパクトフラッシュカードのフォーマット中には、絶対にカメラからカードを取り出さないでください。カードが使用できなくなることがあります。
- コンパクトフラッシュカードへ記録・削除が行われているときやコンピュータとの通信時には、以下のことは行わないでください。記録されているデータの破損やカードの故障の原因となります。
  ・カードの着脱をする　　・電源をOFFにする
  ・バッテリーを取り出す　　・ACアダプタを抜く
- 端子部に手や金属を触れないでください。
- コンパクトフラッシュカードカバーには無理な力を加えないでください。破損の恐れがあります。
- 曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 熱、水分、直射日光を避けてください。

## パソコン接続キット PK-UC2

**・同梱品**

- ・プログラムCD-ROM　2枚
  <ニコンデジタルカメラ専用ソフトNikon View 4 CD-ROM（デジカメNinja2、iPIXソフトウェア、QuickTime 4、Cumulus5.0<お試し版>とのカップリング）、Adobe Photoshop 5.0LE CD-ROM>
- ・USBケーブル　UC-E1　1本
- ・使用説明書（CD-ROM）　1枚
- ・各ユーザー登録カード
  DOS／V機（IBM PC／AT互換機）、NEC PC-9800シリーズ、Macintoshおよびその互換機でご使用になれます。

### ■ 動作環境

**Windows**

| | |
|---|---|
| Computer | IBM PC/AT互換機またはNEC PC-98NX |
| CPU | MMX Pentium以上 |
| OS | Windows®98、98 Second Edition (SE)、Windows® Millennium Edition (Me)、Windows®2000各プリインストールモデル以降*1 |
| RAM | 32MB以上の空き容量（64MB以上を推奨）*2 |
| ハードディスク | インストール時に15MB、プログラム起動時に使用するコンパクトフラッシュカードの2倍以上の空き容量*2 |
| モニタ解像度 | 640×480ドット以上、16bitカラー以上（800×600ドット以上、フルカラー推奨） |
| CD-ROMドライブ | インストールのため必要 |
| インターフェース | USBインターフェース(標準装備のみ)*3 |

*1 プリインストールモデルに限られます。
*2 他のソフトウェアと合わせてご使用の場合の必要空き容量は、それぞれのソフトウェアに添付の使用説明書および解説書にてご確認ください。
*3 USBハブを介してカメラを接続すると、正しく動作しない場合があります。

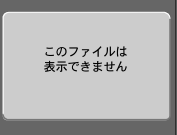
**Macintosh**

| | |
|---|---|
| Computer | iMac、iMac DV、Power Macintosh G3（Blue & White）、Power Macintosh G4以降、iBook、PowerBook G3以降*4 |
| CPU | PowerPC G3以上 |
| OS | MacOS 8.6*5、9.0、9.1 |
| RAM | 32MB以上の空き容量（64MB以上を推奨）*6 |
| ハードディスク | インストール時に15MB、プログラム起動時に使用するコンパクトフラッシュカードの2倍以上の空き容量*6 |
| モニタ解像度 | 640×480ドット以上、16bitカラー以上（800×600ドット以上、フルカラー推奨） |
| CD-ROMドライブ | インストールのため必要 |
| インターフェース | USBインターフェース（標準装備のみ）*7 |

*4 コンピュータにUSBインターフェースが標準装備されていることをご確認ください。
*5 Mac OS 8.6の場合、USBドライバをVer.1.3.5にアップグレードしてください。
*6 他のソフトウェアと合わせてご使用の場合の必要空き容量は、それぞれのソフトウェアに添付の使用説明書および解説書にてご確認ください。
*7 USBハブを介してカメラを接続すると、正しく動作しない場合があります。

# 故障かな？と思ったら

下表にしたがって点検しても直らないときはお買い上げの販売店またはP.168に記載されている当社サービス部門までお問い合わせください。

| | こんな時は | ここをご確認ください | ページ |
|---|---|---|---|
| 電源 | 電源が入らない | ・バッテリーが消耗している<br>・バッテリーが正しい向きで入っていない<br>・ACアダプタが正しく接続されていない | P.31<br>P.30<br>P.152 |
| | 電源が入ってもすぐに切れる | ・バッテリーが消耗している<br>・低温下で使用している | P.31<br>P.9 |
| 撮影 | シャッターボタンを押しても撮影できない | ・セレクトダイヤルがⒶ📷 または 📷Ⓜ の位置になっていない<br>・撮影可能なコンパクトフラッシュカードが入っていない<br>・撮影可能枚数がない<br>→不要な画像を消去してください<br>・セルフタイマー撮影になっている<br>・スピードライト充電中→少しお待ちください | P.28<br>P.34<br>P.161<br>P.56<br>P.49<br>P.65 |
| | 液晶モニタの表示や画像がはっきりしない | ・液晶の明るさ調整が合っていない<br>・ゴミやほこりがついている | P.123<br>P.8 |
| | ピントが合わない | ・ピントが合わせにくい被写体である | P.78 |
| | 内蔵スピードライトが発光しない | ・内蔵スピードライトが上がっていない<br>・内蔵スピードライトが発光禁止になっている<br>・連写、ＢＳＳまたはコンバータモードになっている | P.48<br>P.131<br>P.100<br>P.101<br>P.104 |
| | 画像が自然な色合いにならない | ・ホワイトバランスが調節できない状況で撮った | P.94 |
| 再生 | 再生できない | ・セレクトダイヤルが ▶ の位置になっていない<br>・撮影済みのコンパクトフラッシュカードが入っていない<br>・撮影済みのコンパクトフラッシュカードの画像を全て消去した、またはカードフォーマットをした | P.28<br>P.34<br>P.136<br>P.36 |
| | テレビに再生画像が出ない | ・テレビと正しく接続されていない<br>・テレビの入力切り換えが「ビデオ」になっていない | P.153 |
| | テレビの画像が鮮明に出ない、または色がおかしい | ・テレビと正しく接続されていない、接触不良が起きている→正しく接続してください<br>・テレビの調整がおかしい<br>→テレビの使用説明書もよくお読みください | P.153 |
| その他 | パソコンと通信できない | ・パソコンと正しく接続されていない<br>→パソコン接続キットの使用説明書もよくお読みください | P.154 |

# 警告表示について

液晶モニタおよび表示パネルに下記の警告表示が点灯または点滅した場合は、修理やアフターサービスをお申し付けになる前に下記の点をご確認ください。

| こんな時は | | 原　因 |
|---|---|---|
| 液晶モニタ | 表示パネル | |
| カードが<br>入っていません | Card | ● コンパクトフラッシュカードが入っていないか、正しくセットされていません。 |
| フォーマット<br>されていません<br>フォーマットする ▷<br>いいえ<br>◆設定　▷決定 | Card | ● コンパクトフラッシュカードが正しくフォーマットされていません。 |
| メモリー残量が<br>ありません | | ● コンパクトフラッシュカードに画像を記録する空き容量がないか、画像、フォルダ番号の制限値を超えています。 |
| このカードは<br>使用できません | Card | ● コンパクトフラッシュカードへのアクセス異常です。 |
| フォルダの削除が<br>できません | | ● カメラで認識できないファイルや、プロテクト設定または非表示設定された画像ファイルがあります。 |

| 対処法 | 参照ページ |
|---|---|
| ● コンパクトフラッシュカードを正しくセットしてください。 | P.34 |
| ● 液晶モニタ画面の「フォーマットする」にカーソルを合わせてマルチセレクターの▶を押して、コンパクトフラッシュカードのフォーマットを行ってください。<br>● 正しくフォーマットされたコンパクトフラッシュカードに交換してください。 | P.36<br>P.34 |
| ● カードに記録されている画像を削除してカードに画像ファイルを保存可能な状態にしてください。必要な画像はパソコンなどに転送してバックアップを行ってください。<br>● 新しいカードに交換してください。 | P.73<br>P.136<br>P.154<br>P.34 |
| ● COOLPIX995用のコンパクトフラッシュカードであるかどうか確認してください。<br>● コンパクトフラッシュカードがこわれている可能性があります。当社サービス部門までご連絡願います。 | P.34<br>P.161 |
| ● COOLPIX995以外で撮影された画像か、アプリケーションソフトで編集されている場合に表示されます。<br>● 画像ファイルのプロテクト設定、または非表示設定を解除してください。 | P.156<br>P.140<br>P.141 |

# 警告表示について（つづき）

| こんな時は | | 原　因 |
|---|---|---|
| 液晶モニタ | 表示パネル | |
| 画像を 登録できません | | ● 画像ファイル名の番号のオーバーフローです。<br>● カードのフォーマットが異なります。 |
| 表示可能な 画像がありません | | ● 記録されている画像が非表示設定されているために表示されません。 |
| このファイルは 表示できません | | ● 画像ファイルを表示できません。 |
| システムエラー | [Err] | ● 内部メモリーへのアクセス異常、MPU間の通信エラー、フォーカス動作異常、ズーム動作異常などのエラーです。 |

| 対処法 | 参照ページ |
| --- | --- |
| ● カメラが扱えるファイル数をオーバーした場合に左のエラーが表示されます。新しいコンパクトフラッシュカードに入れ換えるか画像ファイルまたはフォルダを削除してください。<br>● コンパクトフラッシュカードのフォーマットが異なる可能性があります。再フォーマットしてください。 | P.56<br>P.73<br>P.136<br>P.36 |
| ● 再生メニューの非表示設定メニューを選択して、画像の非表示設定を解除してください。 | P.141 |
| ● COOLPIX995、990、950、880、800、700、910、900以外で撮影された画像か、アプリケーションソフトで編集されている場合に表示されます。 | P.156 |
| ● 再度電源を入れ直すか、バッテリーを入れ直してください。システムエラーの表示が続く場合は当社サービス部門までご連絡ください。 | P.30<br>P.168 |

# ユーザーサポートについて

このカメラの内容および操作方法について、さらにご質問がございましたら下記の当社サービス部門までお問い合わせください。

## ■内容および操作に関する技術的なお問い合わせは

〒140-0015　東京都品川区西大井1-4-25
（コア・スターレ西大井第一ビル2F）
株式会社ニコン　電子画像テクニカルセンター
TEL（03）3773-0191　　FAX（03）3773-8569
受付時間：祝日を除く月～金　9:30～17:00
※都合により休む場合があります。

### お願い

- ●お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- ●より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAXまたは郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」はコピーしてお使いいただくと、繰り返しお使いいただけ便利です。

## ■製品の修理に関するお問い合わせは

〒140-8601　東京都品川区西大井1-6-3
株式会社ニコン　東京大井サービス
TEL（03）3773-2221
受付時間：祝日を除く月～金　8:30～17:15
※都合により休む場合があります。

## ■インターネットをご利用の方へ

下記ホームページにてサポート情報をご案内しております。
http://www.nikon-image.com/cs_index.htm

（株）ニコン　電子画像テクニカルセンター　行
TEL:03-3773-0191　　FAX:03-3773-8569

## 【お問い合わせ承り書】太枠内のみご記入ください

| | |
|---|---|
| お問い合わせ年月日： | 年　月　日 |
| お買い上げ日： | 年　月　日 |
| 製品名： | シリアル番号： |
| フリガナ<br>お名前： | |
| 連絡先ご住所：□自宅　□会社<br>〒<br><br>TEL:<br>FAX: | |
| ご使用のコンピュータの機種名：<br>メモリ容量：<br>OSのバージョン：<br>その他接続している周辺機器名：<br>ご使用のアプリケーションソフト名：<br>ご使用の当社ドライバソフトウェアのバージョン名： | <br>ハードディスクの空き容量：<br>ご使用のインターフェース： |
| 問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の再現：<br>（おわかりになる範囲で結構ですから、できるだけ詳しくお書きください） | |

**※このページはコピーしてお使いください。** **整理番号：**

参考

# 主な仕様

## ニコンデジタルカメラCOOLPIX995の主な仕様

| 型式 | ニコンデジタルカメラE995 |
|---|---|
| 撮像素子 | 総画素数334万画素、1/1.8型 |
| 記録画素数（pixel） | 2,048×1,536（FULL)、1,600×1,200（UXGA)、1,280×960（SXGA)、1,024×768（XGA)、640×480（VGA)、2,048×1,360（3:2） |
| レンズ | 4倍ズームニッコールレンズ、f=8〜32mm（35mm判換算38〜152mm)、F2.6〜5.1（8群10枚） |
| オートフォーカス | コントラスト検出方式、マルチエリアオートフォーカス可能 |
| 電子ズーム | 4.0倍 |
| AFエリア | 5ヶ所、🄼時1ヶ所を選択可能 |
| フォーカス | コンティニュアスAF／シングルAF、遠景モード・マクロモードに切り換え可能、マニュアルフォーカス（50ステップ）可能 |
| 撮影距離 | 30cm〜∞［マクロ・マニュアルフォーカス時レンズ前約2cm（ズームのミドルポジション）〜∞] |
| ファインダー | 実像式ズームファインダー、LED表示、視度補正機能付き（−2〜+1$m^{-1}$） |
| 液晶モニタ | 1.8インチ低温ポリシリコンTFT液晶、110,000画素、視野率約97%、輝度調節機能5段階、色調調節機能11段階 |
| 記録画像ファイル形式 | JPEG準拠（Design rule for Camera File system・DPOF準拠）／HI（非圧縮：TIFF-RGB）／QuickTime |
| 画質モード | 圧縮：JPEG-Baseline準拠、圧縮率：FINE（約1/4)、NORMAL（約1/8)、BASIC（約1/16)、HI（非圧縮：TIFF-RGB） |
| 撮影可能コマ数 | FINE約4コマ、NORMAL約9コマ、BASIC約18コマ（2,048x1,536 pixel／8MBカード使用時） |
| 記録媒体 | コンパクトフラッシュカード（Type I/II） |
| 撮影モード | 🄰／🄼（撮影メニューによりホワイトバランス、測光モード、BSS、階調補正、輪郭強調、彩度調整、ノイズ除去などの設定が可能） |
| カスタムセッティング | 🄼のメニュー設定の3種類の組み合わせを記憶可能 |
| 連写機能 | 単写、連写、マルチ連写、高速連写、UH連写、動画（QVGA・最長40秒・15fps） |
| 測光方式 | マルチ測光（256分割)、中央部重点測光、スポット測光（フォーカスエリアに連動も可能） |
| 露出制御 | プログラムオート（P)、シャッター優先オート（S)、絞り優先オート（A)、マニュアル露出（M）モード、プログラムシフト、露出補正（−2〜+2EV、1/3EVステップ)、オートブラケティング |
| 露出連動範囲 | EV−2.2〜17.0（W側)、ISO100換算 |

| | | |
|---|---|---|
| シャッター | | メカニカルシャッターとCCD電子シャッターの併用<br>Pモード：1秒〜1/2300秒、Sモード：8秒〜1/2000秒、Aモード：8秒〜1/2300秒、Mモード：8秒〜1/2000秒、60秒までの長時間露出（BULB） |
| 絞り | | 7枚羽根虹彩絞り（1/3EVステップ、10段階） |
| 撮像感度 | | ISO100相当、感度切り換え可能（オート、ISO100、ISO200、ISO400、ISO800相当） |
| ホワイトバランス | | マルチオートホワイトバランス、5種類のマニュアル設定（微調整可能）、プリセット、ホワイトバランスブラケティング |
| セルフタイマー | | 3秒、10秒 |
| スピードライト | ガイドナンバー | 10（ISO100・m） |
| | 調光方式 | 自動調光制御 |
| | 発光モード | 自動発光、強制発光、スローシンクロおよび赤目軽減自動発光の4モード切り換え可能 |
| 増灯ターミナル | | 増灯ブラケットSK-E900を介してニコン35mm一眼レフ用スピードライトが使用可能（SB-28/28DX、26、25、24、22、22sにて増灯撮影が可能、増灯アダプタAS-10、増灯コードSC-18、19の使用で5灯まで増灯可能） |
| オートパワーオフ機能 | | 無操作状態で30秒後にOFF（1/5/30分から選択可能） |
| 再生機能 | | 1コマ再生、動画再生、クイックレビュー再生、簡易再生、サムネイル再生（4分割／9分割）、スライドショー、拡大再生機能（6倍まで）、撮影情報表示、詳細情報表示、ヒストグラム表示、ピーキング表示 |
| 削除機能 | | クイックデリート、全画像削除、選択画像削除、フォルダ削除、カードフォーマット、削除禁止可能 |
| インターフェース | | USBインターフェース、ビデオ出力（NTSC／PAL） |
| 入出力端子 | | DC入力、ビデオ出力、デジタル端子（USB）、増灯ターミナル |
| 電源 | | Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL1×1本、6Vリチウム電池（2CR5型）×1本、外部電源（8.4V、1.3A） |
| 連続撮影時間 | | 約110分（専用リチャージャブルバッテリー使用、液晶モニタON時） |
| 使用条件 | | 温度：0℃〜+40℃、湿度：85%以下（結露しないこと） |
| 外形寸法、質量（重さ） | | 138（W）×82（H）×40（D）mm、グリップ部：59mm、約390g（電池別） |
| 付属品 | | コンパクトフラッシュカード（8MB）、ストラップ、レンズキャップ、ビデオケーブル、Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL1、バッテリーチャージャー、使用説明書 |

**■ COOLPIX995はエプソンの「PRINT Image Matching」に対応しています。**

「PRINT Image Matching」はこの機能を搭載したデジタルカメラと対応プリンタとの連携により、撮影時に画像と一緒に記録された付帯情報からデジタルカメラ側で設定した色再現を反映させたきれいなプリントが得られる技術です。

※仕様中のデータは、すべて常温（20℃）、同梱専用リチャージャブルバッテリーEN-EL1をフル充電で使用時のものです。

- 電池の使用期間は、電池の種類および使用状況により異なりますのでご注意ください。電池の銘柄、製造日からの保存期間、使用温度により電池性能に差があるため、撮影時間が短い場合があります。

参考値：連続撮影コマ数（電池寿命）の目安

| | 液晶モニタONで撮影 |
|---|---|
| Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL1使用 | 約220コマ／約110分 |

※ 測定条件は当社条件（撮影毎にズーム、約3割のストロボ撮影、FINEモード、常温<20℃>）によります。
※ 撮影する際に、液晶モニタをOFFにしてファインダーで撮影することでバッテリーの消耗を防ぐことができます。
※ 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
　使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

## オートパワーオフ機能

COOLPIX995には、バッテリーの消耗を防ぐため、一定時間カメラの操作が行わない場合に自動的に低消費電力状態に切り換わるオートパワーオフ機能が搭載されています。

- オートパワーオフ時には、表示パネルと液晶モニタの表示が消灯します。
- オートパワーオフ前の設定状態は、カメラ本体内に記憶されます。
- オートパワーオフ状態のままカメラを収納しないでください。シャッターボタンが押されると、パワーオフの解除・作動動作を繰り返してバッテリーの消耗の原因となる恐れがあります。

### オートパワーオフ機能の作動開始

| | 撮影モード（Ⓐ📷Ⓜ）時 | | 再生モード（▶）時 | |
|---|---|---|---|---|
| | 表示パネル・液晶モニタ表示 | ビデオ信号出力時※1 | 表示パネル・液晶モニタ表示 | ビデオ信号出力時※1 |
| バッテリー使用時 | 撮影メニューの「パワーオフ設定」での設定時間（30秒／1分／5分／30分）無操作状態でOFF（撮影メニュー表示は3分でOFF）※2 | 「パワーオフ設定」での設定時間（30秒／1分／5分／30分）無操作状態でビデオ信号出力停止（撮影メニュー表示は3分でOFF） | 再生メニューの「パワーオフ設定」での設定時間（30秒／1分／5分／30分）無操作状態でオフ（再生メニュー表示は3分でOFF）※2 | 「パワーオフ設定」での設定時間（30秒／1分／5分／30分）無操作状態でビデオ信号出力停止（再生メニュー表示は3分でOFF） |
| ACアダプタ使用時 | 30分無操作状態でOFF | 30分無操作状態でも出力継続<br>液晶モニタのみOFF ※3 | 30分無操作状態でOFF | 30分無操作状態でも出力継続。<br>液晶モニタのみOFF ※3 |

※1　ビデオ信号出力については ☞ P.153
※2　出荷時の設定ではオートパワーオフになるまでの時間は30秒にセットされています。
※3　液晶モニタはモニタボタンでONにしてください。

### オートパワーオフ状態からの起動

カメラがオートパワーオフ状態のときにシャッターボタンの半押し操作、モニタボタンの操作があった場合、オートパワーオフは解除され、表示パネルと液晶モニタが点灯し、カメラ各部の設定はオートパワーオフ前のセット状態に復帰します。

## 英・数（マーク）



## あ



## か

## か



## さ



## た